

## 目 次

### 【前期】

| 時 間 割                    | 【区分】 | 科目番号      |    |
|--------------------------|------|-----------|----|
| 課題解決演習Ⅲ（高齢者歯科学）          | 【演習】 | OD041002A | 1  |
| 課題解決演習Ⅲ（保存修復・歯内治療実習）     | 【演習】 | OD041002B | 2  |
| 課題解決演習Ⅲ（有床義歯補綴学実習）       | 【演習】 | OD041002C | 3  |
| 課題解決演習Ⅲ（歯周治療学実習）         | 【演習】 | OD041002D | 4  |
| Global Medical English I | 【演習】 | OD041001  | 5  |
| 保存修復・歯内治療実習              | 【実習】 | OD041216  | 7  |
| 歯周治療学Ⅱ                   | 【講義】 | OD041203  | 11 |
| 歯周治療学実習                  | 【実習】 | OD041217  | 15 |
| 冠橋義歯学Ⅱ                   | 【講義】 | OD041204  | 18 |
| 冠橋義歯学実習                  | 【実習】 | OD041218  | 20 |
| 有床義歯補綴学Ⅱ                 | 【講義】 | OD041223  | 22 |
| 口腔腫瘍学Ⅰ                   | 【講義】 | OD041206  | 24 |
| 口腔外科学Ⅰ                   | 【講義】 | OD041207  | 28 |
| 小児歯科学Ⅱ                   | 【講義】 | OD041226  | 31 |
| 歯科矯正学Ⅱ                   | 【講義】 | OD041227  | 33 |
| 高齢者歯科学                   | 【講義】 | OD041214  | 36 |
| 画像診断学Ⅰ                   | 【講義】 | OD041210  | 39 |
| 麻酔科学Ⅰ                    | 【講義】 | OD041211  | 41 |
| 精神医学・心身医学                | 【講義】 | OD041301  | 45 |

### 【前・後期】

|           |      |          |    |
|-----------|------|----------|----|
| 有床義歯補綴学実習 | 【実習】 | OD041219 | 47 |
|-----------|------|----------|----|

### 【後期】

| 時 間 割                  |      |           |    |
|------------------------|------|-----------|----|
| 課題解決演習Ⅳ（口腔インプラント学）     | 【演習】 | OD041003A | 51 |
| 課題解決演習Ⅳ（成長発達歯学実習（矯正系）） | 【演習】 | OD041003B | 52 |
| 課題解決演習Ⅳ（画像診断学Ⅱ）        | 【演習】 | OD041003C | 53 |

|                        | 【区分】 | 科目番号      |        |
|------------------------|------|-----------|--------|
| 課題解決演習Ⅳ（麻酔科学Ⅱ）         | 【演習】 | OD041003D | ・・・ 54 |
| 課題解決演習Ⅳ（障害者歯科学）        | 【演習】 | OD041003E | ・・・ 55 |
| 課題解決演習Ⅳ（成長発達歯学実習（小児系）） | 【演習】 | OD041003F | ・・・ 56 |
| 課題解決演習Ⅳ（基礎・臨床統合演習）     | 【演習】 | OD041003G | ・・・ 57 |
| 歯科医療管理学                | 【講義】 | OD041212  | ・・・ 58 |
| 口腔インプラント学              | 【講義】 | OD041222  | ・・・ 60 |
| 口腔腫瘍学Ⅱ                 | 【講義】 | OD041224  | ・・・ 64 |
| 口腔外科学Ⅱ                 | 【講義】 | OD041225  | ・・・ 67 |
| 成長発達歯学実習（小児系）          | 【実習】 | OD041220  | ・・・ 69 |
| 成長発達歯学実習（矯正系）          | 【実習】 | OD041221  | ・・・ 73 |
| 障害者歯科学                 | 【講義】 | OD041213  | ・・・ 75 |
| 画像診断学Ⅱ                 | 【講義】 | OD041228  | ・・・ 77 |
| 麻酔科学Ⅱ                  | 【講義】 | OD041229  | ・・・ 79 |
| 基礎・臨床統合演習              | 【演習】 | OD041401  | ・・・ 82 |

## 【登院前教育】

|                   |      |          |         |
|-------------------|------|----------|---------|
| 登院前実習             | 【実習】 | OD041402 |         |
| ユニット1 総合歯科学実習     |      |          | ・・・ 108 |
| ユニット2 予防管理学実習     |      |          | ・・・ 109 |
| ユニット3 口腔・顎顔面外科学実習 |      |          | ・・・ 110 |
| ユニット4 保存・補綴基本技術実習 |      |          | ・・・ 111 |
| ユニット5 麻酔科学実習      |      |          | ・・・ 112 |
| ユニット6 放射線学実習      |      |          | ・・・ 113 |

# 前 期

# 課題解決演習Ⅲ(高齢者歯科学) 【演習】

科目番号 0D041002A

前期：2コマ

評価責任者：内藤 徹

担当教員：内藤 徹、梅崎陽二郎

(一般目標)

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

V-2, V-4

(教育方法)

PBL(問題解決型授業)

提示された症例に対する、診療情報提供書の作成を行う。

提示された症例の介護計画を立案する。

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) (実習・演習)

(学習方法)

予習として、前回までの講義時の配付資料に再度目を通す。

復習としては、自分で作成した診療情報提供書と介護計画について、講義時の配付資料との整合性を確認する。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 1.0 時間】

(評価)

提出された診療情報提供書および介護計画を評価対象とする。

提出されたレポートにコメントを付与して返却する。

(教科書)

なし

(参考書)

”紹介状”書きましょう 安心安全の有病者歯科治療、篠崎 文彦 著、デンタルダイヤモンド 診療情報提供書の書き方が症例ごとに丁寧に書かれている。

老年医学 系統講義テキスト、日本老年医学会 編著、西村書店 高齢者に頻繁に見られる疾患の多くが網羅されており、分かりやすい。

| 回 | 日   | 担当者            | ユニット             | 学習目標 (G I O)                                  | 行動目標 (S B O s)                                    | DP  | 予習の項目                | 必要時間 |
|---|-----|----------------|------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----|----------------------|------|
| 1 | 7/7 | 内藤 徹、<br>梅崎陽二郎 | ユニット1 診療情報提供書作成  | 高齢者に多い疾患について理解し、歯科治療を行うにあたり、どのような点に留意すべきか考える。 | 高齢者に多い主な疾患を有する患者の治療に当たり、どのような診療情報提供書を作成するか実施してみる。 | V-4 | 高齢者歯科学講義の配付資料に再度目を通す | 0.5  |
| 2 | 7/7 | 内藤 徹、<br>梅崎陽二郎 | ユニット2 高齢者の治療計画作成 | 基礎疾患を有した高齢者の歯科診療の計画を立案する。                     | 基礎疾患を有した高齢者の歯科診療の計画を立案する。                         | V-4 | 高齢者歯科学講義の配付資料に再度目を通す | 0.5  |
|   |     |                | ユニット3 介護計画作成     | 要介護状態の患者の治療を行うにあたり、どのようにアプローチするか考える。          | 介護保険や介護関連職種との連携について考える。                           | V-2 |                      |      |

# 課題解決演習Ⅲ（保存修復・歯内治療実習）【演習】

科目番号 0D041002B

前期：2コマ

評価責任者：松崎 英津子

担当教員：松崎 英津子  
松本 典祥

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

## ◆保存修復・歯内治療実習

問題解決型実習により、講義で習得したう蝕、歯髄疾患・根尖性歯周疾患の診査、診断および治療法に関する知識・術式に関する理解を深める。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

IV-2, IV-4

（教育方法）

問題解決型実習 (PBL)

グループ学習として、う蝕、歯髄疾患・根尖性歯周疾患のケースから、主訴、現病歴、口腔内所見を整理する。次に、診断のための適切な検査、鑑別診断について列挙し、疾患の病因・病態について理解する。さらに治療計画を策定し、治療法の概略を説明する。（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

3年次の講義で習得したう蝕、歯髄疾患・根尖性歯周疾患の症状、所見、診断のための適切な診査法、鑑別診断について、知識の整理・理解に努める。また、それらの治療法についても教科書の該当部分、講義資料を読み復習しておく。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 2.0 時間】

（評価）

実習態度30% 実習態度に問題がある場合は、その都度注意する。  
提出レポート70% 本課題演習のレポートを提出後、口頭でレポートのできばえについて説明する。

（教科書）

興地 隆史、石井 信之、林 美加子、北村 知昭 編集主幹『第6版 エンドドンティクス』永末書店、2022

田上 順次、奈良 陽一郎、山本 一世、斎藤 隆史 監修『第六版 保存修復学21』永末書店、2022

〔選定理由〕歯科基礎医学の知識、基本的な手技から最新の診断・治療方法にいたるまで、歯内療法学および保存修復学全般にわたって詳細に解説したベストセラーテキストである。

（参考書）

| 回 | 日    | 担当者   | ユニット | 学習目標（GIO）                                   | 行動目標（SBOs）                             | DP   | 予習の項目                                        | 必要時間 |
|---|------|-------|------|---------------------------------------------|----------------------------------------|------|----------------------------------------------|------|
| 1 | 6/19 | 松崎、松本 | PBL  | う蝕、歯髄・根尖歯周組織疾患の特徴的な病状を聴取し、診断および治療法について考案する。 | う蝕、歯髄・根尖歯周組織疾患の特徴的な病状を聴取し、必要な検査を選択できる。 | IV-2 | 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の症状、所見、病因・病態について教科書の該当部分を読み復習する。 | 1.0  |
| 2 | 6/19 | 松崎、松本 | PBL  | う蝕、歯髄・根尖歯周組織疾患の特徴的な病状を聴取し、診断および治療法について考案する。 | う蝕、歯髄・根尖歯周組織疾患の診断に基づき、適切な治療計画を立案できる。   | IV-4 | 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の診査・診断、治療法について教科書の該当部分を読み復習する。   | 1.0  |

# 課題解決演習Ⅲ(有床義歯補綴学実習) 【演習】

科目番号 0D041002C

前期：2コマ

評価責任者：都築 尊

担当教員：都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平、前芝宗尚、北條朋子

(一般目標)

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-9, IV-7

(教育方法)

問題解決型実習(PBL)

提示された欠損歯列の症例を用いて、義歯設計のシミュレーションを行う。

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) (実習・演習)

(学習方法)

歯学生のパーシャルデンチャー第7版 第21章 P184-188

パーシャルデンチャーテクニック第6版 P78-83

上記教科書を熟読し、部分床義歯の設計原則を理解しておく。

復習として、関連するCBTPass問題を自分で解説できるようにする。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 2.0 時間】

(評価)

実習態度(30%)

毎回の実習達成度(70%)

課題解決演習Ⅲの総合評価をポータルサイトに掲示する

(教科書)

①市川哲雄他編 「無歯顎補綴治療学 第4版」 医歯薬出版

(全部床義歯補綴治療を臨床手順に沿ってまとめた学生必読書である。かなり詳しいのでこれを基本教科書とする。)

②細井紀雄他編 「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」 医歯薬出版

(全部床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。)

③三谷春保他編 「歯学生のパーシャルデンチャー 第7版」 医歯薬出版

(部分床義歯補綴治療を臨床手順に沿ってまとめた学生必読書である。かなり詳しいのでこれを基本教科書とする。)

④五十嵐順正他編 「パーシャルデンチャーテクニック 第6版」 医歯薬出版

(部分床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。)

(参考書)

日本補綴歯科学会編 「歯科補綴学専門用語集第6版」 医歯薬出版

(歯科補綴学の専門用語集で歯学生必携の本である。)

下記リンクより無償ダウンロード可

| 回 | 日    | 担当者                | ユニット              | 学習目標(GIO)                  | 行動目標(SBOs)          | DP   | 予習の項目                                      | 必要時間 |
|---|------|--------------------|-------------------|----------------------------|---------------------|------|--------------------------------------------|------|
| 1 | 6/25 | 都築尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平 | ユニット1 部分床義歯の構成要素  | 部分床義歯の構成要素を理解する。           | 症例に応じた部分床義歯の設計ができる。 | IV-7 | 教科書の該当箇所を読む。                               | 1.0  |
| 2 | 6/25 | 都築尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平 | ユニット2 部分床義歯の設計と製作 | 部分床義歯の設計と製作に必要な器具、方法を理解する。 | 支持・把持・維持を説明できる。     | Ⅲ-9  | 教科書の該当箇所を読む。                               | 1.0  |
| 3 | 6/25 | 川口                 | ユニット2 部分床義歯の設計と製作 | 部分床義歯の設計と製作に必要な器具、方法を理解する。 | 歯科技工指示書を作成できる。      | Ⅲ-9  | Moodleにアップされている教科書のハイライト部分を自分の教科書にマークすること。 | 1.0  |

# 課題解決演習Ⅲ（歯周治療学実習）【演習】

科目番号 0D041002D

前期：2コマ

評価責任者：吉永泰周

担当教員：大城希美子、丸尾直樹、大和寛明

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

IV-3, IV-4

（教育方法）

歯周病の患者さんのシナリオを準備し、1グループ6～10名にて問題解決型実習（PBL）を行う。

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

予習：教科書にて「歯周病の治療計画の立案」について理解する。

復習：実習後に立案した治療計画について、教科書を見ながら修正を検討する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：2.0時間】

（評価）

各ステップ毎の達成度（70%）

実習態度（30%）

（教科書）

村上伸也 他編、『臨床歯周病学第3版』、医歯薬出版、2020

（現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編纂された教科書）

（参考書）

天野敦雄 他監修、『ビジュアル 歯周病を科学する』、クインテッセンス出版、2012

（基礎的な内容がしっかりと盛り込まれた美しいカラーイラストの本）

加藤 照 他著、『新版最新歯周病学』、医歯薬出版株式会社、2011

（現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編纂されている）

| 回 | 日    | 担当者         | ユニット                    | 学習目標（G I O）              | 行動目標（S B O s）                    | DP   | 予習の項目  | 必要時間 |
|---|------|-------------|-------------------------|--------------------------|----------------------------------|------|--------|------|
| 1 | 6/26 | 吉永、大城、丸尾、大和 | ユニット1<br>歯周病に対する検査      | 診断に必要な検査を理解する            | 歯周病の診断に必要な検査を選択できる               | IV-3 | 教科書を読む | 1.0  |
| 2 | 6/26 | 吉永、大城、丸尾、大和 | ユニット2<br>歯周病に対する治療計画の立案 | 検査結果から、適切な治療計画の立案方法を理解する | 歯周組織検査の結果をみて、適切な治療計画を立案することができる。 | IV-4 | 教科書を読む | 1.0  |

# Global Medical English I 【演習】

科目番号 OD041001

前期：15コマ

評価責任者：岡島 勇太

担当教員：岡島 勇太

（一般目標）

歯科医師に必要な医学英語を取り上げて、英語の論文を読むために必要な基礎的な英語の力の向上と、歯科治療に必要な英語の会話力の向上を目標とする。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

VI-4

（教育方法）

歯科関係の英語を題材として読解練習、会話練習など。

（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

テキストの英文を辞書等を活用して十分に理解し、その上で、練習問題を解くこと。また、テキスト以外から更に情報を得たい場合は、インターネット等で調べる。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

出席、授業態度、定期試験等により総合的に評価する：成績は試験後に通知。

（教科書）

歯科学者のための医学英語 第2版（GAKKEN SHOIN）

医学英語の習得に役に立つ。

（参考書）

ハインマン歯科英和辞典（医歯薬出版株式会社）

歯科英語の学習に役に立つ。

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                                                      | 学習目標（G I O）                                                                                    | 行動目標（S B O s）                                | DP   | 予習の項目                                               | 必要時間 |
|---|------|-----|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------|------|
| 1 | 4/6  | 岡島  | ユニット1<br>Dental Terminology                               | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit1)         | テキストの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。 | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |
| 2 | 4/13 | 岡島  | ユニット1<br>Dental Terminology,<br>ユニット2<br>Toothache        | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit1 & unit2) | 本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。                   | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |
| 3 | 4/13 | 岡島  | ユニット2<br>Toothache                                        | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit2)         | 新たに出てきた歯科英語を辞書等で調べる。                         | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |
| 4 | 4/20 | 岡島  | ユニット3<br>Severe Dental Anxiety                            | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit3)         | テキストの英文の語彙や構造を正確に理解し、意味内容を解釈する。              | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |
| 5 | 4/20 | 岡島  | ユニット3<br>Severe Dental Anxiety, ユニ<br>ット4<br>Oral Hygiene | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit3 & unit4) | 新たに出てきた語彙や表現等を調べ整理する。                        | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |
| 6 | 4/27 | 岡島  | ユニット4<br>Oral Hygiene                                     | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit4)         | テキストの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。 | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にしして解いておく | 1.0  |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                                                      | 学習目標（G I O）                                                                                     | 行動目標（S B O s）                                | DP   | 予習の項目                                              | 必要時間 |
|----|------|-----|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|------|----------------------------------------------------|------|
| 7  | 4/27 | 岡島  | ユニット5<br>Periodontal<br>Disease                                           | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit5)          | 本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。                   | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 8  | 4/11 | 岡島  | ユニット5<br>Periodontal<br>Disease, ユ<br>ニット6<br>Dental<br>Implants          | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit5 & unit6)  | 新たに出てきた歯科英語を辞書等で調べる。                         | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 9  | 5/18 | 岡島  | ユニット6<br>Dental<br>Implants                                               | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit6)          | テキストの英文の語彙や構造を精確に理解し、意味内容を解釈する。              | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 10 | 5/25 | 岡島  | ユニット7<br>Cleft Lip                                                        | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit7)          | 新たに出てきた語彙や表現等を調べ整理する。                        | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 11 | 5/1  | 岡島  | ユニット7<br>Cleft Lip, ユ<br>ニット8<br>Leukoplakia                              | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit7 & unit8)  | テキストの練習問題等について各自で調べて、授業中に発表することで授業に積極的に参加する。 | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 12 | 6/8  | 岡島  | ユニット8<br>Leukoplakia                                                      | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit8)          | 本ユニットに関連する事項をインターネット等で調べる。                   | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 13 | 6/15 | 岡島  | ユニット9<br>Herpes<br>Simplex                                                | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit9)          | 新たに出てきた歯科英語を辞書等で調べる。                         | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 14 | 6/22 | 岡島  | ユニット9<br>Herpes<br>Simplex, ユ<br>ニット10 The<br>Temporomandib<br>ular Joint | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit9 & unit10) | 新たに出てきた歯科英語を辞書等で調べる。                         | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |
| 15 | 6/29 | 岡島  | ユニット10<br>The<br>Temporomandib<br>ular Joint                              | 1) 歯科英語の基本的な表現を理解する。2) 練習問題を通じて本ユニットの内容をより深く理解する。3) 歯科英語の読解や会話に役に立つ語彙や表現を身につける。(unit10)         | 新たに出てきた語彙や表現等を調べ整理する。                        | VI-4 | 1)使用テキストの本文を辞書等で調べて理解しておく<br>2)練習問題を辞書等を参考にして解いておく | 1.0  |

# 保存修復・歯内治療実習 【実習】

科目番号 0D041216

前期：27コマ

評価責任者：松崎 英津子

担当教員：松崎 英津子、松本 典祥、水上 正彦、松本 和磨、廣瀬 陽菜、久保 至誠、徳永 哲彦、春名 千英子、松本 明子

（一般目標）

講義で習得した齶蝕を中心とした歯の硬組織疾患の予防、診断、治療に関する知識、技術について、理解を深めるとともに、人工歯を用いたシミュレーション実習により基本的な保存修復治療の術式を体得する。

講義で習得した歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療に関する知識・術式に対する理解を深めるために、人工歯を用いたシミュレーション実習により基本的な歯内治療の術式を体得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー〔DP〕）

Ⅲ-21

（教育方法）

人工歯・顎模型を用いたシミュレーション実習

図・写真を含む実習プリントを使用

インストラクターによる直接指導

（実習・演習）

（学習方法）

予習：教科書の該当箇所を読み、実習内容を理解する。

準備：必要な器具、機材を入念に準備する。

実習時間内に小テストを行い、実習内容についての理解度を確認する。

模型を用いて手技の実際を体験しつつ、適宜疑問点を質問して手技に関する理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 9.0 時間】

（評価）

- ・提出作品35% 作品提出後、口頭で作品のできばえについて説明する。
- ・実技試験35% 実習試験終了後、ライターの総括的に指導する。
- ・小テスト20% 実習該当箇所のCBT PASS改変テスト後に、解説を行う。
- ・実習態度10% 器具・機材の忘れ物、実習態度に問題がある場合はその都度注意する。

（教科書）

田上 順次、奈良 陽一郎、山本 一世、斎藤 隆史 監修 「第六版 保存修復学21」永末書店 2022

興地 隆史、石井 信之、林 美加子、北村 知昭 編集主幹「第6版 エンドドンティクス」永末書店 2022

日本歯科保存学会 編 「保存修復学専門用語集 第3版」医歯薬出版 2023

日本歯科保存学会、日本歯内療法学会 編 「歯内療法学専門用語集 第2版」医歯薬出版 2023

（参考書）

- ①千田 彰 編集代表「保存修復学 第7版」医歯薬出版 2019（3年次購入済み）
- ②日本接着歯学会 編「接着歯学 第2版」医歯薬出版 2015
- ③勝海 一郎、石井 信之、興地 隆史、中田 和彦 編集「第5版 歯内治療学」医歯薬出版 2018（3年次参考書）
- ④須田 英明 編集主幹「エンドドンティクス21 歯内療法カラーアトラス」永末書店 2010

| 回 | 日    | 担当者                              | ユニット                 | 学習目標（GIO）                  | 行動目標（SBOs）              | DP   | 予習の項目                            | 必要時間 |
|---|------|----------------------------------|----------------------|----------------------------|-------------------------|------|----------------------------------|------|
| 1 | 5/11 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット1<br>感染象牙質除去     | 齶蝕検知液を用いた感染象牙質除去の術式を身につける。 | 齶蝕検知液を用いて感染象牙質を染色できる。   | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所 齶蝕病巣の構造、象牙質齶蝕の処置        | 1.0  |
| 2 | 5/11 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット1<br>感染象牙質除去     | 齶蝕検知液を用いた感染象牙質除去の術式を身につける。 | スチールラウンドバーで感染象牙質を除去できる。 | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所 齶蝕病巣の構造、象牙質齶蝕の処置、回転切削器具 | 1.0  |
| 3 | 5/11 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット2<br>齶蝕治療の準備・防湿法 | ラバーダム防湿法の術式を身につける。         | ラバーダム防湿法で使用する器具を説明できる。  | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所 術野の隔離と防湿法、ラバーダム防湿法      | 1.0  |
|   |      |                                  |                      |                            | 模型歯にラバーダム防湿ができる。        | Ⅲ-21 |                                  |      |

| 回      | 日            | 担当者                              | ユニット                 | 学習目標（G I O）               | 行動目標（S B O s）                                                | DP               | 予習の項目                                                                                                          | 必要時間                   |
|--------|--------------|----------------------------------|----------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 4      | 5/18         | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット3<br>コンポジットレジン修復 | 光重合型コンポジットレジン修復の術式を身につける。 | コンポジットレジン窩洞形成に使用する器具について説明できる。<br><br>人工歯にコンポジットレジン窩洞を形成できる。 | Ⅲ-21<br><br>Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>コンポジットレジン窩洞の特徴                                                                                     | 1.0                    |
| 5<br>6 | 5/18<br>5/18 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット3<br>コンポジットレジン修復 | 光重合型コンポジットレジン修復の術式を身につける。 | 歯面処理を行い、コンポジットレジン充填できる。                                      | Ⅲ-21             | [5回]<br>教科書の該当箇所<br>コンポジットレジン窩洞の特徴<br>コンポジットレジンと歯面処理<br><br>[6回]<br>教科書の該当箇所<br>コンポジットレジン窩洞の特徴<br>コンポジットレジンの種類 | 5]<br>1.0<br>6]<br>1.0 |
| 7      | 5/25         | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット4<br>隔壁法         | 隔壁法を身につける。                | 隔壁作製に使用する器具について説明できる。                                        | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>隔壁の種類、目的                                                                                           | 1.0                    |
| 8<br>9 | 5/25<br>5/25 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット4<br>隔壁法         | 隔壁法を身につける。                | 隔壁を設置し、コンポジットレジン充填できる。                                       | Ⅲ-21             | [8回]<br>教科書の該当箇所<br>隔壁作製<br>トッフルマイヤーのリテーナー<br><br>[9回]<br>教科書の該当箇所<br>マトリックスバンド                                | 8]<br>1.0<br>9]<br>1.0 |
| 10     | 6/1          | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット5<br>充填物の研磨      | 充填物の研磨の術式を身につける。          | コンポジットレジンの仕上げ・研磨ができる。                                        | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>コンポジットレジンの研磨<br>ホワイトマージン                                                                           | 1.0                    |
| 11     | 6/1          | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット6<br>メタルインレー修復   | メタルインレー修復の術式を身につける。       | メタルインレーの窩洞形成に使用する器具について説明できる。                                | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>メタルインレー窩洞の窩洞形態と形成法                                                                                 | 1.0                    |
| 12     | 6/1          | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット6<br>メタルインレー修復   | メタルインレー修復の術式を身につける。       | 人工歯にメタルインレー窩洞を形成できる。                                         | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>メタルインレー窩洞の窩洞形態と形成法                                                                                 | 1.0                    |
| 13     | 6/8          | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット6<br>メタルインレー修復   | メタルインレー修復の術式を身につける。       | 人工歯にメタルインレー窩洞を形成できる。                                         | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>メタルインレー、レジニンレー・セラミックインレーの窩洞の違い                                                                     | 1.0                    |
| 14     | 6/8          | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット7<br>生活歯髄切断法     | 生活歯髄切断法の術式を身につける。         | 生活歯髄切断法に使用する器具・薬剤について説明できる。                                  | Ⅲ-21             | 教科書の該当箇所<br>歯髄保存療法の種類<br>適応症                                                                                   | 1.0                    |

| 回  | 日    | 担当者                              | ユニット              | 学習目標（G I O）                | 行動目標（S B O s）                    | DP   | 予習の項目                                        | 必要時間        |
|----|------|----------------------------------|-------------------|----------------------------|----------------------------------|------|----------------------------------------------|-------------|
| 15 | 6/8  | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット7<br>生活歯髄切断法  | 生活歯髄切断法の術式を身につける。          | 根管口で歯髄を切断でき、覆髄ができる。              | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>生活歯髄切断法 術式<br>ケミカルサージェリー         | 1.0         |
| 16 | 6/15 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 抜髄に必要な器具について説明できる。               | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 術式 器具                        | 1.0         |
| 17 | 6/15 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 人工歯（単根管 前歯）の天蓋を除去し根管口を明示できる。     | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 適応症 髄室開拡・根管口明示               | 1.0         |
| 18 | 6/15 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 作業長を決定し適切に根管拡大できる。               | Ⅲ-21 | [18回]<br>教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管形成 根管洗浄・乾燥        | [18]<br>1.0 |
| 19 | 6/22 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 根管の化学的清掃（根管洗浄）、根管乾燥を適切に行うことができる。 | Ⅲ-21 | [19回]<br>教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管形成 根管洗浄・乾燥 ポイント試適 | [19]<br>1.0 |
| 20 | 6/22 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット9<br>根管充填     | 根管充填の術式を身につける。             | 人工歯（単根管 前歯）に根管充填できる。             | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管充填                         | 1.0         |
| 21 | 6/22 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 根管の化学的清掃（根管洗浄）、根管乾燥を適切に行うことができる。 | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 髄室開拡 根管形成 根管洗浄・乾燥            | 1.0         |
| 22 | 6/29 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット8<br>抜髄法・単根管  | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 作業長を決定し適切に根管拡大できる。               | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管形成 根管洗浄・乾燥 ポイント試適          | 1.0         |
| 23 | 6/29 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット9<br>根管充填     | 根管充填の術式を身につける。             | 人工歯（単根管 前歯）に根管充填できる。             | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管充填                         | 1.0         |
|    |      |                                  | ユニット10<br>抜髄法・複根管 | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 人工歯（複根管 大臼歯）の天蓋を除去し根管口を明示できる。    | Ⅲ-21 |                                              |             |
| 24 | 6/29 | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット10<br>抜髄法・複根管 | 抜髄法の術式；根管形成・根管洗浄の術式を身につける。 | 根管の化学的清掃（根管洗浄）、根管乾燥を適切に行うことができる。 | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 髄室開拡 根管形成 根管洗浄・乾燥・ポイント試適     | 1.0         |
| 25 | 7/6  | 松崎、松本、水上、松本（和）、廣瀬、久保、徳永、春名、松本（明） | ユニット9<br>根管充填     | 根管充填の術式を身につける。             | 人工歯（複根管 大臼歯）に根管充填できる。            | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所<br>抜髄法 根管充填                         | 1.0         |

| 回  | 日   | 担当者                                      | ユニット | 学習目標（G I O）                       | 行動目標（S B O s）                      | DP   | 予習の項目                                     | 必要時間 |
|----|-----|------------------------------------------|------|-----------------------------------|------------------------------------|------|-------------------------------------------|------|
| 26 | 7/6 | 松崎, 松本, 水上, 松本(和), 廣瀬, 久保, 徳永, 春名, 松本(明) | 実習試験 | 保存修復治療の基本的な術式および歯内治療の基本的術式を身につける。 | ラバーダム防湿法を適切に行うことができる。              | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所 隔壁法 ラバーダム防湿法 根管洗浄・ポイント試適 感染象牙質除去 | 1.0  |
|    |     |                                          |      |                                   | 感染象牙質の除去を適切に行うことができる。              | Ⅲ-21 |                                           |      |
| 27 | 7/6 | 松崎, 松本, 水上, 松本(和), 廣瀬, 久保, 徳永, 春名, 松本(明) | 実習試験 | 保存修復治療の基本的な術式および歯内治療の基本的術式を身につける。 | 根管拡大・形成およびマスターポイントの試適を適切に行うことができる。 | Ⅲ-21 | 教科書の該当箇所 隔壁法 ラバーダム防湿法 根管洗浄・ポイント試適 感染象牙質除去 | 1.0  |

# 歯周治療学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD041203

前期：15コマ

評価責任者：吉永泰周

担当教員：大城希美子、丸尾直樹、原 宣興、金子高士

（一般目標）

辺縁性歯周組織疾患の病理および病態の理解にもとづいて、それらの治療方法の詳細について理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-4、Ⅲ-5、Ⅲ-6、Ⅲ-7、Ⅲ-8、Ⅲ-19、Ⅲ-21、Ⅳ-2、Ⅳ-3、Ⅳ-4、Ⅳ-5、Ⅳ-6

（教育方法）

講義

問題演習

（実習・演習）

（学習方法）

予習：授業前に教科書を熟読する。

復習：配布プリントを用いて授業ノートを作成する。

臨場感を持って想像しながら学習する。

問題演習で理解到達度を確認する。

学習者同士や教員との討議を行って理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

定期試験（80％）：客観試験

試験終了後、質問に来た学生に対して解説を行う。

中間試験（20％）：客観試験

試験終了後、質問に来た学生に対して解説を行う。

（教 科 書）

村上伸也他編、『臨床歯周病学 第3版』、医歯薬出版、2020

（現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編集された教科書）

（参 考 書）

加藤 熙他著、『新版最新歯周病学』、医歯薬出版株式会社、2011

（現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編集されている）

天野敦雄他監修、『ビジュアル 歯周病を科学する』、クインテッセンス出版、2012

（基礎的な内容がしっかりと盛り込まれた美しいカラーイラストの本）

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                     | 学習目標（G I O）                   | 行動目標（S B O s）                | DP  | 予習の項目               | 必要時間 |
|---|------|-----|--------------------------|-------------------------------|------------------------------|-----|---------------------|------|
| 1 | 4/10 | 吉永  | ユニット1 歯周治療の基本的考え方と治療の進め方 | 歯周治療の基本的考え方および歯周治療の進め方を理解する   | 歯周治療の基本概念を説明できる。             | Ⅳ-4 | 教科書を読む(pp. 108-180) | 1.0  |
|   |      |     |                          |                               | 歯周治療の進め方を図示して説明できる。          | Ⅳ-2 |                     |      |
| 2 | 4/10 | 吉永  | ユニット2 歯周外科治療総論           | 歯周外科の目的と基本原則、歯周外科後の治癒形態を理解する。 | 歯周外科治療の目的と種類を説明できる。          | Ⅳ-6 | 教科書を読む(pp. 181-196) | 1.0  |
|   |      |     |                          |                               | 歯周外科治療に用いる器具および縫合法について説明できる。 | Ⅳ-6 |                     |      |
|   |      |     |                          |                               | フラップ手術について説明できる。             | Ⅳ-4 |                     |      |
|   |      |     |                          |                               | 創傷治癒形態の機序について説明できる。          | Ⅲ-5 |                     |      |
|   |      |     |                          |                               | 歯周外科治療後の治癒形態について説明できる。       | Ⅲ-5 |                     |      |

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット             | 学習目標（G I O）         | 行動目標（S B O s）               | DP   | 予習の項目                | 必要時間 |
|---|------|-----|------------------|---------------------|-----------------------------|------|----------------------|------|
| 3 | 4/24 | 吉永  | ユニット3 組織付着療法     | 組織付着療法について理解する。     | 歯周ポケット搔爬術を説明できる。            | IV-4 | 教科書を読む (pp. 197-206) | 1.0  |
|   |      |     |                  |                     | 新付着術を説明できる。                 | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | ウイドマン改良フラップ手術を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
|   |      |     | ユニット4 切除療法       | 切除療法について理解する。       | 歯肉切除術を説明できる。                | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 歯肉弁根尖側移動術を説明できる。            | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 歯槽骨外科手術について説明できる。           | IV-4 |                      |      |
| 4 | 5/1  | 吉永  | ユニット5 歯周組織再生療法   | 歯周組織再生療法について理解する。   | 歯周組織再生療法の原理を説明できる。          | Ⅲ-5  | 教科書を読む (pp. 207-244) | 1.0  |
|   |      |     |                  |                     | 各種歯周組織再生療法の作用機序を説明できる。      | Ⅲ-5  |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 各種歯周組織再生療法の適応症を説明できる。       | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 各種歯周組織再生療法の術式を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 各種歯周組織再生療法の限界や課題を説明できる。     | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     |                             |      |                      |      |
| 5 | 5/1  | 吉永  | ユニット6 根分岐部病変の治療  | 根分岐部病変の治療について理解する。  | 根分岐部病変の原因、検査方法、治療方針を説明できる。  | IV-4 | 教科書を読む (pp. 245-256) | 1.0  |
|   |      |     |                  |                     | 歯根の保存療法を説明できる。              | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 歯根の切断除去療法を説明できる。            | IV-4 |                      |      |
| 6 | 5/8  | 丸尾  | ユニット7 歯周形成手術     | 歯周形成手術について理解する。     | 歯周形成手術の目的を説明できる。            | IV-4 | 教科書を読む (pp. 257-266) | 1.0  |
|   |      |     |                  |                     | 歯周形成手術の種類と適応症を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 遊離歯肉移植術の適応と術式を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 結合組織移植術の適応と術式を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
| 7 | 5/8  | 丸尾  | ユニット8 口腔機能回復治療   | 口腔機能回復治療について理解する。   | 口腔機能回復治療の定義を説明できる。          | IV-4 | 教科書を読む (pp. 267-280) | 1.0  |
|   |      |     |                  |                     | 口腔機能回復治療の目的と意義を説明できる。       | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 口腔機能回復治療の開始時期を説明できる。        | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 口腔機能回復治療前の検査を説明できる。         | IV-3 |                      |      |
|   |      |     | ユニット9 固定・修復・補綴治療 | 固定・修復・補綴治療について理解する。 | 永久固定の目的・適応症を説明できる。          | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 永久固定装置の種類と種類別の特徴を説明できる。     | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 修復物・補綴装置のマージン形態を説明できる。      | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 咬合負担能力を考慮した歯冠形態、咬合様式を説明できる。 | IV-3 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     | 可撤性義歯の支台歯への負担軽減の注意点を説明できる。  | IV-4 |                      |      |
|   |      |     |                  |                     |                             |      |                      |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                   | 学習目標（G I O）             | 行動目標（S B O s）                  | DP     | 予習の項目                             | 必要時間 |
|----|------|-----|------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------|-----------------------------------|------|
| 8  | 5/15 | 大城  | 中間試験                   | —                       | 第1～7回の授業を復習する。                 | IV-4   | 第1-7回の授業の復習を再度行う                  | 1.0  |
| 9  | 5/29 | 原   | 歯周外科の総括                | 特別講義                    | 歯周外科治療について説明できる。               | IV-4   | 第1-8回の授業の復習                       | 1.0  |
| 10 | 6/5  | 金子  | ユニット10<br>歯周補綴         | 歯周補綴について理解する。           | 歯周補綴の定義を説明できる。                 | IV-4   | 教科書を読む (pp. 273-295)              | 1.0  |
|    |      |     |                        |                         | 歯周補綴の目的を説明できる。                 | IV-3   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 歯周補綴の適応症を説明できる。                | IV-4   |                                   |      |
|    |      |     | ユニット11<br>歯周一矯正治療      | 歯周一矯正治療について理解する。        | 歯列不正が歯周病の発症や進行に及ぼす影響について説明できる。 | IV-5   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 歯周一矯正治療の目的や意義を説明できる。           | IV-4   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 歯周一矯正治療の種類や方法について説明できる。        | IV-4   |                                   |      |
| 11 | 6/5  | 大城  | ユニット14<br>歯周治療における薬物療法 | 歯周治療における薬物療法について理解する。   | 歯周治療における薬物療法の特徴を説明できる。         | IV-4   | 教科書を読む (pp. 318-335)              | 1.0  |
|    |      |     |                        |                         | 歯周治療に用いる抗菌薬について説明できる。          | III-4  |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 局所薬物配送システム (LDDS) について説明できる。   | IV-6   |                                   |      |
|    |      |     | ユニット15<br>歯周-歯内病変の治療   | 歯周-歯内病変の治療について理解する。     | 歯周一歯内病変の原因を説明できる。              | III-8  |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 歯内疾患由来型歯周-歯内病変（クラスⅠ）を説明できる。    | III-8  |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | 歯周病由来型歯周-歯内病変（クラスⅡ）を説明できる。     | III-8  |                                   |      |
| 12 | 6/12 | 丸尾  | ユニット12<br>インプラント       | 歯周病患者のインプラント治療について理解する。 | インプラント周囲組織の特徴を説明できる。           | III-6  | 教科書を読む (pp. 296-308, pp. 336-344) | 1.0  |
|    |      |     |                        |                         | 歯周病患者へのインプラント治療の利点と欠点を説明できる。   | IV-5   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | インプラント周囲疾患について説明できる。           | III-8  |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | インプラントのメンテナンスについて概説できる。        | IV-6   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | インプラント周囲疾患の治療について説明できる。        | IV-6   |                                   |      |
|    |      |     | ユニット16<br>レーザー治療       | 歯周組織におけるレーザー治療について理解する。 | レーザー光の発振原理と性質を説明できる。           | III-21 |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | レーザーが生体組織に及ぼす影響を説明できる。         | III-21 |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | レーザーの種類とそれぞれの特徴を概説できる。         | III-21 |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         | レーザー治療の意義と歯周治療への応用について理解する。    | IV-4   |                                   |      |
|    |      |     |                        |                         |                                |        |                                   |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                | 学習目標（G I O）                             | 行動目標（S B O s）                      | DP     | 予習の項目                            | 必要時間 |
|----|------|-----|-------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|--------|----------------------------------|------|
| 13 | 6/12 | 吉永  | ユニット13<br>メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー | 歯周治療のメンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピーについて理解する。 | メンテナンスとSPTについて説明できる。               | IV-6   | 教科書を読む(pp. 309-317, pp. 345-355) | 1.0  |
|    |      |     |                                     |                                         | メンテナンスとSPTの判定基準について説明できる。          | IV-3   |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | リスクアセスメントとリコールについて説明できる。           | IV-6   |                                  |      |
|    |      |     | ユニット17<br>包括的歯周治療                   | 包括的歯周治療について理解する。                        | 包括的歯周治療の概略を説明できる。                  | III-19 |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 重度誌主演患者の生活習慣や全身的因子を把握する。           | III-19 |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 包括的歯周治療を行う場合の治療方針を概説できる。           | III-19 |                                  |      |
| 14 | 6/19 | 大城  | ユニット18<br>高齢者と有病者の治療                | 高齢者と有病者の治療について理解する。                     | 社会の高齢化と高齢化社会における航空の健康の意義について説明できる。 | III-19 | 教科書を読む(pp. 356-376)              | 1.0  |
|    |      |     |                                     |                                         | 高齢者の特徴と歯周病との関連を説明できる。              | III-7  |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 高齢者・有病者における歯周治療の基本を説明できる。          | III-19 |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 在宅者の歯周治療の基本を説明できる。                 | III-19 |                                  |      |
|    |      |     | ユニット19<br>特殊な歯周病の治療                 | 特殊な歯周病の治療について理解する。                      | 薬物性歯肉増殖症の病因・病態と治療法を理解する。           | III-19 |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 慢性剥離性歯肉炎の病因・病態と治療法を理解する。           | III-8  |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 壊死性潰瘍性歯肉炎および歯周炎の病因・病態と治療法を理解する。    | III-8  |                                  |      |
|    |      |     |                                     |                                         | 重度歯周炎の発症に関与する遺伝子関連疾患を理解する。         | III-19 |                                  |      |
| 15 | 6/26 | 吉永  | 総括                                  | 歯周疾患の病態、診断、治療につき理解する。                   | 歯周疾患の病態、診断治療につき説明できる。              | III-19 | 歯周治療学Ⅰ、Ⅱの配布プリントで復習を行う。           | 1.0  |

# 歯周治療学実習【実習】

科目番号 OD041217

前期：18コマ

評価責任者：吉永泰周

担当教員：大城希美子、丸尾直樹、大和寛明、土持那菜子、村上弘

（一般目標）

講義において習得した知識をさらに深めるために、歯周疾患実習用模型を用いて、歯周疾患の診断に必要な診査、診断および治療法を習得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-8、Ⅲ-19、Ⅲ-21、Ⅳ-1、Ⅳ-2、Ⅳ-3、Ⅳ-4、Ⅳ-5、Ⅳ-6

（教育方法）

歯周疾患実習用模型と実習書を用いる。

（実習・演習）

（学習方法）

予習：教科書や実習帳を読んで実習内容を理解する。

復習：実習帳を再読し、各自で再度実習する。

実習内容を把握しているか、実習前に小テストを行い、実習内容についての理解度を確認する。

模型を用いて手技の実践を体験する。

学習者同士や教員との討議を行って理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 9.0 時間】

（評価）

各ステップ毎の達成度（40%）：各ステップ終了時に解説を行う。

各ステップの小テスト（20%）：成績が悪い場合に、レポートを提出させる。

実技試験（30%）：試験終了時に解説を行う。

実習態度（10%）：実習態度が悪い者には自覚を促す。

（教科書）

村上伸也 他編『臨床歯周病学 第3版』、医歯薬出版、2020

（参考書）

加藤 照 著、『新版最新歯周病学』、医歯薬出版株式会社、2011

（現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編纂されている）

天野敦雄 他監修、『ビジュアル 歯周病を科学する』、クインテッセンス出版、2012

（基礎的な内容がしっかりと盛り込まれた美しいカラーイラストの本）

| 回 | 日   | 担当者               | ユニット            | 学習目標（G I O）                | 行動目標（S B O s）             | DP  | 予習の項目                                         | 必要時間      |
|---|-----|-------------------|-----------------|----------------------------|---------------------------|-----|-----------------------------------------------|-----------|
| 1 | 5/1 | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上 | ユニット1<br>歯周組織検査 | 歯周組織の検査とエックス線写真の読影を身につける。  | 歯周疾患のエックス線写真を読影できる。       | Ⅳ-2 | [1回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | 1]<br>0.5 |
| 2 | 5/1 |                   |                 |                            | エックス線写真から歯周疾患の重症度を評価できる。  | Ⅲ-8 |                                               | 2]<br>0.5 |
| 3 | 5/1 |                   |                 |                            | 歯周ポケット測定を行うことができる。        | Ⅳ-3 | [2回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | 3]<br>0.5 |
| 4 | 5/8 |                   |                 |                            | 歯周ポケット測定の結果について説明できる。     | Ⅳ-5 | [3回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | 4]<br>0.5 |
|   |     |                   |                 |                            | 根分岐部病変の診査を行うことができる。       | Ⅳ-3 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | 根分岐部病変の診査結果について説明できる。     | Ⅳ-5 | [4回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 |           |
|   |     |                   |                 |                            | 歯周疾患の病状を説明できる。            | Ⅳ-5 |                                               |           |
|   |     |                   | ユニット2<br>口腔清掃指導 | 口腔清掃状態を評価し、口腔清掃の指導法を身につける。 | プラークを染色することができる。          | Ⅳ-3 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | プラークの付着状態を説明できる。          | Ⅳ-5 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | 口腔清掃指導の手順を説明できる。          | Ⅳ-6 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | 日常のブラッシング動作を確認することができる。   | Ⅳ-1 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | 適切なブラッシング法の選択について説明できる。   | Ⅳ-5 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            | 補助的清掃具を用いたブラッシング技術を指導できる。 | Ⅳ-5 |                                               |           |
|   |     |                   |                 |                            |                           |     |                                               |           |

| 回 | 日    | 担当者               | ユニット                             | 学習目標（G I O）                                           | 行動目標（S B O s）                       | DP   | 予習の項目                                                                                                    | 必要時間                       |
|---|------|-------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 5 | 5/8  | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上 | ユニット3<br>歯石除去、<br>ルートプレーニング（SRP） | 歯周疾患の原因の除去を目的とした歯肉縁上、歯肉縁下のスクレーリング・ルートプレーニングの術式を身につける。 | シックルスケーラーとキュレットスケーラーの形態を説明できる。      | Ⅲ-21 | [5回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2)<br>歯周治療学講義の復習<br><br>[6回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2)<br>歯周治療学講義の復習 | 5]<br>0.5<br><br>6]<br>0.5 |
| 6 | 5/8  |                   |                                  |                                                       | シックルスケーラーを用いた歯肉縁上スクレーリングを行うことができる。  | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | グレイシー型キュレットスケーラーの種類と適応部位を説明できる。     | Ⅲ-21 |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | キュレットスケーラーを用いた歯肉縁下スクレーリングを行うことができる。 | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | ルートプレーニングの意義ならびに器具の操作法を説明できる。       | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | スケーラーの磨耗状態を評価しながら、適時研磨を行うことができる。    | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
| 7 | 5/15 | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上 | ユニット4<br>咬合調整                    | 咬合性外傷の軽減を目的とした咬合調整の術式を身につける。                          | Jankelsonの分類を説明できる。                 | Ⅳ-6  | [7回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2)<br>歯周治療学講義の復習<br><br>[8回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2)<br>歯周治療学講義の復習 | 7]<br>0.5<br><br>8]<br>0.5 |
| 8 | 5/15 |                   |                                  |                                                       | Jankelsonの分類に従った咬合調整を行うことができる。      | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 側方運動時の咬合調整におけるBullの法則を説明できる。        | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | Bullの法則に従った側方運動時の咬合調整を行うことができる。     | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 前方運動時の早期接触に対する咬合調整を説明できる。           | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 前方運動時の早期接触に対する咬合調整を行うことができる。        | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 暫間固定ができる。                           | Ⅳ-6  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   | ユニット5<br>歯周ポケット<br>搔爬術           | 歯周組織の消炎を目的とした歯周ポケット搔爬の術式を身につける。                       | 歯周ポケット搔爬の術式を図示して説明できる。              | Ⅳ-4  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 歯周ポケット搔爬術を行うことができる。                 | Ⅳ-4  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   | ユニット6<br>歯肉切除術                   | 歯肉切除術の目的および適応症の理解にもとづいて、その術式を身につける。                   | 歯肉増殖症となる疾患につき説明できる。                 | Ⅲ-19 |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 歯肉切除術の術式を図示して説明できる。                 | Ⅳ-4  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | クレンカプランポケットマーカースを使用できる。             | Ⅲ-21 |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 切開線の設定と外斜切開ができる。                    | Ⅳ-4  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 歯肉切除術の術後の治癒機転を説明できる。                | Ⅲ-8  |                                                                                                          |                            |
|   |      |                   |                                  |                                                       | 歯肉切除術を行うことができる。                     | Ⅳ-4  |                                                                                                          |                            |

| 回                                   | 日                                                  | 担当者                       | ユニット                                  | 学習目標（G I O）                                    | 行動目標（S B O s）                                  | DP                                             | 予習の項目                                         | 必要時間                  |                                                |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------|
| 9                                   | 5/15                                               | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上         | ユニット7<br>歯肉剥離掻爬術                      | 歯肉剥離掻爬術の目的および適応症の理解にもとづいて、その術式を身につける。          | 術式を図示して説明できる。                                  | Ⅳ-4                                            | [9回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | 9]<br>0.5             |                                                |
| 10                                  | 5/29                                               |                           |                                       |                                                | 歯槽骨頂に向かって内斜切開を行うことができる。                        | Ⅳ-4                                            |                                               |                       | [10回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 |
| 11                                  | 5/29                                               |                           |                                       |                                                | 全層弁の形成を行うことができる。                               | Ⅳ-4                                            |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 病的肉芽およびルートプレーニングを行うことができる。                     | Ⅳ-4                                            |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 歯肉弁の緊密な縫合を行うことができる。                            | Ⅳ-4                                            |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 歯周疾患の病態の違いによる術式のバリエーションを説明できる。                 | Ⅳ-4                                            |                                               |                       |                                                |
| ユニット8<br>歯槽骨外科手術                    | 歯槽骨整形術と歯槽骨切除術の目的および適応症の理解にもとづいて、その術式を習得する。         |                           | 歯槽骨整形術の術式を図示して説明できる。                  | Ⅳ-4                                            | [11回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 歯槽骨整形術を行うことができる。                      | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 歯槽骨切除術の術式を図示して説明できる。                  | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 歯槽骨切除術を行うことができる。                      | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 歯槽骨整形術と歯槽骨切除術の違いを説明できる。               | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
| ユニット9<br>ディスタルウェッジ                  | ディスタルウェッジの目的及び適応症の理解にもとづいてその術式を身につける。              | 術式を図示して説明できる。             | Ⅳ-4                                   | [12回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | [12]<br>0.5                                    |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    | ディスタルウェッジを行うことができる。       | Ⅳ-4                                   |                                                |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
| ユニット10<br>ルートリセクション、ヘミセクション、セパレーション | ルートリセクション、ヘミセクション、セパレーションの目的および適応症の理解に基づいて術式を修得する。 | 術式を図示して説明できる。             | Ⅳ-4                                   | [13回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | [13]<br>0.5                                    |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    | セパレーションを行うことができる。         | Ⅳ-4                                   |                                                |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    | 抜去する歯根を分割することができる。        | Ⅳ-4                                   |                                                |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    | 歯根の脱臼、抜去を行うことができる。        | Ⅳ-4                                   |                                                |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    | 12                        | 5/29                                  |                                                |                                                | ユニット11<br>歯周組織誘導再生法                            | 歯周組織誘導再生法の目的および適応症の理解にもとづいて、その術式を習得する。        | 歯周組織再生法の術式を図示して説明できる。 | Ⅳ-4                                            |
| 13                                  | 6/5                                                | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上         | GTR膜の固定を行うことができる。                     | Ⅳ-4                                            | [15回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 根分岐部病変への歯周組織再生療法を行うことができる。            | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
|                                     |                                                    |                           | 歯周組織再生法の治癒機転を説明できる。                   | Ⅳ-4                                            |                                                |                                                |                                               |                       |                                                |
| 14                                  | 6/5                                                | ユニット12<br>遊離歯肉移植術 結合組織移植術 | 遊離歯肉移植術の目的および適応症の理解にもとづいて、その術式を身につける。 | 術式を図示して説明できる。                                  | Ⅳ-4                                            | [16回]<br>1) 該当部分の歯周治療学実習書・教科書を読む 2) 歯周治療学講義の復習 | [16]<br>0.5                                   |                       |                                                |
| 15                                  | 6/5                                                |                           |                                       | 吉永、大城、丸尾、大和、土持、村上                              | 供給側歯肉弁の作成ならびに受容側粘膜弁の形成を行うことができる。               |                                                |                                               | Ⅳ-4                   |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 遊離歯肉を移植できる。                                    |                                                |                                               | Ⅳ-4                   |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 治癒機転ならびに付着歯肉幅の増大メカニズムについて説明できる。                |                                                |                                               | Ⅳ-4                   |                                                |
|                                     |                                                    |                           |                                       |                                                | 16                                             |                                                |                                               | 6/12                  | 17                                             |
| 17                                  | 6/12                                               | 18                        | 6/12                                  | ユニット13<br>実習試験                                 | 実習総括                                           | スケーリング・ルートプレーニングによる歯周疾患の原因除去を行える。              | Ⅳ-6                                           | 第1～17回の実習の復習を行う。      |                                                |

# 冠橋義歯学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD041204

前期：17コマ

評価責任者：松浦尚志

担当教員：松浦尚志、山口雄一郎、加我公行、高江洲雄

（一般目標）

歯質欠損に対する前装冠とオールセラミッククラウンによる歯冠補綴の臨床的意義ならびに術式を理解する。  
歯の欠損に対するブリッジによる欠損補綴の臨床的意義ならびに術式を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-9, Ⅲ-21, IV-2, IV-3, IV-4, IV-7

（教育方法）

パワーポイントによるプレゼンテーションと板書による講義スタイルとする。予め講義ノート用の資料を配布し、学生が自分で資料に書き込みをしながらノートを作成していき、理解を深めるようにする。

（学習方法）

授業前後に下記教科書や参考書の該当箇所を読むこと。講義と教科書を参考に配布される講義ノートに自分でさらに加筆し、完成させた講義ノートを卒業までの参考書とすること。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：11.0 時間】

（評価）

定期試験（記述約20%、客観試験約80%）。定期試験終了後、解答を掲示する。質問は随時受け付ける。

（教科書）

- ①石神元ほか 『冠橋義歯補綴学テキスト 第6版』、永末書店  
最新の全国教科書
- ②三浦宏之ほか 『クラウンブリッジテクニック 第2版』、医歯薬出版  
補綴治療と技工作業の流れを理解しやすい。

（参考書）

Rosentialほか『Contemporary Fixed Prosthodontics 6th ed』、Mosby  
世界でよく使用されている教科書の一つ、図が見やすく理解しやすい（第5版日本語訳有り）。

| 回 | 日    | 担当者   | ユニット           | 学習目標（G I O）                                 | 行動目標（S B O s）                | DP   | 予習の項目                                           | 必要時間 |
|---|------|-------|----------------|---------------------------------------------|------------------------------|------|-------------------------------------------------|------|
| 1 | 4/8  | 松浦尚志  | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 前装冠と金属冠の違いを説明す<br>る。         | Ⅲ-9  | 教科書① p11-16, p101-<br>p102, p111-p112, p124-125 | 0.6  |
| 2 | 4/8  | 山口雄一郎 | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 前装冠の支台歯形成方法を説明す<br>る。        | IV-7 | 教科書① p102-p104, p112-<br>p113                   | 0.6  |
| 3 | 4/15 | 松浦尚志  | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 前装冠製作のための印象採得と色<br>調採得を説明する。 | IV-7 | 教科書① p130-p133, p162-<br>p166                   | 0.7  |
| 4 | 4/15 | 山口雄一郎 | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 前装冠の製作方法のための咬合採<br>得を説明する。   | IV-7 | 教科書① p48-p52, p133-<br>p139                     | 0.7  |
| 5 | 4/22 | 松浦尚志  | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 技工操作を説明する。                   | Ⅲ-21 | 教科書① p104-p109, p114-<br>121                    | 0.7  |
| 6 | 4/22 | 山口雄一郎 | ユニット1<br>前装鑄造冠 | 硬質レジン前装鑄造冠と陶<br>材焼付鑄造冠の臨床的意義<br>と製作方法を理解する。 | 装着方法を説明する。                   | IV-7 | 教科書① p60-p66                                    | 0.7  |
| 7 | 4/24 | 松浦尚志  | ユニット2<br>ブリッジ  | ブリッジの臨床的意義と製<br>作方法を理解する。                   | ブリッジの設計を説明する。                | Ⅲ-9  | 教科書① p93-p98                                    | 0.7  |

| 回  | 日    | 担当者   | ユニット                        | 学習目標（G I O）                       | 行動目標（S B O s）                         | DP   | 予習の項目          | 必要時間 |
|----|------|-------|-----------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|------|----------------|------|
| 8  | 5/13 | 山口雄一郎 | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | ポンティックの選択方法を説明する。                     | IV-4 | 教科書① p98-p100  | 0.7  |
| 9  | 5/20 | 松浦尚志  | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | 診断用ワックスアップとプロビ<br>ジョナルブリッジ製作の方法を説明する。 | IV-3 | 教科書① p139-p142 | 0.7  |
| 10 | 5/27 | 高江洲雄  | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | ブリッジの支台歯形成方法を説明する。                    | IV-7 | 教科書① p123-p128 | 0.7  |
| 11 | 6/3  | 松浦尚志  | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | ブリッジの連結法を説明する。                        | Ⅲ-21 | 教科書① p151-p156 | 0.7  |
| 12 | 6/10 | 松浦尚志  | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | ブリッジの装着方法を説明する。                       | Ⅲ-21 | 教科書① p158-p162 | 0.6  |
| 13 | 6/17 | 松浦尚志  | ユニット2<br>ブリッジ               | ブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。             | 接着ブリッジの意義と製作方法を説明する。                  | IV-7 | 教科書① p167-p174 | 0.6  |
| 14 | 6/24 | 加我公行  | ユニット3<br>補綴前処置              | 予知性の高い補綴治療のための前処置を理解する。           | 補綴前処置の目的と方法を説明する。                     | IV-4 | 教科書① p71-78    | 0.6  |
| 15 | 7/1  | 加我公行  | ユニット4<br>CAD/CAMによる<br>補綴治療 | オールセラミッククラウンブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。 | CAD/CAMによる補綴治療の意義を説明できる。              | IV-4 | 教科書① p183-p210 | 0.6  |
| 16 | 7/2  | 加我公行  | ユニット4<br>CAD/CAMによる<br>補綴治療 | オールセラミッククラウンブリッジの臨床的意義と製作方法を理解する。 | CAD/CAMによる補綴治療の方法を説明できる。              | Ⅲ-21 | 教科書① p183-p210 | 0.6  |
| 17 | 7/8  | 松浦尚志  | ユニット5<br>顎関節症               | 顎関節症の病因、診断および非侵襲的治療について理解する。      | 顎関節症の病因と診断を説明できる。                     | IV-2 | 教科書① p227-p232 | 0.6  |

# 冠橋義歯学実習 【実習】

科目番号 OD041218

前期：42コマ

評価責任者：松浦尚志

担当教員：松浦尚志、山口雄一郎、加我公行、高江洲雄

（一般目標）

前歯部の硬質レジン前装冠による修復と臼歯1歯欠損の橋義歯による修復は、歯科補綴臨床においての基本となる内容を多く含む。診療室での処置と技工室での作業を体験し、生活歯・失活歯に対する修復物製作に関しての一連の手順と基本的原則の理解、技術の習得および適切な材料の取り扱い方を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-9, Ⅲ-21, IV-7

（教育方法）

- ・配布する実習書に従った実技実習。
  - ・ライターによる説明およびデモ。
  - ・部分的な実践ビデオの上映。
- （実習・演習）

（学習方法）

- ・実習前に、配布する実習書や下記教科書の該当箇所を読むこと。
- ・実習前に、講義の該当箇所の復習を行うこと。
- ・実習中に、ライターの説明を良く聞き、デモを見学すること。疑問な点はライターに質問すること。
- ・実習中に、実践ビデオを見ること。
- ・実習後に、行ったことの復習を行うこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 6.0 時間】

（評価）

- ・支台歯形成（30%）
- ・プロビジョナルレストレーション（10%）
- ・レジン前装冠の製作（10%）
- ・診断用ワックスアップ（10%）
- ・ブリッジのプロビジョナルレストレーション（10%）
- ・実習態度（10%）
- ・実習試験（20%）（筆記、実技）

（教科書）

- ・クラウンブリッジテクニック第2版 医歯薬出版 2018年：写真が豊富で理解しやすい。
- ・冠橋義歯補綴学テキスト 第5版 永末書店 2023年：講義で用いる教科書
- ・実習書を配布

（参考書）

- ・歯科補綴学専門用語集 第6版 2023年：用語の理解に最適である。

| 回                          | 日                                         | 担当者                                  | ユニット            | 学習目標（G I O）                                              | 行動目標（S B O s）            | DP   | 予習の項目                                      | 必要時間 |
|----------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------|--------------------------|------|--------------------------------------------|------|
| 1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6 | 4/8<br>4/8<br>4/8<br>4/15<br>4/15<br>4/15 | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット1<br>前装冠の製作 | 前歯部の審美性と機能の回復のために、上顎右側中切歯の歯質欠損に対する硬質レジン前装冠の一連の製作手順を理解する。 | 前装冠の支台歯形態を説明する。          | IV-7 | 実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック第2章 支台歯形成           | 0.9  |
| 7<br>8<br>9                | 4/22<br>4/22<br>4/22                      | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット1<br>前装冠の製作 | 前歯部の審美性と機能の回復のために、上顎右側中切歯の歯質欠損に対する硬質レジン前装冠の一連の製作手順を理解する。 | プロビジョナルレストレーションの意義を説明する。 | Ⅲ-9  | 実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック第5章 プロビジョナルレストレーション | 0.6  |

| 回                                                  | 日                                                            | 担当者                                  | ユニット                        | 学習目標（G I O）                                              | 行動目標（S B O s）                     | DP   | 予習の項目                                                                                                                                           | 必要時間 |
|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 10<br>11<br>12<br>13<br>14<br>15<br>16<br>17<br>18 | 4/24<br>4/24<br>4/24<br>5/13<br>5/13<br>5/20<br>5/20<br>5/20 | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット1<br>前装冠の製作             | 前歯部の審美性と機能の回復のために、上顎右側中切歯の歯質欠損に対する硬質レジン前装冠の一連の製作手順を理解する。 | 前装冠の製作法を説明する。                     | Ⅲ-9  | [10回-12回]<br>実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第11章 レジン前装冠の製作<br><br>[13回-15回]<br>実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第7章 顎間関係の記録<br><br>[16回-18回]<br>実習書の該当ページ | 0.9  |
| 19<br>20<br>21                                     | 5/22<br>5/22<br>5/22                                         | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット1<br>前装冠の製作             | 前歯部の審美性と機能の回復のために、上顎右側中切歯の歯質欠損に対する硬質レジン前装冠の一連の製作手順を理解する。 | 前装用レジンの築盛について説明する。                | Ⅲ-21 | 実習書の該当ページ                                                                                                                                       | 0.3  |
| 22<br>23<br>24                                     | 5/27<br>5/27<br>5/27                                         | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット2<br>ブリッジの製作            | 機能回復のために、上顎左側第一大臼歯欠損に対するブリッジの一連製作手順を理解する。                | 研究用模型の咬合器装着の意義を説明する。              | Ⅳ-7  | 実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第2章 支台歯形成                                                                                                            | 0.3  |
| 25<br>26<br>27                                     | 6/3<br>6/3<br>6/3                                            | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット2<br>ブリッジの製作            | 機能回復のために、上顎左側第一大臼歯欠損に対するブリッジの一連製作手順を理解する。                | 診断用ワクシングの意義を説明する。                 | Ⅲ-9  | 実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第2章 支台歯形成                                                                                                            | 0.3  |
| 28<br>29<br>30                                     | 6/10<br>6/10<br>6/10                                         | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット2<br>ブリッジの製作            | 機能回復のために、上顎左側第一大臼歯欠損に対するブリッジの一連製作手順を理解する。                | 研究用模型上でのプロビジョナルレストレーションの製作法を説明する。 | Ⅳ-7  | 実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第2章 支台歯形成                                                                                                            | 0.6  |
| 31<br>32<br>33<br>34<br>35<br>36                   | 6/17<br>6/17<br>6/17<br>6/24<br>6/24<br>6/24                 | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット2<br>ブリッジの製作            | 機能回復のために、上顎左側第一大臼歯欠損に対するブリッジの一連製作手順を理解する。                | 全部金属被覆冠によるブリッジのための支台歯の形態を説明する。    | Ⅳ-7  | [31回-33回]<br>実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第5章 プロビジョナルレストレーション<br>[34回-36回]<br>実習書の該当ページ、クラウンブリッジテクニック<br>第17章 ブリッジの製作                             | 0.9  |
| 37<br>38<br>39                                     | 7/1<br>7/1<br>7/1                                            | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット3<br>CAD/CAMによる<br>歯冠補綴 | CAD/CAMによる補綴製作時の支台歯形態を理解する。                              | CAD/CAMの補綴製作時の支台歯形態を説明する。         | Ⅳ-7  | 当日配布、クラウンブリッジテクニック 第16章<br>CAD/CAMによるクラウンの製作                                                                                                    | 0.3  |
| 40<br>41<br>42                                     | 7/8<br>7/8<br>7/8                                            | 松浦尚志、<br>山口雄一<br>郎、加我公<br>行、高江洲<br>雄 | ユニット4<br>実習試験および解説          | -                                                        | -                                 | Ⅳ-7  | 実習書全ページ、クラウンブリッジ上記の項目全て                                                                                                                         | 0.9  |

# 有床義歯補綴学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD041223

前期：15コマ

評価責任者：都築 尊

担当教員：都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

（一般目標）

一顎または上下顎の全部の歯を喪失した、いわゆる無歯顎者の口腔の特性と歯の喪失に伴う顎口腔系の形態系、機能的変化および全身におよぼす影響を理解する。さらに、歯の喪失によって生じる部分無歯顎者の歯列および咬合を主体とした顎口腔系の形態系、機能的な変化とその病態、ならびに審美的な変化を理解するとともに、部分無歯顎の特異な咬合圧負担形式の様相とその神経筋機構を理解し、これらを踏まえ、診察、検査、診断、治療計画の立案、治療の方法、補綴装置の概念と作製方法、治療の経過、術後の管理に必要な基礎的理論と実際について習得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-9, Ⅲ-21

（教育方法）

教科書を基本として義歯製作の手順に従って臨床術式の目的と方法、義歯設計の基本原則を理解する。

配布講義ノートに書き込む形式の講義を展開する。学生は国家試験対策ノートを自分の手で作り上げる。

講義の中で動画を用いて視覚的に理解を深める。

講義内容に関連したCBTPassおよび国家試験過去問を解説する。

（学習方法）

【予習方法】

Moodleにアップしている教科書のハイライト部分を自分の教科書に写しておく。

【講義】

講義ノートに書き込む形式の講義を展開する。3～5色のペンを用意しておいてください。

【復習】

Moodleにアップしている復習動画およびCBTPass解説動画を視聴する。講義で解説した厳選問題とCBTPass関連問題を解いて理解を深める。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

【進級要件】

- ①中間試験が100点満点換算で60点以上であること。60点に満たない学生は再試験を行う。再試験に合格すれば中間試験の成績は60点となる。
- ②定期試験が100点満点換算で60点以上であること。60点に満たない学生は再試験を行う。再試験で合格した場合、成績は60点となる。

【評価】

最終成績は中間試験と定期試験の平均点で算出する（小数点以下四捨五入）。定期試験を再試験で合格した場合、最終成績は60点となる。定期試験に中間試験の範囲は含まない。

【フィードバック】

マークシート問題は持ち帰り可とする。試験終了後に、マークシート問題のみフィードバック動画をMoodle にアップロードするので各自で復習すること。  
成績不振の学生は個別指導を行う。

【備 考】

中間試験は日程を変更することがある。

（教 科 書）

- ①市川哲雄他編 「無歯顎補綴治療学 第4版」 医歯薬出版  
（全部床義歯補綴治療を臨床手順に沿ってまとめた学生必読書である。かなり詳しいのでこれを基本教科書とする。）
- ②細井紀雄他編 「コンプリートデンチャーテクニク 第6版」 医歯薬出版  
（全部床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。）
- ③三谷春保他編 「歯学生のパーシャルデンチャー 第6版」 医歯薬出版  
（部分床義歯補綴治療を臨床手順に沿ってまとめた学生必読書である。かなり詳しいのでこれを基本教科書とする。）
- ④五十嵐順正他編 「パーシャルデンチャーテクニク 第6版」 医歯薬出版  
（部分床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。）

(参 考 書)

- ①日本補綴歯科学会編 「歯科補綴学専門用語集第6版」 医歯薬出版  
(専門用語の検索に用いる。顎口腔機能学で購入済み。下記URLより無償ダウンロードできる。)
- ②「有床義歯補綴学」 永末書店  
(全部床義歯と部分床義歯が1冊にまとまっている。別角度からの知識の確認に有用である。)
- ③「歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学第2版」医歯薬出版  
(教科書が簡潔にまとめられている。知識の確認のために使いやすい。)
- ④「歯科国試パーフェクトマスター パーシャルデンチャー補綴学第2版」医歯薬出版 (教科書が簡潔にまとめられている。知識の確認のために使いやすい。)

| 回         | 日         | 担当者                 | ユニット                 | 学習目標（G I O）                | 行動目標（S B O s）               | DP                              | 予習の項目                           | 必要時間   |
|-----------|-----------|---------------------|----------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 1         | 4/2       | 都築 尊                | ユニット4 部分床義歯補綴の臨床ステップ | 部分床義歯の臨床ステップを理解する。         | 部分床義歯の製作の流れを具体的に述べる。        | Ⅲ-21                            | 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P131～137      | 1.0    |
|           |           |                     | ユニット11 可撤性義歯の咬合様式    | 可撤性義歯の咬合様式を理解する。           | Eichner分類別の部分床義歯の咬合様式を説明する。 | Ⅲ-21                            |                                 |        |
| 2         | 4/9       | 都築 尊                | ユニット8 部分床義歯の設計と製作    | 部分床義歯の設計と製作に必要な器具、方法を理解する。 | サバイヤーツールの使用方法を説明する。         | Ⅲ-21                            | 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P138～151      | 1.0    |
|           |           |                     |                      |                            | サベイングの順番を説明する。              | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 部分床義歯の着脱方向を決定する要因を説明する。     | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 支台歯の前処置を説明する。               | Ⅲ-21                            |                                 |        |
| 3         | 4/16      | 都築 尊                | ユニット2 部分床義歯の構成要素     | 部分床義歯の構成要素を理解する。           | クラスプの分類を説明する。               | Ⅲ-21                            | 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P83～93        | 1.0    |
|           |           |                     |                      |                            | 鑄造鉤を説明する。                   | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 線鉤を説明する。                    | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | コンビネーションクラスプを説明する。          | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | アタッチメントの分類を説明する。            | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 歯冠外アタッチメントを説明する。            | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 歯冠内アタッチメントを説明する。            | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | 歯根アタッチメントを説明する。             | Ⅲ-21                            |                                 |        |
|           |           |                     |                      |                            | バーアタッチメントを説明する。             | Ⅲ-21                            |                                 |        |
| 4         | 4/23      | [4回] 都築 尊           | ユニット2 部分床義歯の構成要素     | 部分床義歯の構成要素を理解する。           | フレームワーク各部の名称を説明する。          | Ⅲ-21                            | [4回] 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P191～198 | 4] 1.0 |
| 5<br>4/30 | [5回] 都築 尊 | フレームワークの製作手順を説明する。  |                      |                            | Ⅲ-21                        | [5回] 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P191～198 | 5] 1.0                          |        |
|           |           | フレームワークの試適を説明する。    |                      |                            | Ⅲ-21                        |                                 |                                 |        |
|           |           | 全部床義歯の金属床製作手順を説明する。 |                      |                            | Ⅲ-21                        |                                 |                                 |        |
|           |           | フィニッシュラインを説明する。     |                      |                            | Ⅲ-21                        |                                 |                                 |        |
| 6         | 5/7       | 都築 尊                | ユニット2 部分床義歯の構成要素     | 部分床義歯の構成要素を理解する。           | 上顎に用いられる大連結子を説明する。          | Ⅲ-21                            | 歯学生のパーシャルデンチャー第7版 P94～100       | 1.0    |
|           |           |                     |                      |                            | 下顎に用いられる大連結子を説明する。          | Ⅲ-21                            |                                 |        |

| 回  | 日    | 担当者  | ユニット                               | 学習目標（G I O）                                                                  | 行動目標（S B O s）                   | DP   | 予習の項目                                                     | 必要時間 |
|----|------|------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|-----------------------------------------------------------|------|
| 7  | 5/14 | 都築 尊 | 中間試験                               | -                                                                            | -                               | Ⅲ-21 | 中間試験                                                      | 1.0  |
| 8  | 5/21 | 都築 尊 | ユニット14<br>可撤性義歯の<br>装着・管理・<br>清掃指導 | 可撤性義歯の装着・管理を<br>理解する。                                                        | 完成義歯の装着、検査、調整を説<br>明する。         | Ⅲ-21 | 無歯顎補綴治療学第4版<br>P252～255、歯学生のパー<br>シャルデンチャー第7版<br>P212～216 | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 完成義歯装着時の患者指導を説明<br>する。          | Ⅲ-9  |                                                           |      |
| 9  | 5/22 | 都築 尊 | ユニット14<br>可撤性義歯の<br>装着・管理・<br>清掃指導 | 可撤性義歯の装着・管理を<br>理解する。                                                        | 義歯の清掃指導を説明する。                   | Ⅲ-9  | 無歯顎補綴治療学第4版<br>P268～282、歯学生のパー<br>シャルデンチャー第7版<br>P230～229 | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 義歯装着後の生体の変化を説明す<br>る。           | Ⅲ-9  |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 義歯装着後の義歯の変化を説明す<br>る。           | Ⅲ-9  |                                                           |      |
| 10 | 5/22 | 都築 尊 | ユニット15<br>可撤性義歯装<br>着後の経過観<br>察    | 装着後の生体と義歯の変化<br>を理解する。可撤性義歯の<br>リライン・リベースを理解<br>する。可撤性義歯のリライ<br>ン・リベースを理解する。 | 義歯破折の原因を説明する。                   | Ⅲ-21 | 無歯顎補綴治療学第4版<br>P268～282、歯学生のパー<br>シャルデンチャー第7版<br>P230～229 | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 義歯の修理法を説明する。                    | Ⅲ-21 |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 硬質リライン材と軟質リライン材<br>を説明する。       | Ⅲ-21 |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 直接法によるリラインを説明す<br>る。            | Ⅲ-21 |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 間接法によるリラインを説明す<br>る。            | Ⅲ-21 |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | リベースを説明する。                      | Ⅲ-21 |                                                           |      |
| 11 | 5/28 | 都築 尊 | ユニット16<br>様々な義歯に<br>よる治療           | 様々な可撤性義歯の種類、<br>製作方法を理解する。                                                   | 暫間義歯、移行義歯、診断用義<br>歯、治療用義歯を説明する。 | Ⅲ-21 | 無歯顎補綴治療学第4版19<br>章、歯学生のパーシャルデ<br>ンチャー第7版 P235～243         | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 即時義歯の製作法を説明する。                  | Ⅲ-21 |                                                           |      |
| 12 | 6/4  | 都築 尊 | ユニット16<br>様々な義歯に<br>よる治療           | 様々な可撤性義歯の種類、<br>製作方法を理解する。                                                   | オーバーデンチャーの利点と欠点<br>を説明する。       | Ⅲ-21 | 無歯顎補綴治療学第4版20<br>章、歯学生のパーシャルデ<br>ンチャー第7版 P244～248         | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | オーバーデンチャーの適応症を説<br>明する。         | Ⅲ-21 |                                                           |      |
| 13 | 6/11 | 都築 尊 | ユニット8 部<br>分床義歯の設<br>計と製作          | 部分床義歯の設計と製作に<br>必要な器具、方法を理解す<br>る。                                           | 支台歯間線を説明する。                     | Ⅲ-21 | 歯学生のパーシャルデン<br>チャー第7版 P179～190                            | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 維持線を説明する。                       | Ⅲ-21 |                                                           |      |
| 14 | 6/18 | 都築 尊 | ユニット8 部<br>分床義歯の設<br>計と製作          | 部分床義歯の設計と製作に<br>必要な器具、方法を理解す<br>る。                                           | Kennedy分類に基づく設計を実践<br>する。       | Ⅲ-21 | 歯学生のパーシャルデン<br>チャー第7版 P127～130                            | 1.0  |
| 15 | 6/25 | 吉田兼義 | ユニット16<br>様々な義歯に<br>よる治療           | 様々な可撤性義歯の種類、<br>製作方法を理解する。                                                   | 上顎顎義歯の基本設計を説明す<br>る。            | Ⅲ-21 | 無歯顎補綴治療学第4版<br>P304～310、歯学生のパー<br>シャルデンチャー第7版<br>P261～269 | 1.0  |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 下顎領域の顎補綴装置を説明す<br>る。            | Ⅲ-21 |                                                           |      |
|    |      |      |                                    |                                                                              | 舌接触補助床を説明する。                    | Ⅲ-21 |                                                           |      |

# 口腔腫瘍学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD041206

前期：15コマ  
 評価責任者：平木昭光  
 平木昭光  
 橋本憲一郎  
 担当教員：佐々木三奈  
 有田英生  
 丸瀬靖之

（一般目標）

口腔腫瘍学の前期は口腔外科的疾患のうち全身のおよび系統的な疾患と内科的診断法や検査法を用いて診断する疾患の講義を行う。講義の具体的な内容は口腔感染症、口腔粘膜疾患、血液疾患が含まれ、各疾患の病因と全身疾患との関連を知り、診断と治療を行うための知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー〔DP〕）

Ⅲ-1, Ⅲ-5, Ⅲ-8, Ⅲ-10, Ⅲ-18

（教育方法）

教科書およびプリントによる講義、  
 スライドとビデオによる症例と手術の供覧

（学習方法）

予習の項目に示す指定教科書の頁を講義の前に読み、講義内容を予め把握しておく。  
 2、3年で学習した基礎科目の教科書やノート、プリントを見直し、口腔腫瘍学で講義される内容や疾患の基礎知識の復習を行って講義に臨む。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

定期試験（前期終了後）：100%（記述及び客観試験）  
 模範解答を掲示し、評価を開示する。

（教科書）

シンプルテキスト 口腔外科の疾患と治療 第6版 永末書店

（参考書）

口腔外科学 第4版 医歯薬出版  
 標準口腔外科学 第5版 医学書院  
 サクシンクト口腔外科学 第4版 学健書院  
 口腔内科学 第3版 永末書店  
 最新口腔外科学 第5版 医歯薬出版

| 回 | 日    | 担当者        | ユニット                                               | 学習目標（G I O）                            | 行動目標（S B O s）                                                                 | DP                   | 予習の項目                      | 必要時間      |
|---|------|------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------------|-----------|
| 1 | 4/7  | 橋本         | ユニット1<br>炎症の概念と定義、分類                               | 炎症の概念と定義を知り、炎症の各種分類を理解する。              | 炎症の概念と定義を説明する。<br>炎症の全身および局所症状を述べる。<br>炎症の各種分類を整理する。                          | Ⅲ-5<br>Ⅲ-5<br>Ⅲ-5    | 教科書「シンプルテキスト」ⅢⅠ 炎症         | 1.0       |
| 2 | 4/14 | [2回]<br>橋本 | ユニット2<br>歯性感染の発展段階を知り、各段階の症状を理解する。歯周組織の炎症を理解する。（1） | 歯性感染の発展段階を知り、各段階の症状を理解する。歯周組織の炎症を理解する。 | 歯周組織の炎症にはどのようなものがあるか説明する。                                                     | Ⅲ-8                  | [2回]<br>教科書「シンプルテキスト」ⅢⅠ 炎症 | 2]<br>1.0 |
| 3 | 4/21 | [3回]<br>橋本 | ユニット2<br>歯周組織から顎骨への歯性感染の波及（1）                      | 歯周組織の炎症を理解する。                          | 智歯周囲炎の症状と治療法を述べる。<br>ドライソケットの発症要因とその病態を述べる。                                   | Ⅲ-8<br>Ⅲ-8           | [3回]<br>教科書「シンプルテキスト」ⅢⅠ 炎症 | 3]<br>1.0 |
|   |      |            | ユニット2<br>歯周組織から顎骨への歯性感染の波及（2）                      | 顎炎の病態を知る。                              | 顎骨骨膜炎の病態を挙げ、歯槽骨炎との相違を述べる。<br>下顎骨骨髓炎の症状を述べ、骨膜炎との相違を説明する。<br>慢性下顎骨骨髓炎の治療法を説明する。 | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10 |                            |           |

| 回 | 日    | 担当者     | ユニット                                  | 学習目標（G I O）                         | 行動目標（S B O s）                          | DP                            | 予習の項目                               | 必要時間                         |         |  |
|---|------|---------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|---------|--|
| 4 | 4/27 | 橋本      | ユニット3<br>顎骨周囲軟組織の炎症（1）                | 上顎洞炎の病態を知る。                         | ガレーの骨髓炎の病態を述べる。                        | Ⅲ-10                          | 教科書「シンプルテキスト」III 炎症                 | 1.0                          |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 上顎洞炎の病態を述べ、菌性と鼻性の相違を説明する。              | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 上顎洞炎の治療法を述べる。                          | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         | ユニット3<br>顎骨周囲軟組織の炎症（2）                | 菌性感染症の発展段階を知り、周囲軟組織の炎症の病態を知る。       | 各種組織隙炎の病態を述べる。                         | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
| 5 | 4/27 | 佐々木     | ユニット4<br>口腔領域の特異性炎と全身感染症の成り立ち（1）      | 口腔領域の特異性炎の定義を知り、その種類と症状を理解する。       | 顎放線菌症の特異的病態を説明する。                      | Ⅲ-10                          | 教科書「シンプルテキスト」III 炎症                 | 1.0                          |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 口腔結核の症状を述べる。                           | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 口腔粘膜の結核性潰瘍の特徴を述べる。                     | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 口腔梅毒の特徴を述べる。                           | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         | ユニット4<br>口腔領域の特異性炎と全身感染症の成り立ち（2）      | 全身感染症の発生要因を知り、その症状を理解する。            | SIRSの定義と診断基準を説明する。                     | Ⅲ-18                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 菌血症と敗血症の概念、定義、臨床所見を述べる。                | Ⅲ-18                          |                                     |                              |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     | 菌性病巣感染の原病巣と二次病巣の関係を説明する。               | Ⅲ-18                          |                                     |                              |         |  |
| 6 | 4/28 | [6回] 平木 | ユニット5<br>口腔粘膜疾患の病理組織学的所見と発生要因、臨床症状（1） | 口腔粘膜の構造と機能を知り、口腔粘膜疾患の病理組織学的所見を理解する。 | 口腔粘膜疾患の分類法を述べる。                        | Ⅲ-5                           | [6回] 教科書「シンプルテキスト」IV 口腔粘膜疾患         | [6] 1.0                      |         |  |
| 7 | 5/12 | [7回] 平木 |                                       |                                     | 口腔に水泡を生じる疾患を列挙する。                      | Ⅲ-10                          | [7回] 教科書「シンプルテキスト」IV 口腔粘膜疾患         | [7] 1.0                      |         |  |
| 8 | 5/19 | [8回] 平木 |                                       |                                     | 口腔粘膜のウイルス感染症の種類とそれらの症状、治療法を理解する。       | Ⅲ-10                          |                                     | [8回] 教科書「シンプルテキスト」IV 口腔粘膜疾患  | [8] 1.0 |  |
|   |      |         |                                       |                                     | ユニット5<br>口腔粘膜疾患の病理組織学的所見と発生要因、臨床症状（2）  | 水泡を主徴とする疾患の病態を理解する。           |                                     | 自己免疫水泡症の種類、病因、症状および治療法を説明する。 | Ⅲ-10    |  |
|   |      |         |                                       |                                     | ユニット5<br>口腔粘膜疾患の病理組織学的所見と発生要因、臨床症状（3）  | 紅斑、びらん、潰瘍、白斑を主徴とする疾患の病態を理解する。 | 紅斑あるいはびらんを生じる疾患の種類とそれらの症状、治療法を理解する。 | Ⅲ-10                         |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     |                                        |                               | 口腔粘膜に潰瘍を生じる疾患の種類とそれらの症状、治療法を理解する。   | Ⅲ-10                         |         |  |
|   |      |         |                                       |                                     |                                        |                               | 白斑を生じる疾患の種類とそれらの症状、治療法を理解する。        | Ⅲ-10                         |         |  |
|   |      |         | 前癌病変と前癌状態の概念を理解し、それぞれに分類される疾患を列挙する。   | Ⅲ-10                                |                                        |                               |                                     |                              |         |  |
|   |      |         | ユニット5<br>口腔粘膜疾患の病理組織学的所見と発生要因、臨床症状（4） | 全身疾患に由来する口腔粘膜疾患の病因と病態を理解する。         | 天疱瘡、SLE、ベーチェット病、扁平苔癬、GVHDなどの病因と病態を述べる。 | Ⅲ-10                          |                                     |                              |         |  |

| 回  | 日    | 担当者      | ユニット                                                               | 学習目標（G I O）                          | 行動目標（S B O s）                      | DP   | 予習の項目                                                                                                                       | 必要時間                                          |
|----|------|----------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 9  | 5/26 | [9回] 佐々木 | ユニット6<br>口腔に症状を現す血液疾患および出血性素因（1）<br><br>[10回] 佐々木<br><br>[11回] 佐々木 | 血液の産生とその機能を理解し、その以上によって生じる疾患を知る。     | 血液幹細胞から種々の血球に分化する過程を学ぶ。            | Ⅲ-1  | [9回]<br>教科書「シンプルテキスト」XII 血液疾患・出血性素因<br><br>[10回]<br>教科書「シンプルテキスト」XII 血液疾患・出血性素因<br><br>[11回]<br>教科書「シンプルテキスト」XII 血液疾患・出血性素因 | 9]<br>1.0<br><br>10]<br>1.0<br><br>11]<br>1.0 |
| 10 | 6/2  |          |                                                                    |                                      | 各種血球の分布と役割を述べる。                    | Ⅲ-1  |                                                                                                                             |                                               |
| 11 | 6/9  |          |                                                                    |                                      | 血液一般検査の意義とそれに含まれる検査法を説明する。         | Ⅲ-1  |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 貧血を分解し、各種の病態と口腔内所見を説明する。           | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 顆粒球減少症の定義を述べ、その症状を説明する。            | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 白血病の定義と分類を行い、その病態を説明する。            | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 出血性素因を止血と血液凝固機序より理解する。             | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 血液の異常による出血傾向の病因と病態を述べる。            | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 血小板の減少と機能異常による出血傾向を説明する。           | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 血液凝固異常による出血傾向を分類し説明する。             | Ⅲ-18 |                                                                                                                             |                                               |
| 12 | 6/16 | 平木       | ユニット7<br>腫瘍の定義と分類                                                  | 腫瘍の定義を知り、腫瘍の発生と疫学および口腔領域の腫瘍の分類を理解する。 | 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違を説明する。                 | Ⅲ-10 | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                                                                            | 1.0                                           |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 悪性腫瘍の発生に関与する癌抑制遺伝子、癌遺伝子の役割を説明する。   | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 口腔腫瘍の発生頻度、年齢別分布、死亡率を述べる。           | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
| 13 | 6/23 | 平木       | ユニット8 良性腫瘍 歯原性腫瘍の発生と分類                                             | 正常な歯の発生から歯原性腫瘍の発生由来を理解し、歯原性腫瘍の分類を知る。 | 歯原性腫瘍を上皮性と非上皮性、混合性に分類して列挙する。       | Ⅲ-10 | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                                                                            | 1.0                                           |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 上皮性歯原性腫瘍の症状、病理組織像、治療法を説明する。        | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | エナメル上皮腫の特徴と治療法を説明する。               | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 非上皮性歯原性腫瘍の症状、病理組織像を説明する。           | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 良性腫瘍の一般的治療法を述べる。                   | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 歯原性上皮-歯原性間葉性腫瘍の症状、病理組織像、治療法を説明する。  | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
| 14 | 6/30 | 平木       | ユニット9<br>良性腫瘍 非歯原性腫瘍の発生と分類                                         | 非歯原性腫瘍の発生由来を理解し、非歯原性腫瘍の分類を知る。        | 非歯原性腫瘍を上皮性と非上皮性に分類して列挙する。          | Ⅲ-10 | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                                                                            | 1.0                                           |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 上皮性腫瘍の症状、病理組織像、治療法を説明する。           | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 軟部組織腫瘍を列挙し、症状、病理組織像、治療法を説明する。      | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
|    |      |          |                                                                    |                                      | 骨・軟骨腫瘍の種類を列挙し、その症状、病理組織像、治療法を説明する。 | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |
| 15 | 7/7  | 丸瀬       | ユニット10<br>腫瘍類似疾患の発生と分類                                             | 腫瘍類似疾患の種類を知り、腫瘍との違いを理解する。            | 腫瘍類似疾患の種類と特徴を述べる。                  | Ⅲ-10 | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                                                                            | 1.0                                           |
|    |      |          |                                                                    |                                      | エプーリスの特徴、症状および治療法を説明する。            | Ⅲ-10 |                                                                                                                             |                                               |

# 口腔外科学Ⅰ 【講義】

科目番号 0D041207

前期：15コマ  
 評価責任者：平木昭光  
 勝俣由里  
 有田英生  
 担当教員：丸瀬靖之  
 秋本琢磨  
 橋本憲一郎  
 池邊哲郎

（一般目標）

基礎医学及び臨床医学・口腔医学に基づいた口腔外科学は、内科、外科、耳鼻咽喉科、形成外科などの隣接医学と共通の知識が要求される極めて範囲の広い学問である。ここでは特に口腔外科の一般的な診察法、口腔、顎、顔面の形態・機能の異常を取り上げ、これらを外科的に回復・改善を図ることによって全身の健康にいかに関与するかを教授する。基礎知識として口腔・顎・顔面の発生、解剖、機能の正常な状態を十分に理解させる。臨床にあたってもっとも重要な診断法をはじめ、先天性あるいは後天性の形態異常、口腔・顎・顔面の損傷、口腔顎顔面に関係する神経疾患、の診断法、治療法およびその合併症を講義する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-1, III-10

（教育方法）

スライド、プリントによる講義

（学習方法）

授業前後に下記教科書や参考書の該当箇所を読むこと 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

1) 評価方法

記述及び客観試験（100%）：

①前期定期試験（100%）

2) 学生へのフィードバックの時期と方法

①の試験の直後に、正答表を研究室に掲示する。質問箱または質問欄を掲示して質問を受け付け、その内容を授業で解説する。

（教科書）

栗田賢一他 編集幹事「シンプルテキスト口腔外科の疾患と治療」第5版 永末書店 選定理由：最も新しい内容が含まれるから。

（参考書）

①宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版

②榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

上記①②は内容が詳細で専門医レベルだが、深く調べるにはよい。

③内山健志他 編 『サクシント口腔外科学』 学建書院

上記③はコンパクトで携帯しやすいカラー写真が豊富。

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                         | 学習目標（G I O）         | 行動目標（S B O s）              | DP   | 予習の項目                                                 | 必要時間 |
|---|------|-----|------------------------------|---------------------|----------------------------|------|-------------------------------------------------------|------|
| 1 | 4/6  | 池邊  | ユニット1<br>口腔外科診断法1            | 口腔外科の診査と診断の概念を理解する。 | 診療録の項目を列挙し義務を説明できる。        | Ⅲ-10 | 教科書 367～379頁、561～562頁 を読んで理解する。<br>CBT PASS3版 臨床系2-4頁 | 1.0  |
|   |      |     |                              |                     | 主訴、現病歴、既往歴、家族歴の意味を説明できる。   | Ⅲ-10 |                                                       |      |
|   |      |     |                              |                     | インフォームドコンセントの意義を説明できる。     | I-1  |                                                       |      |
| 2 | 4/6  | 橋本  | ユニット1<br>口腔外科診断法1            | 口腔外科の診査と診断の概念を理解する。 | 全身状態の診査法を説明できる。            | Ⅲ-10 | 教科書 367～379頁、569～570頁 を読んで理解する。<br>CBT PASS3版 臨床系2-4頁 | 1.0  |
|   |      |     |                              |                     | 局所の視診・触診の方法と意味を説明できる。      | Ⅲ-10 |                                                       |      |
|   |      |     |                              |                     | 臨床検査や口腔・顎機能検査の種類を列挙し説明できる。 | Ⅲ-10 |                                                       |      |
|   |      |     |                              |                     | 症候の種類を列挙し説明できる。            | Ⅲ-10 |                                                       |      |
| 3 | 4/13 | 秋本  | ユニット2 口腔顎顔面領域の損傷の診断と治療（歯の外傷） | 歯の外傷の診断と治療法を理解する。   | 一般的な損傷の概念を説明できる。           | Ⅲ-10 | 教科書 49～51頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系142-148頁            | 1.0  |
|   |      |     |                              |                     | 歯牙脱臼の診断法と治療法を説明できる。        | Ⅲ-10 |                                                       |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                               | 学習目標（G I O）                          | 行動目標（S B O s）                | DP   | 予習の項目                                              | 必要時間 |
|----|------|-----|------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|------|----------------------------------------------------|------|
| 4  | 4/13 | 橋本  | ユニット3 口腔軟組織損傷の診断と治療（軟組織損傷）         | 口腔軟組織損傷の診断と治療法を理解する。                 | 口腔軟組織損傷の種類と治療法を説明できる。        | Ⅲ-10 | 教科書 42～49頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系142-148頁          | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 創傷治癒過程を説明できる。                | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 5  | 4/20 | 秋本  | ユニット4 口腔顎顔面領域の損傷の診断と治療（歯槽骨折、下顎骨折）① | 歯槽骨折・下顎骨折・関節突起骨折の原因・分類・症状・治療法を理解する。① | 顎骨折の原因・分類・症状を列挙できる。          | Ⅲ-10 | 教科書 52～56頁、502～508頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系142-148頁 | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 顎骨折の治療方針を説明できる。              | Ⅲ-10 |                                                    |      |
|    |      |     |                                    |                                      | 歯槽骨折の診断・治療法を説明できる。           | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 6  | 4/27 | 橋本  | ユニット5 口腔顎顔面領域の損傷の診断と治療（歯槽骨折、下顎骨折）② | 歯槽骨折・下顎骨折・関節突起骨折の原因・分類・症状・治療法を理解する。② | 下顎骨折の症状を説明できる。               | Ⅲ-10 | 教科書 52～56頁、502～508頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系142-148頁 | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 下顎骨折の診断法を説明できる。              | Ⅲ-10 |                                                    |      |
|    |      |     |                                    |                                      | 下顎骨折の治療法を説明できる。              | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 7  | 5/11 | 橋本  | ユニット6 口腔顎顔面領域の損傷の診断と治療（上顎骨折、頬骨骨折）  | 上顎骨折、頬骨骨折、鼻骨骨折の分類、症状、治療法を理解する。       | 上顎骨折と頬骨骨折の分類と症状を説明できる。       | Ⅲ-10 | 教科書 56～61頁、509～512頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系142-148頁 | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 上顎骨折と頬骨骨折の診断法を説明できる。         | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 8  | 5/18 | 池邊  | ユニット7 先天性異常 口腔顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群① | 顎口腔にみられる先天性異常の病態と症候を理解する。①           | メンデルの法則で遺伝する口腔顎顔面疾患を列挙できる。   | Ⅲ-10 | 教科書 1～32頁、262～273頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系127-131頁  | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 染色体異常による口腔顎顔面疾患を列挙できる。       | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 9  | 5/25 | 池邊  | ユニット8 先天性異常 口腔顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群② | 顎口腔にみられる先天性異常の病態と症候を理解する。②           | 口腔・顎・顔面の発生を説明できる。            | Ⅲ-10 | 教科書 1～32頁、262～273頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系127-131頁  | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 口腔顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群を説明できる。 | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 10 | 6/1  | 有田  | ユニット9 顎変形症の診断と治療①                  | 顎変形症の症状、診断法と手術術式を理解する。①              | 顎変形症の種類を列挙できる。               | Ⅲ-10 | 教科書 33～41頁、469～481頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系137-141頁 | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 顎変形症の治療方針を説明できる。             | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 11 | 6/8  | 有田  | ユニット10 顎変形症の診断と治療②                 | 顎変形症の症状、診断法と手術術式を理解する。②              | 顎変形症の手術術式の種類を述べ説明できる。        | Ⅲ-10 | 教科書 33～41頁、469～481頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系137-141頁 | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 手術の合併症を説明できる。                | Ⅲ-10 |                                                    |      |
|    |      |     |                                    |                                      | 骨延長術を説明できる。                  | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 12 | 6/15 | 池邊  | ユニット11 唇顎口蓋裂の病態、治療法、術後の問題点を理解する。①  | 唇顎口蓋裂の病態、治療法、術後の問題点を理解する。①           | 口唇・口蓋の発生を説明できる。              | Ⅲ-10 | 教科書 285～297頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系223-230頁        | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 唇顎口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。         | Ⅲ-10 |                                                    |      |
|    |      |     |                                    |                                      | 口唇裂・口蓋裂の手術法を説明できる。           | Ⅲ-10 |                                                    |      |
| 13 | 6/22 | 池邊  | ユニット12 唇顎口蓋裂の病態と治療②                | 唇顎口蓋裂の病態、治療法、術後の問題点を理解する。②           | 関連治療、二次手術の種類と手術時期を説明できる。     | Ⅲ-10 | 教科書 285～297頁を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系223-230頁        | 1.0  |
|    |      |     |                                    |                                      | 言語障害と鼻咽腔閉鎖機能の検査法と治療を説明できる。   | Ⅲ-10 |                                                    |      |
|    |      |     |                                    |                                      | 補助装置の意義を説明できる。               | Ⅲ-10 |                                                    |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット            | 学習目標（G I O）              | 行動目標（S B O s）                                                                                              | DP                           | 予習の項目                                                   | 必要時間 |
|----|------|-----|-----------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------|------|
| 14 | 6/29 | 勝俣  | ユニット13<br>神経疾患① | 口腔顎顔面領域の神経機構と神経疾患を理解する。① | 口腔顎顔面領域の神経の種類と支配領域を列挙できる。<br><br>口腔顎顔面領域の神経の機能を説明できる。                                                      | Ⅲ-10<br><br>Ⅲ-10             | 教科書 10～14頁、460～468頁 を読んで理解する。<br>CBT PASS3版 臨床系126-136頁 | 1.0  |
| 15 | 7/6  | 勝俣  | ユニット14<br>神経疾患② | 口腔顎顔面領域の神経機構と神経疾患を理解する。② | 口腔顎顔面領域の神経痛の原因、症状、治療法を説明できる。<br><br>口腔顎顔面領域の運動神経麻痺の原因、症状、治療法を説明できる。<br><br>口腔顎顔面領域の知覚神経麻痺の原因、症状、治療法を説明できる。 | Ⅲ-10<br><br>Ⅲ-10<br><br>Ⅲ-10 | 教科書 10～14頁、460～468頁 を読んで理解する。<br>CBT PASS3版 臨床系126-136頁 | 1.0  |

# 小児歯科学Ⅱ 【講義】

科目番号 0D041226

前期：15コマ  
 評価責任者：岡 暁子  
 岡 暁子  
 柏村 晴子  
 熊谷 徹弥  
 担当教員：石井 華子  
 湯浅健司（非常勤講師）  
 藤瀬 多佳子（非常勤講師）

（一般目標）

胎生期から成人に至る間に小児の口腔領域の正常な発育を促し、これを阻害する口腔疾患について、その予防と治療を知る。小児の口腔の健康促進ならびに管理について理解し、健全な顎口腔機能を育成するための理論や方法を習得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅱ-4, Ⅲ-10, Ⅲ-12, Ⅲ-19, IV-4, IV-8, IV-10

（教育方法）

教科書およびサブノートを用いた説明。

（学習方法）

教科書の流れとサブノートに沿って授業が行われるので、シラバスに沿って予習復習を行うこと。また、参考書には、小児歯科疾患特有の硬組織疾患および軟組織疾患がカラー写真で掲載されているので、理解を深めるため復習に使用すること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 25.0 時間】

（評価）

記述試験 採点后2週間程度で成績を通知する。模範解答も配布を行う。

（教科書）

白川哲夫・福本 敏・岩本 勉・森川和政 編：小児歯科学 医歯薬出版第6版（小児歯科全般の内容が分かりやすくカラーで解説されている）

（参考書）

パーフェクトマスター小児歯科学 第5版 医歯薬出版：（ポケットサイズで図表が多く分かり易く解説されている）

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                             | 学習目標（GIO）                        | 行動目標（SBOs）           | DP   | 予習の項目                                 | 必要時間 |
|---|------|-----|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|------|---------------------------------------|------|
| 1 | 4/10 | 岡   | ユニット15<br>小児の齲蝕治療・修復             | 乳歯・幼若永久歯の齲蝕に対する修復法を理解する。         | 齲蝕の診断に合わせて修復法を説明できる。 | IV-4 | 齲蝕治療 教科書11章<br>サブノート（齲蝕の診断と治療）        | 1.0  |
| 2 | 4/17 | 岡   | ユニット16<br>小児の齲蝕治療・歯内療法（乳歯・幼若永久歯） | 乳歯・幼若永久歯の齲蝕に対する歯内療法を理解する。        | 乳歯・幼若永久歯の歯内療法を説明できる。 | IV-8 | 齲蝕治療 教科書11章<br>サブノート（齲蝕の診断と治療）        | 1.0  |
| 3 | 5/13 | 岡   | ユニット17<br>小児の齲蝕治療・抜歯             | 小児に対する観血処置の留意点 乳歯抜歯の留意点について理解する。 | 観血処置時の注意事項を説明できる。    | IV-8 | 齲蝕治療 教科書11章<br>サブノート（齲蝕の診断と治療）        | 1.0  |
| 4 | 5/15 | 熊谷  | ユニット18<br>小児の歯の外傷 総論             | 外傷の受傷様式と対応法を理解する。                | 外傷の受傷様式分類ができる。       | Ⅲ-10 | 歯の外傷と処置 教科書13章 サブノート（乳歯・幼若永久歯・永久歯の外傷） | 1.0  |
| 5 | 5/20 | 熊谷  | ユニット19<br>小児の歯の外傷 各論（乳歯）         | 乳歯の外傷について理解する。                   | 乳歯外傷への対応法を説明できる。     | Ⅲ-10 | 歯の外傷と処置 教科書13章 サブノート（乳歯・幼若永久歯・永久歯の外傷） | 1.0  |
| 6 | 5/27 | 熊谷  | ユニット20<br>小児の歯の外傷 各論（永久歯）        | 幼若永久歯の外傷について理解する。                | 幼若永久歯外傷への対応を説明できる。   | Ⅲ-12 | 歯の外傷と処置 教科書13章 サブノート（乳歯・幼若永久歯・永久歯の外傷） | 1.0  |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                        | 学習目標（G I O）                           | 行動目標（S B O s）                                     | DP   | 予習の項目                                             | 必要時間 |
|----|------|-----|---------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------|------|
| 7  | 5/29 | 藤瀬  | ユニット21<br>Think<br>Globally, Act<br>Locally | 海外における歯科医療活動を知る。                      | 海外における歯科医療の現状や格差について理解する。                         | Ⅲ-12 |                                                   | 1.0  |
| 8  | 6/3  | 岡   | ユニット 中<br>間テスト                              | これまでの範囲の理解度を<br>確認する。                 | 70%以上の獲得を目指す。                                     | Ⅲ-12 | 中間試験                                              | 8.0  |
| 9  | 6/10 | 岡   | ユニット22<br>小児の軟組織<br>疾患                      | 小児に見られる軟組織異常<br>とその対応について理解す<br>る。    | 軟組織に現れる疾患および対応法<br>を説明できる。                        | Ⅲ-12 | 顎・口腔軟組織疾患 教科<br>書 14章 サブノート（軟<br>組織疾患）            | 1.0  |
| 10 | 6/17 | 岡   | ユニット23<br>成長発達期の<br>顎関節症                    | 小児期の顎関節の発達、顎<br>関節症への対応を理解す<br>る。     | 小児の顎関節症の特徴と対応を理<br>解する。                           | Ⅳ-10 | 成長発達期の顎関節症 教<br>科書 14章 サブノート<br>（成長期の顎関節症）        | 1.0  |
| 11 | 6/19 | 岡   | ユニット24<br>咬合誘導 総<br>論                       | 静的咬合誘導を理解する。                          | 保険装置を説明できる。                                       | Ⅲ-10 | 保険・咬合誘導 教科書16<br>章 サブノート（保険と咬<br>合誘導）             | 1.0  |
| 12 | 6/24 | 岡   | ユニット25<br>咬合誘導 各<br>論                       | 動的咬合誘導を理解する。                          | スペースリゲイン・歯列弓の拡大<br>等について説明できる。                    | Ⅳ-10 | 保険・咬合誘導 教科書16<br>章 サブノート（保険と咬<br>合誘導）             | 1.0  |
| 13 | 6/26 | 岡   | ユニット27<br>小児の口腔保<br>健と医療連携                  | 成長発達に合わせた口腔保<br>健および児童虐待について<br>理解する。 | 小児の治療時の救急対応について<br>説明できる 学校保健のしくみや<br>児童虐待の現状を知る。 | Ⅱ-4  | 小児の口腔保健と医療連携<br>教科書17章 サブノート<br>（口腔保健 医療安全管<br>理） | 1.0  |
| 14 | 7/1  | 石井  | ユニット28<br>口腔内に症状<br>をきたす感染<br>症             | 感染症における口腔内所見<br>を理解する。                | 細菌感染・ウイルス感染によっ<br>て生じる口腔内症状を説明できる。                | Ⅳ-8  | 小児にみられる感染症 教<br>科書19章 サブノート（小<br>児にみられる感染症）       | 1.0  |
| 15 | 7/8  | 熊谷  | ユニット29<br>遺伝性疾患と<br>代謝異常                    | 遺伝性・代謝性疾患の特徴<br>を理解する。                | 遺伝性疾患・代謝性疾患が原因で<br>起こる口腔内の異常を説明でき<br>る。           | Ⅲ-19 | 遺伝性疾患と代謝異常 教<br>科書19章 サブノート（遺<br>伝性疾患と代謝異常）       | 1.0  |

# 

科目番号 OD041227

前期：15コマ

評価責任者：玉置幸雄

担当教員：玉置幸雄、阿部朗子、梶原弘一郎、石井太郎

（一般目標）

不正咬合の診断、治療目標の設定および治療方法の立案のために必要な基本的知識を習得し、各種装置を用いた混合歯列期と永久歯列期の矯正治療の実際を理解する。また、チーム医療における矯正治療の役割を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー〔DP〕）

Ⅲ-7, Ⅲ-11, Ⅳ-9

（教育方法）

プリントおよびパワーポイントによる講義

教科書を適宜使用

（実習・演習）

（学習方法）

各ユニットの授業開始までに「予習の項目」にある教科書の該当箇所を予習し、授業では知識の整理と理解に努め、復習ではプリントと講義後にmoodleによる毎回の小テストを核として知識の定着化をはかる。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0時間】

（評価）

定期試験（歯科矯正学Ⅱ終了後（但し、歯科矯正学Ⅰの内容を含む））：100%（記述試験および客観試験、※但し、毎回の講義後小テストについては設定された合格点をクリアする必要がある）  
希望者に解答用紙を呈示し、講義プリントと教科書を参照しながらフィードバックする。

（教科書）

後藤滋己、齋藤 功、西井 康、榎 宏太郎、森山啓司、山城 隆 他編『歯科矯正学 第7版』、医歯薬出版、2024

（参考書）

William R. Proffit著、高田健治訳、『新版 プロフィットの現代歯科矯正学』、クインテッセンス出版、2004

（歯学生から専門医までを対象に歯科矯正学の理論をわかりやすく解説した本）

西井 康、新井一仁他著、歯科矯正学エッセンシャルテキスト、永末書店、2023

（歯科矯正学の講義の理解を助け、知識の整理をするための本）

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                       | 学習目標（GIO）                   | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                                                                                       | DP   | 予習の項目                            | 必要時間 |
|---|------|-----|----------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------|------|
| 1 | 4/2  | 玉置  | ユニット18<br>矯正治療における抜歯       | 矯正治療における抜歯の目的と判定方法を理解する。    | 抜歯の目的と適応症を説明する。<br>IV-9<br>重度の叢生の非抜歯治療による問題点を説明する。<br>IV-9<br>抜去歯の選択基準を述べる。<br>IV-9<br>抜歯によるデメリットを述べる。<br>IV-9<br>連続抜去法の適応症と禁忌症とを述べる。<br>IV-9<br>連続抜去法の手順を述べる。<br>IV-9<br>口腔模型とセファロを用いた抜歯・非抜歯の判定方法を説明する。<br>IV-9 | IV-9 | 教科書10章—Ⅰ・Ⅱ—Ⅰ・2・Ⅲ<br>教科書11章—Ⅱ—Ⅲ・Ⅳ | 1.0  |
| 2 | 4/9  | 玉置  | ユニット19<br>矯正装置Ⅰ・マルチブラケット装置 | マルチブラケット装置の構造と基本的治療方法を理解する。 | マルチブラケット装置の構造を述べる。<br>IV-9<br>ダイレクトボンディング法を説明する。<br>IV-9                                                                                                                                                         | IV-9 | 教科書16章—Ⅱ—Ⅰ-B                     | 1.0  |
| 3 | 4/16 | 玉置  | ユニット19<br>矯正装置Ⅰ・マルチブラケット装置 | マルチブラケット装置の構造と基本的治療方法を理解する。 | マルチブラケット装置の治療手順を説明する。<br>IV-9<br>マルチブラケット法における固定の目的と方法を説明する。<br>IV-9<br>マルチブラケット装置の長所と短所を述べる。<br>IV-9                                                                                                            | IV-9 | 教科書16章—Ⅱ—Ⅰ-B                     | 1.0  |

| 回  | 日    | 担当者   | ユニット                                  | 学習目標（G I O）                      | 行動目標（S B O s）                 | DP   | 予習の項目             | 必要時間 |
|----|------|-------|---------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------|-------------------|------|
| 4  | 4/17 | 阿部    | ユニット20<br>矯正装置Ⅱ・<br>唇舌側弧線装置と拡大装置      | 唇舌側弧線装置と拡大装置の構造・適応症・作用機序を理解する。   | 舌側弧線装置の構造・作用・適応を述べる。          | IV-9 | 教科書16章—Ⅱ—1—A・C・Ⅲ④ | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | 顎間固定法の構造・作用・適応を述べる。           | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | リップバンパーの構造・作用・適応を述べる。         | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 拡大装置の構造・作用・適応を述べる。            | IV-9 |                   |      |
| 5  | 4/23 | 玉置    | ユニット21<br>矯正装置Ⅲ・<br>床矯正装置と<br>機能的矯正装置 | 床矯正装置と機能的矯正装置の構造と・適応症・作用機序を理解する。 | 矯正床の構造・作用・適応を述べる。             | IV-9 | 教科書16章—Ⅱ—2—A      | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | 咬合挙上板の構造・作用・適応を述べる。           | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 切歯斜面板の構造・作用・適応を述べる。           | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 咬合斜面板の構造・作用・適応を述べる。           | IV-9 |                   |      |
| 6  | 4/30 | 玉置    | ユニット21<br>矯正装置Ⅲ・<br>床矯正装置と<br>機能的矯正装置 | 床矯正装置と機能的矯正装置の構造と・適応症・作用機序を理解する。 | 構成咬合を説明する。                    | IV-9 | 教科書16章—Ⅲ          | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | アクチバートルの構造・作用・適応を述べる。         | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | バイオネーターとフレンケル装置の構造・作用・適応を述べる。 | IV-9 |                   |      |
| 7  | 5/7  | 玉置    | ユニット22<br>矯正装置Ⅳ・<br>顎外固定装置            | 顎外固定装置の構造・適応症・作用機序を理解する。         | 顎整形力を説明する。                    | IV-9 | 教科書16章—Ⅱ—2—B      | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | ヘッドギアの構造・作用・適応を述べる。           | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | チンキャップの構造・作用・適応を述べる。          | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 上顎前方牽引装置の構造・作用・適応を述べる。        | IV-9 |                   |      |
| 8  | 5/14 | 阿部 梶原 | ユニット23<br>矯正装置のまとめ                    | これまでに学習した矯正装置の構造・作用・適応症を理解する。    | 各種矯正装置の構造・作用・適応を説明する。         | IV-9 | 教科書16章            | 1.0  |
| 9  | 5/21 | 玉置    | ユニット24<br>保定                          | 保定の目的と方法を理解する。                   | 後戻りの要因を述べる。                   | IV-9 | 教科書19章            | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | 筋機能療法を説明する。                   | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 自然的保定と器械的保定を説明する。             | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 各種保定装置の構造と適応を説明する。            | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | セプトトミーとオーバーコレクションを説明する。       | IV-9 |                   |      |
| 10 | 5/28 | 梶原    | ユニット25<br>口唇口蓋裂の<br>矯正治療              | 口唇口蓋裂の咬合異常と矯正治療を理解する。            | 口唇口蓋裂の病態を述べる。                 | Ⅲ-7  | 教科書20章—Ⅰ          | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | 口唇口蓋裂の咬合異常を説明する。              | Ⅲ-11 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 口唇口蓋裂の咬合異常の治療を説明する。           | IV-9 |                   |      |
| 11 | 6/4  | 阿部    | ユニット26<br>特別講義・矯正臨床の実際                | 矯正治療の実際の流れを理解する。                 | 新患検査の概要を説明する。                 | IV-9 | 教科書11章            | 1.0  |
|    |      |       |                                       |                                  | 治療計画の立案とカウンセリングの内容を説明する。      | IV-9 |                   |      |
|    |      |       |                                       |                                  | 矯正治療の流れを臨床例をもとに説明する。          | IV-9 |                   |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                     | 学習目標（G I O）                    | 行動目標（S B O s）                  | DP   | 予習の項目      | 必要時間 |
|----|------|-----|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------|------------|------|
| 12 | 6/11 | 玉置  | ユニット27<br>他科との協同による治療    | 外科的矯正治療と限局矯正治療の目的と方法を理解する。     | 外科的矯正治療の目的と治療の流れを説明する。         | IV-9 | 教科書20章—Ⅱ・Ⅳ | 1.0  |
|    |      |     |                          |                                | デンタルコンペンセーションを説明する。            | Ⅲ-11 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 術前・術後矯正の目的を述べる。                | IV-9 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 限局矯正治療の適応を説明する。                | IV-9 |            |      |
| 13 | 6/18 | 石井  | ユニット28<br>発育期の矯正治療にできること | 不正咬合の病因と病態、および治療の進め方を理解する。     | 不正咬合の病因を述べる。                   | Ⅲ-11 | 教科書17章・22章 | 1.0  |
|    |      |     |                          |                                | 不正咬合の病態を述べる。                   | Ⅲ-11 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 発育期の矯正治療の進め方を説明する。             | IV-9 |            |      |
| 14 | 6/25 | 玉置  | ユニット29<br>矯正治療の診断と治療のまとめ | 矯正治療における基本的な診断と治療方針の作成方法を理解する。 | 矯正治療における基本的な診断と治療方針の作成方法を説明する。 | IV-9 | 配布資料       | 1.0  |
| 15 | 7/2  | 玉置  | ユニット30<br>矯正治療の全体像       | 矯正治療の目的と不正咬合の予防、治療法を理解する。      | 不正咬合の発生率を説明する。                 | Ⅲ-11 | 教科書6章・22章  | 1.0  |
|    |      |     |                          |                                | 不正咬合の予防法を説明する。                 | IV-9 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 2相性の治療を説明する。                   | IV-9 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 矯正治療による偶発症を説明する。               | IV-9 |            |      |
|    |      |     |                          |                                | 矯正治療の将来を展望する。                  | IV-9 |            |      |

# 高齢者歯科学 【講義】

科目番号 0D041214

前期：15コマ

評価責任者：内藤 徹（高齢者歯科学）

内藤 徹、梅崎陽二郎

得能智武（内科学）

担当教員：園田英人（外科学）

山野貴史（耳鼻咽喉科学）、

海老原 寛（東北大学・リハビリテーション科）

（一般目標）

超高齢社会を迎え、日常の歯科臨床の際に高齢者の診療を行う機会が急激に増加している。高齢者の診療には、全身状態の加齢変化や身体諸機能の低下、高齢者に特有の心理的な背景や社会保障制度への配慮が必要であり、広汎な医学的な知識と経験と保健や福祉の法則やしぐみに関する情報のアップデートが必要となってくる。本講では、高齢者の全身疾患と歯科治療の関係を理解し、要介護高齢者の口腔の現状について知り、高齢社会における口腔ケアの意義や目的について理解し、関連する保険や社会保障制度に関する知識を習得し、病診連携や訪問歯科診療も含めた高齢者歯科治療への対応ができるような基礎知識を習得する。また、高齢者にしばしばみられる摂食・嚥下機能障害について理解するための解剖学的知識および摂食・嚥下のメカニズムと、摂食・嚥下障害の原因と病態、検査法、治療・訓練法について学ぶ。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-3, Ⅲ-13, Ⅲ-14, Ⅲ-17, Ⅲ-20, V-1, V-2, V-3

（教育方法）

板書、スライドによる講義。

マルチメディアによる説明。

必要に応じてプリントを配布する。

（学習方法）

予習においては、教科書の指定されたページを読んで予習する。授業の際に配付するプリント資料を用いて知識の整理と理解に努める。復習ではプリントを核とし、予習の項目に記載されている参考情報を参照し、知識の定着を図ること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

記述試験（定期試験100%）：試験終了後に随時質問に答える。

評点はポータルサイトに掲示する。

（教 科 書）

佐藤裕二ら編集『よくわかる高齢者歯科学 第2版』永末書店、2023. コンパクトにまとめた高齢者歯科の定番の教科書。内容が新しく、最新の歯科医師国家試験出題基準に準拠した内容となっている。

（参 考 書）

日本老年医学会 編集 『老年医学系統講義テキスト』西村書店、2013. 老年医学に関する内容と高齢者に多くみられる疾患等について詳しく、臨床を行ううえで有用性が高い。

篠崎 文彦 『“紹介状”書きましよう 安心安全の有病者歯科治療』 デンタルダイヤモンド社、2006. 高齢者の臨床で機会の多い、診療情報提供書の書き方について、症例に応じた丁寧な解説がある。

池上直己ら編集 『臨床のためのQOL評価ハンドブック』 医学書院、2001. QOL評価に関する定番の教科書。

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット              | 学習目標（G I O）                      | 行動目標（S B O s）              | DP   | 予習の項目                                                                                                                                                                                                           | 必要時間 |
|---|------|-----|-------------------|----------------------------------|----------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 4/7  | 内藤  | ユニット1 高齢社会と社会の仕組み | 高齢社会の特徴を理解し、高齢社会の問題点について説明できる。   | 高齢者社会の社会環境を説明する。           | V-1  | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P27-33、内閣府 平成29年版高齢社会白書<br><a href="http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/zenbun/29pdf_index.html">http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2017/zenbun/29pdf_index.html</a> にてDL可能 | 1.0  |
|   |      |     |                   |                                  | 高齢社会の問題点を述べる。              | V-1  |                                                                                                                                                                                                                 |      |
|   |      |     |                   |                                  | 高齢者・要介護者への社会的な支援体制について述べる。 | V-2  |                                                                                                                                                                                                                 |      |
| 2 | 4/10 | 梅崎  | ユニット2 加齢と老化       | 全身の加齢変化と高齢者の身体的・心理的な特徴について説明できる。 | 老化のメカニズムを説明する。             | Ⅲ-3  | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P50-61                                                                                                                                                                                        | 1.0  |
|   |      |     |                   |                                  | 高齢者の身体的特徴、精神的特徴を列挙する。      | Ⅲ-3  |                                                                                                                                                                                                                 |      |
| 3 | 4/14 | 内藤  | ユニット3 認知症とその診断    | 認知症の症状、分類、診断の基礎について説明できる。        | 認知症の中核症状、周辺症状を説明する。        | Ⅲ-17 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P62-77                                                                                                                                                                                        | 1.0  |
|   |      |     |                   |                                  | 認知症の分類を説明する。               | Ⅲ-17 |                                                                                                                                                                                                                 |      |
|   |      |     |                   |                                  | 認知症の診断法を具体的に述べる。           | Ⅲ-17 |                                                                                                                                                                                                                 |      |
| 4 | 4/17 | 梅崎  | ユニット4 口腔の加齢変化     | 口腔の加齢変化と病的变化の違いについて説明できる。        | 口腔諸組織の加齢変化を説明する。           | Ⅲ-13 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P58-61、85-86                                                                                                                                                                                  | 1.0  |
|   |      |     |                   |                                  | 加齢変化と口腔諸器官との関連を説明する。       | Ⅲ-13 |                                                                                                                                                                                                                 |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                    | 学習目標（G I O）                               | 行動目標（S B O s）                     | DP   | 予習の項目                                | 必要時間 |
|----|------|-----|-------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------|------|--------------------------------------|------|
| 5  | 4/21 | 内藤  | ユニット5 高齢者の歯科治療の注意点      | 全身疾患を有する高齢者の歯科診療の留意点と全身管理について説明できる。       | 高齢者の歯科治療上の留意点を説明する。               | Ⅲ-13 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P128-145           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 高齢者の歯科治療時の全身管理の留意点を説明する。          | Ⅲ-13 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 高齢者の歯科治療時に生じる偶発症への対応を説明する。        | Ⅲ-13 |                                      |      |
| 6  | 4/28 | 梅崎  | ユニット6 高齢者に多く見られる疾患とその管理 | 高齢者に多くみられる疾患を説明できる。                       | 高齢者に多くみられる循環器疾患の病態を説明する。          | Ⅲ-14 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P160-166           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 高齢者に多くみられる呼吸器疾患の病態を説明する。          | Ⅲ-14 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 高齢者に多くみられる神経疾患の病態を説明する。           | Ⅲ-14 |                                      |      |
| 7  | 5/12 | 内藤  | ユニット7 摂食嚥下のメカニズムと障害     | 高齢者の嚥下の問題と誤嚥性肺炎について説明できる。                 | 嚥下が完成するまでの生理学的なメカニズムを説明する。        | Ⅲ-20 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P146-151           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 嚥下障害が発生する過程を説明する。                 | Ⅲ-20 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 嚥下障害を改善するための方策を説明する。              | Ⅲ-20 |                                      |      |
| 8  | 5/19 | 山野  | ユニット8 耳鼻科領域からみた嚥下障害     | 摂食嚥下障害への歯科医師としての対応について説明できる。              | 摂食・嚥下障害の検査法を説明する。                 | Ⅲ-14 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P180-202           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 摂食・嚥下障害の原因を説明する。                  | Ⅲ-14 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 嚥下障害の外科的アプローチの方法を説明する。            | Ⅲ-14 |                                      |      |
| 9  | 5/26 | 内藤  | ユニット9 摂食嚥下障害のリハビリテーション  | 摂食・嚥下障害のリハビリテーションの目的と手技について説明できる。         | 摂食と嚥下障害とリハビリテーション方法を説明する。         | Ⅲ-14 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P180-202           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 間接訓練法を説明する。                       | Ⅲ-14 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 直接訓練法を説明する。                       | Ⅲ-14 |                                      |      |
| 10 | 6/2  | 海老原 | ユニット10 誤嚥性肺炎はどのように起きるか？ | 嚥下機能の低下から肺炎の発症に至るまでのメカニズムについて最新の知見を説明できる。 | 嚥下機能低下の病理を説明する。                   | Ⅲ-13 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P180-202           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 誤嚥性肺炎予防の方策を説明する。                  | Ⅲ-13 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           |                                   |      |                                      |      |
| 11 | 6/9  | 梅崎  | ユニット11 経管栄養の適用とその手技     | 嚥下不能症例に対する経管栄養について説明できる。                  | 嚥下不能症例に対する経管栄養の種類とそれらの特徴について説明する。 | Ⅲ-17 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P203-211           | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 胃瘻造設の手技と管理方法を説明する。                | Ⅲ-17 |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 在宅看護・介護における経管栄養の実態について説明する。       | Ⅲ-17 |                                      |      |
| 12 | 6/16 | 内藤  | ユニット12 地域との医療連携         | 病診連携の重要性と具体的な情報提供の方法について説明できる。            | 病診連携の方法を説明する。                     | V-3  | 『“紹介状”書きましよう 安心安全の有病者歯科治療』（参考書）P6-21 | 1.0  |
|    |      |     |                         |                                           | 診療情報提供書などの臨床で使用される文書の記載法を説明する。    | V-3  |                                      |      |
|    |      |     |                         |                                           | 有病高齢者の診療情報提供書を記載できる。              | V-3  |                                      |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                         | 学習目標（G I O）                                                           | 行動目標（S B O s）                   | DP   | 予習の項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 必要時間 |
|----|------|-----|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 13 | 6/23 | 内藤  | ユニット13<br>高齢者を支える社会制度とその運用   | 要介護者が、誰によって、どのような施設・仕組みで、どのように介護を受け、それらがどのような制度によって維持されているかについて説明できる。 | 介護保険の基本的な仕組みについて具体的に述べる。        | Ⅲ-13 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P34-43、後期高齢者医療制度HP（厚生労働省）<br><a href="http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuken/koukikourei/index.html">http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuken/koukikourei/index.html</a> 介護・高齢者福祉<br><a href="http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi-kaigo/kaigo-koureisha/">http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi-kaigo/kaigo-koureisha/</a> | 1.0  |
|    |      |     |                              |                                                                       | 要介護者に対応する社会保障制度の仕組みを説明する。       | Ⅲ-13 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
| 14 | 6/30 | 梅崎  | ユニット14<br>高齢者の低栄養とその予防       | 高齢者に発生しやすい低栄養状態とそのスクリーニングおよび健康予防について説明できる。                            | 高齢者の食の重要性について説明する。              | Ⅲ-14 | 『よくわかる高齢者歯科学』（教科書）P203-211                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 1.0  |
|    |      |     |                              |                                                                       | 高齢者への栄養指導の方法を説明する。              | Ⅲ-14 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
|    |      |     |                              |                                                                       | 低栄養のスクリーニング法について説明する。           | Ⅲ-14 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
| 15 | 6/30 | 内藤  | ユニット15<br>高齢者の健康と口腔および全身のQOL | 健康の構成要素とQOLの測定概念および質問紙法によるQOL測定について説明できる。                             | 健康観を構成する要素を説明する。                | V-3  | 『臨床のためのQOL評価ハンドブック』（参考書）P2-17                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1.0  |
|    |      |     |                              |                                                                       | QOLの評価法について説明する。                | V-3  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |
|    |      |     |                              |                                                                       | 健康者、高齢者、特定の疾患罹患者のQOL評価について説明する。 | V-3  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |

# 画像診断学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD041210

前期：13コマ

評価責任者：香川豊宏

担当教員：香川豊宏、筑井朋子、河合泰輔

（一般目標）

放射線を用いた診療を適切に行うために、放射線の基本的事項、物理学的事項および生物学的事項を理解する。  
顎口腔顔面領域に発生する疾患の画像診断を適確に行うために、各種画像検査法の撮像原理および特徴を理解するとともに各画像の解剖を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-21, IV-3, IV-15

（教育方法）

板書、スライドによる講義  
必要に応じてプリントを配布する。

（学習方法）

授業前後に下記教科書の該当箇所を読むこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 19.0 時間】

（評 価）

記述式問題、多肢選択問題、短答式問題  
出席点10% 定期試験 90%  
希望者に採点した解答用紙を呈示する。

（教 科 書）

岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第7版』 医歯薬出版 2024

（参 考 書）

なし

| 回 | 日    | 担当者  | ユニット              | 学習目標（G I O）                       | 行動目標（S B O s）            | DP    | 予習の項目          | 必要時間 |
|---|------|------|-------------------|-----------------------------------|--------------------------|-------|----------------|------|
| 1 | 4/7  | 香川豊宏 | ユニット1<br>放射線物理学   | 放射線の物理学的作用を理解する。                  | 原子の構造を説明する。              | Ⅲ-1   | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|   |      |      |                   |                                   | 電離と励起を説明する。              | Ⅲ-1   |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 直接電離放射線を説明する。            | Ⅲ-1   |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 間接電離放射線を説明する。            | Ⅲ-1   |                |      |
| 2 | 4/14 | 香川豊宏 | ユニット1<br>放射線物理学   | 放射線の物理学的作用を理解する。                  | エックス線の発生原理を説明する。         | Ⅲ-21  | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|   |      |      |                   |                                   | エックス線管の構造とその構造物の役割を説明する。 | Ⅲ-21  |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | エックス線と物質の相互作用を説明する。      | Ⅲ-21  |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | エックス線の減弱を説明する。           | Ⅲ-21  |                |      |
| 3 | 4/21 | 筑井朋子 | ユニット2<br>エックス線写真学 | エックス線写真を形成する過程を理解する。              | 感光の原理を説明する。              | Ⅲ-21  | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|   |      |      |                   |                                   | フィルムの特性曲線を説明する。          | Ⅲ-21  |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 撮影に必要な器具を説明する。           | Ⅲ-21  |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 写真処理過程を説明する。             | Ⅲ-21  |                |      |
| 4 | 4/28 | 香川豊宏 | ユニット3<br>放射線生物学   | 放射線が生物に与える影響の発現過程およびその種類について理解する。 | 放射線障害の発現過程を説明する。         | IV-15 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|   |      |      |                   |                                   | 放射線障害を増強する因子について説明する。    | IV-15 |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 障害からの回復について説明する。         | IV-15 |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 放射線障害の分類について説明する。        | IV-15 |                |      |
|   |      |      |                   |                                   | 組織・臓器の種類と障害との関連について説明する。 | IV-15 |                |      |

| 回  | 日    | 担当者  | ユニット                       | 学習目標（G I O）                         | 行動目標（S B O s）                     | DP     | 予習の項目          | 必要時間 |
|----|------|------|----------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|--------|----------------|------|
| 5  | 5/12 | 香川豊宏 | ユニット4<br>放射線防護             | 放射線防護の原則および実際について説明できる。             | 被曝のカテゴリーについて説明する。                 | IV-15  | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|    |      |      |                            |                                     | 放射線防護の体系について説明する。                 | IV-15  |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | 放射線防護に用いられる線量について説明する。            | III-21 |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | 患者の防護について説明する。                    | IV-15  |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | 医療従事者の防護について説明する。                 | IV-15  |                |      |
| 6  | 5/19 | 香川豊宏 | ユニット5<br>エックス線撮影法の基本       | エックス線撮影法とその撮影装置の種類・構造及び像の成り立ちを理解する。 | 歯科に用いるエックス線撮影法の分類およびフィルムの種類を説明する。 | III-21 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|    |      |      |                            |                                     | 歯科用エックス線撮影装置の構造を説明する。             | III-21 |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | エックス線写真における種々の効果および陰影を説明する。       | III-21 |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | デジタル写真の原理と特徴を説明する。                | III-21 |                |      |
| 7  | 5/26 | 香川豊宏 | ユニット6<br>口内法エックス線撮影法       | 口内法エックス線撮影法の種類、原理および適応について理解する。     | 二等分法の撮影原理および特徴を説明する。              | IV-3   | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|    |      |      |                            |                                     | 平行法の撮影原理および特徴を説明する。               | IV-3   |                |      |
| 8  | 6/2  | 香川豊宏 | ユニット6<br>口内法エックス線撮影法       | 口内法エックス線撮影法の種類、原理および適応について理解する。     | 偏心投影法の撮影原理および特徴を説明する。             | IV-3   | 教科書の該当ページを読むこと | 1.5  |
|    |      |      |                            |                                     | 咬翼法の撮影原理および特徴を説明する。               | IV-3   |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | 咬合法の撮影原理および特徴を説明する。               | IV-3   |                |      |
| 9  | 6/9  | 香川豊宏 | ユニット7<br>口内法の画像解剖          | 口内法エックス線解剖を理解する。                    | 二等分法写真のエックス線解剖を説明する。              | IV-3   | 教科書の該当ページを読むこと | 1.4  |
|    |      |      |                            |                                     | 咬合法写真のエックス線解剖を説明する。               | IV-3   |                |      |
| 10 | 6/16 | 香川豊宏 | ユニット8<br>パノラマエックス線撮影法      | パノラマエックス線撮影法の原理および適応について理解する。       | パノラマエックス線撮影装置の構造を説明する。            | III-21 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.4  |
|    |      |      |                            |                                     | パノラマエックス線撮影の手順を説明する。              | IV-3   |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | パノラマエックス線撮影法の撮像原理を説明する。           | III-21 |                |      |
| 11 | 6/23 | 香川豊宏 | ユニット8<br>パノラマエックス線撮影法      | パノラマエックス線撮影法の原理および適応について理解する。       | パノラマエックス線写真上の障害陰影を説明する。           | III-21 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.4  |
|    |      |      | ユニット9<br>パノラマエックス線撮影法の画像解剖 | パノラマエックス線解剖を理解する。                   | パノラマエックス線写真の解剖を説明する。              | III-2  |                |      |
| 12 | 6/30 | 香川豊宏 | ユニット10<br>パノラマ以外の口外法       | 口腔顎顔面領域に用いるエックス線撮影法の種類および適応を理解する。   | 頭部エックス線撮影法の種類を説明する。               | IV-3   | 教科書の該当ページを読むこと | 1.4  |
|    |      |      |                            |                                     | 撮影法とその適応について説明する。                 | IV-3   |                |      |
| 13 | 7/7  | 河合泰輔 | ユニット11<br>CT               | CTおよび歯科用コンベームCTの原理、適応を理解する。         | CTの撮像原理を説明する。                     | III-21 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.4  |
|    |      |      |                            |                                     | CTの特徴と適応を説明する。                    | IV-3   |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | CT写真の表示法を説明する。                    | IV-3   |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | CT写真における障害陰影について説明する。             | III-21 |                |      |
|    |      |      |                            |                                     | 歯科用CTの原理と適応を説明する。                 | III-21 |                |      |

# 麻酔科学Ⅰ 【講義】

科目番号 OD041211

前期：15コマ  
 評価責任者：池田水子  
 野上堅太郎  
 担当教員：守永紗織  
 白川由紀恵

（一般目標）

全身麻酔法、静脈内鎮静法、局所麻酔法による周術期管理を理解する。口腔内を中心とした痛みや麻痺を呈する疾患の診断と治療法等について理解する。歯科治療時の合併症の病態と治療について理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-10, Ⅲ-19, Ⅲ-20

（教育方法）

スライド、プリント、板書による講義、教科書による講義、演習、ビデオ視聴

（学習方法）

予習

1) 教科書、参考書で授業範囲の予習を行う。

復習

2) プリントや教科書、参考書による復習、確認を行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

定期試験：90%、出席を含む授業態度：10%

学生へのフィードバックの時期

- 1) 試験の後に行われる授業（30分）
- 2) 試験の後のオフィスアワー（15分）

フィードバックの方法

- 1) 試験の後に行われる授業の際に問題の正答と解答のポイントを教える。
- 2) オフィスアワーで個人の解答成績と問題点を口答でフィードバックする。

（教 科 書）

『歯科麻酔・生体管理学第2版』学建書院、2016

選定理由

歯科麻酔学を理解するのに必要最小限の内容が記載されている。参考書に選定した歯科麻酔学は詳しく調べるのに適しているが、内容が多すぎる。

（参 考 書）

『歯科麻酔学』医歯薬出版、第8版、2019

歯科麻酔学に関して基礎から臨床まで十分な内容が網羅されており、理解を深めるのに適している。

| 回 | 日   | 担当者 | ユニット                       | 学習目標（G I O）                               | 行動目標（S B O s）                   | DP   | 予習の項目                            | 必要時間 |
|---|-----|-----|----------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------|------|----------------------------------|------|
| 1 | 4/6 | 野上  | ユニット7<br>局所麻酔（局所麻酔総論）      | 局所麻酔薬について理解する。                            | 局所麻酔法の種類と特徴について説明できる。           | Ⅲ-20 | 教科書p4-7, 13-16, 117-118, 162-163 | 1.0  |
|   |     |     |                            |                                           | 局所麻酔薬の種類と薬理作用について説明できる。         | Ⅲ-20 |                                  |      |
|   |     |     |                            |                                           | 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子について、説明できる。      | Ⅲ-20 |                                  |      |
| 2 | 4/7 | 野上  | ユニット7<br>局所麻酔（局所麻酔総論）      | 局所麻酔薬について理解する。                            | 局所麻酔薬添加血管収縮薬の作用と使用目的について、説明できる。 | Ⅲ-20 | 教科書p131-148, 175, 179-180        | 1.0  |
|   |     |     | ユニット7<br>局所麻酔（局所麻酔各論・伝達麻酔） | 局所麻酔薬の合併症について理解する。下顎孔伝達麻酔の方法、合併症について理解する。 | 局所麻酔による局所的、全身的合併症について説明できる。     | Ⅲ-20 |                                  |      |
|   |     |     |                            |                                           | 下顎孔伝達麻酔の方法、合併症について説明できる。        | Ⅲ-19 |                                  |      |
|   |     |     |                            |                                           | 局所麻酔薬中毒の症状、病態、対処法について説明できる。     | Ⅲ-19 |                                  |      |

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                                | 学習目標（G I O）                                                 | 行動目標（S B O s）                                                | DP   | 予習の項目                                | 必要時間 |
|---|------|-----|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------|------|
| 3 | 4/13 | 池田  | ユニット1<br>麻酔科学概論                     | 麻酔管理の目的を理解する。全身麻酔、局所麻酔の違いを理解する。バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解する。 | 麻酔管理の目的について説明できる。                                            | Ⅲ-19 | 教科書p11-12, 26, 119-127, 100-106, 228 | 1.0  |
|   |      |     |                                     |                                                             | 全身麻酔法、局所麻酔法、精神鎮静法の違いについて説明できる。                               | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | バイタルサイン5つをあげられる。                                             | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | バイタルサインの正常値を説明できる。                                           | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | JCS分類について説明できる。                                              | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 全身麻酔の4要素について説明できる。                                           | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | パルスオキシメータ（経皮的動脈血酸素飽和度）、カプノメータについて説明できる。                      | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 全身麻酔導入から気管挿管までの流れを説明できる。                                     | Ⅲ-19 |                                      |      |
| 4 | 4/14 | 池田  | ユニット2<br>全身麻酔法（吸入/静脈麻酔薬、筋弛緩薬、悪性高熱症） | 麻酔中に用いられる静脈麻酔薬、鎮痛薬について理解する。BIS、TIVAについて理解する。                | プロポフォール、ミダゾラム、チオペンタール、ケタミン、ドロペリドール、デクスメトメジン、フルマゼニルについて説明できる。 | Ⅲ-20 | 教科書p205-220                          | 1.0  |
|   |      |     |                                     |                                                             | 吸入麻酔薬について理解する。悪性高熱症の症状、病態、治療法について理解する。                       | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | MAC、血液ガス分配係数、吸入麻酔薬の導入の速さについて説明できる。                           | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 悪性高熱症の症状、病態、治療法について説明できる。                                    | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 麻酔中に用いられる静脈麻酔薬、鎮痛薬について理解する。BIS、TIVAについて理解する。                 | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | フェンタニル、レミフェンタニル、モルヒネ、ペンタゾシン、ナロキソンについて説明できる。                  | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | BIS、TIVAについて説明できる。                                           | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 筋弛緩薬について理解する。筋弛緩モニターについて理解する。                                | Ⅲ-20 |                                      |      |
| 5 | 4/20 | 白川  | ユニット4<br>気道評価、気道確保、気道確保器具           | 気道評価、気道確保方法、気道確保器具について理解する。                                 | 吸入麻酔薬の種類と特徴について説明できる。                                        | Ⅲ-20 | 教科書p221-227                          | 1.0  |
|   |      |     |                                     |                                                             | MAC、血液ガス分配係数、吸入麻酔薬の導入の速さについて説明できる。                           | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 悪性高熱症の症状、病態、治療法について説明できる。                                    | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 麻酔中に用いられる静脈麻酔薬、鎮痛薬について説明できる。                                 | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | フェンタニル、レミフェンタニル、モルヒネ、ペンタゾシン、ナロキソンについて説明できる。                  | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | BIS、TIVAについて説明できる。                                           | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 筋弛緩薬について理解する。筋弛緩モニターについて理解する。                                | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | ロクロニウム、スキサメトニウム、スガマデクス、ネオスチグミンについて説明できる。                     | Ⅲ-20 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 筋弛緩モニターについて説明できる。                                            | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 気道確保方法について説明できる。                                             | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 気管挿管の利点、欠点について説明できる。                                         | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 喉頭鏡、各種エアウェイ、カフバルーン、マギル鉗子などについて説明できる。                         | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             | 上喉頭器具、ビデオ喉頭鏡、胃管、バイトブロックなどについて説明できる。                          | Ⅲ-19 |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             |                                                              |      |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             |                                                              |      |                                      |      |
|   |      |     |                                     |                                                             |                                                              |      |                                      |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                                  | 学習目標（G I O）                                              | 行動目標（S B O s）                            | DP   | 予習の項目                     | 必要時間 |
|----|------|-----|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------|------|---------------------------|------|
| 6  | 4/20 | 白川  | ユニット4<br>気道評価、気道確保、気道確保器具                             | 気道評価、気道確保方法、気道確保器具について理解する。                              | 挿管困難のリスク因子と対処法について説明できる。                 | Ⅲ-19 | 教科書p152-159               | 1.0  |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 全身麻酔前の経口摂取制限について説明できる。                   | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     | ユニット4<br>周術期気道合併症                                     | 誤嚥性肺炎、喉頭痙攣、気管支痙攣、片肺挿管、食道挿管、歯牙損傷（異物誤飲、誤嚥）、無気肺、気胸について理解する。 | 誤嚥性肺炎について説明できる。                          | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 緩徐導入、急速導入、迅速導入、意識下挿管について説明できる。           | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 声帯麻痺、喉頭浮腫、喉頭痙攣の症状、対処法について説明できる。          | Ⅲ-19 |                           |      |
| 7  | 4/21 | 守永  | ユニット5<br>鎮静法（笑気/静脈内鎮静法）                               | 笑気/静脈内鎮静法の適応、禁忌、方法、合併症、対応方法について理解する。ガスボンベ・ガス流量について理解する。  | 鎮静法の適応、禁忌、方法、合併症、合併症への対処方法について説明できる。     | Ⅲ-19 | 教科書p128, 151-153, 165-169 | 1.0  |
|    |      |     |                                                       |                                                          | ガスボンベ・パイピングの色について説明できる。                  | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | ガス流量について説明できる。                           | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 医療ガスについて説明できる。                           | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 流量計から酸素濃度が計算できる。                         | Ⅲ-19 |                           |      |
| 8  | 4/28 | 守永  | ユニット6<br>偶発症（過換気症候群、迷走神経反射）                           | 過換気症候群、迷走神経反射の症状、病態、対処法について理解する。                         | 過換気症候群、迷走神経反射の症状、病態、対処法について説明できる。        | Ⅲ-19 | 教科書p47-55                 | 1.0  |
| 9  | 5/12 | 野上  | ユニット8<br>偶発症（局所麻酔合併症、高血圧緊急症、注射法、アナフィラキシー）             | 局所麻酔薬中毒、高血圧緊急症、アナフィラキシーの症状、病態、対処法について理解する。注射法について理解する。   | アナフィラキシーの症状、病態、対処法について説明できる。             | Ⅲ-19 | 教科書p57-70, p189           | 1.0  |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 高血圧緊急症の病態、対処法について説明できる。                  | Ⅲ-19 |                           |      |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 静脈内注射、筋肉内注射、皮内注射、皮下注射について説明できる。          | Ⅲ-19 |                           |      |
| 10 | 5/19 | 野上  | ユニット9<br>顎顔面領域の疼痛性疾患の痛み・麻痺性疾患（疼痛性疾患の痛みの発生機序、症状）       | 顎顔面領域の疼痛性疾患の痛みの発生機序、症状について理解する。                          | 歯原性歯痛、非歯原性歯痛、神経障害性疼痛について説明できる。           | Ⅲ-10 | 教科書p189, 191,             | 1.0  |
|    |      |     |                                                       |                                                          | 三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛、舌痛症の症状、病態について説明できる。 | Ⅲ-10 |                           |      |
|    |      |     | ユニット9<br>顎顔面領域の疼痛性疾患の痛み・麻痺性疾患（疼痛性疾患の痛みの治療法、星状神経節ブロック） | 顎顔面領域の疼痛性疾患の痛みの治療法について理解する。星状神経節ブロックについて理解する。            | 三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛、舌痛症の治療法について説明できる。   | Ⅲ-10 |                           |      |
| 11 | 5/26 | 野上  | ユニット9<br>顎顔面領域の疼痛性疾患の痛み・麻痺性疾患（疼痛性疾患の痛みの治療法、星状神経節ブロック） | 顎顔面領域の疼痛性疾患の痛みの治療法について理解する。星状神経節ブロックについて理解する。            | 星状神経節ブロックの適応、禁忌、作用機序、効果、合併症について説明できる。    | Ⅲ-10 | 教科書p227-237               | 1.0  |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                          | 学習目標（G I O）                                      | 行動目標（S B O s）                                | DP   | 予習の項目            | 必要時間 |
|----|------|-----|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------|------|------------------|------|
|    |      |     | ユニット9<br>顎顔面領域の疼痛性・麻痺性疾患（麻痺性疾患の診断と治療、顔面神経の解剖） | 顎顔面領域の麻痺性疾患の発生機序、症状、治療法について理解する。顔面神経の解剖について理解する。 | 三叉神経麻痺、外傷性神経障害の症状、病態、治療法について説明できる。           | Ⅲ-10 |                  |      |
| 12 | 6/2  | 野上  | ユニット9<br>顎顔面領域の疼痛性・麻痺性疾患（麻痺性疾患の診断と治療、顔面神経の解剖） | 顎顔面領域の麻痺性疾患の発生機序、症状、治療法について理解する。顔面神経の解剖について理解する。 | 顔面神経麻痺、顔面けいれんの症状、病態、治療法について説明できる。            | Ⅲ-10 | 教科書p225-226      | 1.0  |
|    |      |     |                                               |                                                  | 顔面神経の解剖、障害部位による症状の違いについて説明できる。               | Ⅲ-10 |                  |      |
| 13 | 6/9  | 野上  | ユニット10<br>周術期に必要な循環器の知識（心電図1）                 | 心電図測定方法、正常心電図波形について理解する。                         | 心電図の測定方法について説明できる。                           | Ⅲ-19 | 教科書p238-240      | 1.0  |
|    |      |     |                                               |                                                  | 心電図の正常波形を説明できる。                              | Ⅲ-19 |                  |      |
|    |      |     | ユニット10<br>周術期に必要な循環器の知識（心電図2）                 | 異常心電図波形について理解する。症状、病態、治療法について理解する。               | 期外収縮、電解質異常の心電図および対処法について説明できる。               | Ⅲ-19 |                  |      |
| 14 | 6/16 | 野上  | ユニット10<br>周術期に必要な循環器の知識（心電図2）                 | 異常心電図波形について理解する。症状、病態、治療法について理解する。               | 徐脈、頻脈性疾患の心電図、使用する薬剤、医療機器について説明できる。           | Ⅲ-19 | 教科書p97, p137-142 | 1.0  |
|    |      |     |                                               |                                                  | 心房細動の心電図波形、症状、使用する薬剤、対処法について説明できる。           | Ⅲ-19 |                  |      |
|    |      |     |                                               |                                                  | 虚血性心疾患の心電図波形、症状、使用する薬剤、対処法について説明できる。         | Ⅲ-19 |                  |      |
| 15 | 6/23 | 池田  | ユニット3<br>術前評価、呼吸機能評価、心不全                      | 麻酔科術前評価について理解する。呼吸機能検査について理解する。                  | ASA分類、NYHA分類、H-J分類について説明できる。                 | Ⅲ-19 | 教科書p137-142      | 1.0  |
|    |      |     |                                               |                                                  | 麻酔科術前評価、常用薬への対応について説明できる。                    | Ⅲ-19 |                  |      |
|    |      |     |                                               |                                                  | スパイロメータについて説明できる。                            | Ⅲ-19 |                  |      |
|    |      |     |                                               |                                                  | 閉塞性換気障害、拘束性換気障害について説明し、それぞれの代表的な疾患名を挙げるができる。 | Ⅲ-19 |                  |      |
|    |      |     |                                               | 心不全の病態、症状、術前検査について理解する。                          | 心不全の病態、症状、術前検査について理解する。                      | Ⅲ-19 |                  |      |

# 精神医学・心身医学 【講義】

科目番号 OD041301

前期：15コマ

評価責任者：心療内科学分野 教授

担当教員：心療内科学分野 教授、田中 佑

（一般目標）

精神医学・心身医学の基礎的な知識を身につけ、精神疾患・心身症から歯科領域に至る様々な疾患を、心身両面から統合的に理解する能力を養う。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-16

（教育方法）

講義

（学習方法）

講義前後に参考書や関連書籍の該当箇所を読み、講義内容を理解する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

（評 価）

定期試験（客観試験）による評価：試験後、模範解答を提示

（教 科 書）

指定なし

（参 考 書）

現代臨床精神医学 第12版 大熊輝雄著 金原出版 2013年  
 標準精神医学 第8版 尾崎紀夫 医学書院 2021年  
 学生のための精神医学 第3版 太田保之、上野武治編 医歯薬出版 2014年  
 T E X T 精神医学 第4版 加藤進昌、神庭重信編 南山堂 2012年  
 カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 井上令一監修 メディカルサイエンスインターナショナル 2016年  
 心身医学標準テキスト 第3版 久保千春編 医学書院 2009年  
 心療内科学―診断から治療まで― 中井吉英・久保千春編 朝倉書店 2022年  
 歯科心身医学 日本歯科心身医学会編 医歯薬出版 2003年  
 明るい歯科心身医学 豊福明、吉川達也 末永書店 2017年

| 回 | 日    | 担当者        | ユニット                 | 学習目標（G I O）        | 行動目標（S B O s）                                                                                                                | DP   | 予習の項目                 | 必要時間 |
|---|------|------------|----------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|------|
| 1 | 4/1  | 心療内科学分野 教授 | ユニット1<br>精神医学・心身医学総論 | 精神医学・心身医学について理解する。 | 精神医学・心身医学の歴史を述べる。                                                                                                            | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|   |      |            |                      |                    | 精神保健の基礎的概念とシステムの現状を述べる。                                                                                                      | Ⅲ-16 |                       |      |
|   |      |            |                      |                    | 精神疾患の診断法を述べる。                                                                                                                | Ⅲ-16 |                       |      |
|   |      |            |                      |                    | 精神症候を説明する。                                                                                                                   | Ⅲ-16 |                       |      |
|   |      |            |                      |                    | 代表的な心理テストと心理療法ならびに脳波、画像検査を説明する。                                                                                              | Ⅲ-16 |                       |      |
| 2 | 4/1  | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症         | 心身症について理解する。       | 心身症、心身医学、心療内科を説明する。                                                                                                          | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|   |      |            |                      |                    | 心身症の病態について心身相関から説明する。                                                                                                        | Ⅲ-16 |                       |      |
| 3 | 4/7  | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症         | 心身症について理解する。       | 代表的な心身症をあげ、それらの病態について述べる。                                                                                                    | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|   |      |            |                      |                    | 代表的な心身症について、それらの診断と治療について述べる。                                                                                                | Ⅲ-16 |                       |      |
| 4 | 4/14 | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症         | 心身症について理解する。       | 代表的な小児心身症、思春期心身症、女性心身症をあげ、特徴、病態、治療法を述べる（夜尿症、吃音症、異食症、夜驚症、不安障害、チック、周期性嘔吐症、起立性調節障害、不登校、注意欠陥／多動性障害、学習障害、発達障害、摂食障害、月経前症候群、更年期障害）。 | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |

| 回  | 日    | 担当者        | ユニット          | 学習目標（G I O）   | 行動目標（S B O s）                                                                                 | DP   | 予習の項目                 | 必要時間 |
|----|------|------------|---------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|------|
| 5  | 4/21 | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症  | 心身症について理解する。  | 摂食障害（神経性食欲不振症、過食症）について、特徴、病態を述べる。                                                             | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 摂食障害の認知行動療法について説明できる。                                                                         | Ⅲ-16 |                       |      |
| 6  | 4/28 | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症  | 心身症について理解する。  | 代表的な神経系の心身症をあげ、特徴、病態、治療法を述べる。                                                                 | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 心理生理学的治療法について説明できる。                                                                           | Ⅲ-16 |                       |      |
| 7  | 5/12 | 心療内科学分野 教授 | ユニット2<br>心身症  | 心身症について理解する。  | 歯科心身症について、どのような特徴があるのか述べる。                                                                    | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 歯科心身症の診断と治療について説明できる。                                                                         | Ⅲ-16 |                       |      |
| 8  | 5/19 | 田中 佑       | ユニット2<br>心身症  | 心身症について理解する。  | 慢性疼痛の病理について説明できる。                                                                             | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 慢性疼痛の治療法について説明できる。                                                                            | Ⅲ-16 |                       |      |
| 9  | 5/26 | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | 統合失調症の病因論と病態、予後について知る。                                                                        | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 統合失調症の治療法について説明する。                                                                            | Ⅲ-16 |                       |      |
| 10 | 6/2  | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | うつ病、躁うつ病の特徴、病態、病前性格、症状、診断、治療法を述べる。                                                            | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 単極型、双極型うつ病、特殊なうつ病について説明する。                                                                    | Ⅲ-16 |                       |      |
| 11 | 6/9  | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | 神経症の各病型（パニック障害、社交不安障害、強迫性障害、全般性不安障害、心的外傷後ストレス障害）、不安障害の関連疾患（身体症状症、心気症、解離性障害）の特徴、病態、症状、治療法を述べる。 | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 歯科領域の不安障害（歯科恐怖症、神経反射性失神、過換気症候群）について特徴、病態、症状、治療法を述べる。                                          | Ⅲ-16 |                       |      |
| 12 | 6/16 | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | 発達障害の特徴、病態、症状、治療法を述べる。                                                                        | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | パーソナリティ障害の特徴、病態、症状、治療法を述べる。                                                                   | Ⅲ-16 |                       |      |
| 13 | 6/23 | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | 高齢者の心理を述べる。                                                                                   | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | せん妄、認知症の特徴、原因、病態、症状、治療法を述べる。アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、若年性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型変性症について述べる。            | Ⅲ-16 |                       |      |
|    |      |            |               |               | 高齢者への対応を述べる。                                                                                  | Ⅲ-16 |                       |      |
| 14 | 6/30 | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | アルコール、アヘン、大麻、覚せい剤、幻覚剤、ニコチンなどの依存症の特徴、病態、症状、治療法を述べる。                                            | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | てんかんの分類、検査、について述べる。                                                                           | Ⅲ-16 |                       |      |
|    |      |            |               |               | 器質性精神病、症状精神病について代表的なものを述べる。                                                                   | Ⅲ-16 |                       |      |
| 15 | 7/7  | 心療内科学分野 教授 | ユニット3<br>精神疾患 | 精神疾患について理解する。 | 睡眠の意義とその生理学的特性について述べる。                                                                        | Ⅲ-16 | 参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。 | 1.0  |
|    |      |            |               |               | 睡眠障害（不眠症・過眠症）の病態とその治療法について述べる。                                                                | Ⅲ-16 |                       |      |

# 有床義歯補綴学実習 【実習】

科目番号 OD041219

通年： 82コマ

評価責任者： 都築 尊

担当教員： 都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平、前芝宗尚、北條朋子

（一般目標）

無歯顎者と部分無歯顎者の形態的、機能的障害に対して、有床義歯を適用して機能ならびに審美的な回復を図るための補綴治療の方法および全部床義歯と部分床義歯の作製過程と作製方法を習得し、さらに各種の材料の取扱いに習熟する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I -8, II -1, III -21, IV -2, IV -3, IV -4, IV -7

（教育方法）

講義、動画、スライド説明および模型実習、6月25日と10月20日に分けて2回実習試験（マークシート方式）を行う。正答率60%に満たない不合格者は10月27日5限目に再試験を行う。

（実習・演習）

（学習方法）

【実習の前準備】

配布する実習帳を読んで必要器具をそろえておくこと。

【用意するもの】

実習器具、実習帳（初日配布）、有床Ⅰ、Ⅱの講義ノートを持参すること。

【実習にあたり理解しておくこと】

- ①全部床義歯のフルバランストオクルージョンにおける咬合小面の形成。
- ②削合の手順と咬合平衡の完成。
- ③半調節性咬合器の取り扱い方。
- ④部分床義歯のフレームワーク製作手順。
- ⑤常温重合法によるレジン重合。
- ⑥レジン研磨に用いる器具。

【試験対策】

実習の中で解説した厳選問題を改変して試験を行うので、厳選問題を見直す。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 16.0 時間】

（評 価）

【成績評価配分】

実習提出物（40%）、実習試験（50%）、態度（10%）

【態度評価】

- ①実習中は清潔な白衣を着用し、半ズボン、サンダルや茶髪は禁止する。ピアスなどの装飾品は外すこと。遵守しない学生は態度点を減ずる。
- ②欠席1回で5点減点。2回で10点減点する。インフルエンザ等の公欠はこの限りではない。

【提出物の評価】

- ①全部床義歯の人工歯排列。ろう義歯の段階で評価する。
- ②削合後の全部床義歯。
- ③完成した部分床義歯。

【実習試験の評価】

実習の中で解説した厳選問題を改変してマークシートで試験を行う。正答率が60%に満たない場合は再試験を行う。

（教 科 書）

- ①細井紀雄他編 「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」 医歯薬出版  
（全部床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。）
- ②五十嵐順正他編 「パーシャルデンチャーテクニック 第6版」 医歯薬出版  
（部分床義歯の製作過程が写真でわかりやすく説明されている。CBTや国家試験の写真問題に対応するために必読である。）

（参 考 書）

- ①日本補綴歯科学会編 「歯科補綴学専門用語集第6版」 医歯薬出版  
（専門用語の検索に用いる。顎口腔機能学で購入済み。下記URLより無償ダウンロードできる。）
- ②「有床義歯補綴学」 永末書店  
（全部床義歯と部分床義歯が1冊にまとまっている。別角度からの知識の確認に有用である。）
- ③「歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学第2版」 医歯薬出版  
（教科書が簡潔にまとめられている。知識の確認のために使いやすい。）
- ④「歯科国試パーフェクトマスター パーシャルデンチャー補綴学第2版」 医歯薬出版（教科書が簡潔にまとめられている。知識の確認のために使いやすい。）

| 回  | 日    | 担当者               | ユニット                      | 学習目標（G I O）                                        | 行動目標（S B O s）                   | DP   | 予習の項目                            | 必要時間 |
|----|------|-------------------|---------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------|------|----------------------------------|------|
| 1  | 4/2  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット6<br>部分床義歯の研究用模型製作    | アルジネート印象採得を習得するとともに、研究用模型の意義について理解する。              | アルジネート印象材を練和する。                 | IV-2 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P24-P27、P40-P43 | 0.6  |
| 2  | 4/2  |                   |                           |                                                    | 概形印象を採得する。                      | IV-2 |                                  |      |
| 3  | 4/2  |                   |                           |                                                    | 石膏を注入する。                        | IV-7 |                                  |      |
|    |      |                   | ユニット8<br>部分床義歯の計画と前処置（1）  | 部分床義歯製作過程における予備サベイングと設計について理解する。                   | 部分床義歯実習の全体を理解する。                | I-8  |                                  |      |
| 4  | 4/9  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット8<br>部分床義歯の計画と前処置（1）  | 部分床義歯製作過程における予備サベイングと設計について理解する。                   | サベイングのデモを受けるとともに、サベイングツールを説明する。 | IV-3 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P44-P48         | 0.6  |
| 5  | 4/9  |                   |                           |                                                    | 研究用模型上でサベイングする。                 | IV-7 |                                  |      |
| 6  | 4/9  |                   |                           |                                                    | 研究用模型上で設計する。                    | IV-4 |                                  |      |
|    |      |                   | ユニット8<br>部分床義歯の計画と前処置（2）  | 部分床義歯の支持、把持、維持について理解する。レストシート形成を行うことができる。          | レストシート、ガイドプレーンを形成する。            | IV-7 |                                  |      |
|    |      |                   | ユニット9<br>部分床義歯の作業用模型製作（1） | 部分床義歯製作における精密印象について理解する。                           | 個人トレーの意義を説明する。                  | Ⅲ-21 |                                  |      |
|    |      |                   |                           |                                                    | 個人トレーを製作する。                     | IV-7 |                                  |      |
|    |      |                   |                           |                                                    | 筋圧形成の意義を説明する。                   | IV-7 |                                  |      |
| 7  | 4/16 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット9<br>部分床義歯の作業用模型製作（1） | 部分床義歯製作における精密印象について理解する。                           | 精密印象を採得する。                      | IV-7 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P49-P54         | 0.6  |
| 8  | 4/16 |                   |                           |                                                    | ボクシングする。                        | IV-7 |                                  |      |
| 9  | 4/16 |                   |                           |                                                    | 石膏を注入する。                        | IV-7 |                                  |      |
|    |      |                   | ユニット9<br>部分床義歯の作業用模型製作（2） | 部分床義歯製作における作業用模型の役割について理解する。                       | トリミングする。                        | IV-7 |                                  |      |
|    |      |                   |                           |                                                    | 作業用模型上でサベイングする。                 | IV-3 |                                  |      |
|    |      |                   |                           |                                                    | 作業用模型上でデザインングする。                | IV-3 |                                  |      |
|    |      |                   |                           |                                                    | 技工指示書を作成する。                     | IV-4 |                                  |      |
| 10 | 4/23 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット1<br>全部床義歯補綴の咬合採得     | 全部床義歯補綴の咬合採得について理解する。咬合採得が完了した作業用模型の咬合器装着について理解する。 | 作業模型を咬合器に装着する。                  | Ⅲ-21 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P75-P81        | 0.6  |
| 11 | 4/23 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 12 | 4/23 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 13 | 4/30 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット2<br>全部床義歯補綴の咬合様式     | フルバランストオクルージョン、咬合小面を理解する。                          | フルバランストオクルージョンを理解する。            | Ⅲ-21 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P89-P97        | 0.6  |
| 14 | 4/30 |                   |                           |                                                    | 前方咬合小面、後方咬合小面、平衡咬合小面を理解する。      | Ⅲ-21 |                                  |      |
| 15 | 4/30 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 16 | 5/7  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット3<br>全部床義歯の人工歯排列（1）   | 審美的かつ機能的な前歯の排列について理解する。前歯排列基準線について理解する。            | 上顎前歯部人工歯を排列する。                  | IV-7 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P89-P97        | 0.6  |
| 17 | 5/7  |                   |                           |                                                    | 前歯排列基準線を説明する。                   | Ⅲ-21 |                                  |      |
| 18 | 5/7  |                   |                           |                                                    | 犬歯排列の三原則を説明する。                  | Ⅲ-21 |                                  |      |
| 19 | 5/14 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット3<br>全部床義歯の人工歯排列（1）   | 審美的かつ機能的な前歯の排列について理解する。前歯排列基準線について理解する。            | 全部床義歯における前歯部の被蓋について説明する。        | Ⅲ-21 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P89-P97        | 0.6  |
| 20 | 5/14 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 21 | 5/14 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 20 | 5/14 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット3<br>全部床義歯の人工歯排列（1）   | 審美的かつ機能的な前歯の排列について理解する。前歯排列基準線について理解する。            | 下顎前歯部人工歯を排列する。                  | IV-7 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P99-P123       | 0.6  |
| 21 | 5/14 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |
| 22 | 5/21 |                   |                           |                                                    |                                 |      |                                  |      |

| 回  | 日    | 担当者               | ユニット                      | 学習目標（G I O）                      | 行動目標（S B O s）     | DP   | 予習の項目                               | 必要時間 |
|----|------|-------------------|---------------------------|----------------------------------|-------------------|------|-------------------------------------|------|
| 22 | 5/21 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット3<br>全部床義歯の人工歯排列（2）   | 歯槽頂間線法則に従った臼歯部人工歯排列を理解する。        | 下顎臼歯部人工歯を排列する。    | Ⅲ-21 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P99-P123          | 0.6  |
| 23 | 5/21 |                   |                           |                                  | パウンドラインを説明する。     | Ⅲ-21 |                                     |      |
| 24 | 5/21 |                   |                           |                                  | 調節湾曲を説明する。        | Ⅲ-21 |                                     |      |
| 25 | 5/28 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット3<br>全部床義歯の人工歯排列（2）   | 歯槽頂間線法則に従った臼歯部人工歯排列を理解する。        | 上顎臼歯部人工歯を排列する。    | Ⅳ-7  | コンプリートデンチャーテクニク第6版P99-P123          | 0.6  |
| 26 | 5/28 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 27 | 5/28 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 28 | 6/4  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット4<br>全部床義歯の歯肉形成       | 全部床義歯の研磨面形態について理解する。             | 歯肉形成を行う。          | Ⅳ-7  | コンプリートデンチャーテクニク第6版P125-P132         | 0.6  |
| 29 | 6/4  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 30 | 6/4  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 31 | 6/11 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット4<br>全部床義歯の歯肉形成       | 全部床義歯の研磨面形態について理解する。             | 歯肉形成を行う。          | Ⅳ-7  | コンプリートデンチャーテクニク第6版P125-P132         | 0.6  |
| 32 | 6/11 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 33 | 6/11 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 34 | 6/18 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット5<br>全部床義歯の重合の前段階     | 全部床義歯の咬合器再装着について理解する。            | テンチの歯型を採得する。      | Ⅳ-7  | コンプリートデンチャーテクニク第6版P133-P134         | 0.6  |
| 35 | 6/18 |                   |                           |                                  | 技工指示書を作成する。       | Ⅳ-3  |                                     |      |
| 36 | 6/18 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 37 | 6/25 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット17<br>実習試験            | 実習の中で解説した国家試験を理解する。              | 国家試験対応能力を身に着ける。   | I-3  | 講義ノートを見直す。実習の中で解説した国家試験問題を改変して出題する。 | 0.2  |
| 38 | 8/25 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット11<br>部分床義歯のフレームワーク製作 | 部分床義歯製作におけるフレームワークの製作過程を理解する。    | 作業用模型にブロックアウトを行う。 | Ⅳ-7  | パーシャルデンチャーテクニク第6版P89-P94            | 1.0  |
| 39 | 8/25 |                   |                           |                                  | 作業用模型にリリーフを行う。    | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 40 | 8/25 |                   |                           |                                  | メタルタッチを付与する。      | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 41 | 8/25 |                   |                           |                                  | ティッシュストップを付与する。   | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 42 | 8/25 |                   |                           |                                  | ワックスステップを付与する。    | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 43 | 9/1  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット11<br>部分床義歯のフレームワーク製作 | 部分床義歯製作におけるフレームワークの製作過程を理解する。    | 複印象を行う。           | Ⅳ-7  | パーシャルデンチャーテクニク第6版P89-P94            | 1.0  |
| 44 | 9/1  |                   |                           |                                  | 耐火模型を製作する。        | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 45 | 9/1  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 46 | 9/1  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 47 | 9/1  |                   |                           | クラスプのワックスアップを行う。                 | Ⅳ-7               |      |                                     |      |
| 48 | 9/8  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット12<br>部分床義歯の咬合採得      | 部分床義歯製作における咬合床を用いての咬合採得について理解する。 | 中心咬合位で咬合採得する。     | Ⅳ-7  | パーシャルデンチャーテクニク第6版P55-P64            | 1.0  |
| 49 | 9/8  |                   |                           |                                  | 咬合器に作業用模型を装着する。   | Ⅳ-7  |                                     |      |
| 50 | 9/8  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 51 | 9/8  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 52 | 9/8  |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 53 | 9/15 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット13<br>部分床義歯の人工歯排列（1）  | 部分床義歯製作における人工歯排列について理解する。        | 人工歯排列する。          | Ⅳ-7  | パーシャルデンチャーテクニク第6版P115-P123          | 1.0  |
| 54 | 9/15 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 55 | 9/15 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 56 | 9/15 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |
| 57 | 9/15 |                   |                           |                                  |                   |      |                                     |      |

| 回  | 日     | 担当者               | ユニット                     | 学習目標（G I O）                              | 行動目標（S B O s）            | DP  | 予習の項目                                                                  | 必要時間 |
|----|-------|-------------------|--------------------------|------------------------------------------|--------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------|------|
| 58 | 9/29  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット14<br>部分床義歯の人工歯排列（2） | 部分床義歯の研磨面形態について理解する。                     | 歯肉形成をする。                 | Ⅳ-7 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P115-P123                                             | 1.0  |
| 59 | 9/29  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 60 | 9/29  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 61 | 9/29  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 62 | 9/29  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 63 | 10/6  | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット15<br>部分床義歯の重合       | 流し込み型床用レジンの性質と重合の手順を理解する。                | 流し込み型床用レジン重合用のスプルーを植立する。 | Ⅳ-7 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P130                                                  | 1.0  |
| 64 | 10/6  |                   |                          |                                          | シリコンコアを採得する。             | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 65 | 10/6  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 66 | 10/6  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 67 | 10/6  |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 68 | 10/13 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット15<br>部分床義歯の重合       | 流し込み型床用レジンの性質と重合の手順を理解する。                | 流し込みレジンを重合する。            | Ⅳ-7 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P133-P135                                             | 1.0  |
| 69 | 10/13 |                   |                          |                                          | 割り出しをする。                 | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 70 | 10/13 |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 71 | 10/13 |                   | ユニット16<br>部分床義歯の研磨       | 部分床義歯製作における咬合調整、研磨について理解する。              | オリジナル模型上で咬合調整する。         | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 72 | 10/13 |                   |                          |                                          | 義歯を研磨する。                 | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 73 | 10/20 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット10<br>全部床義歯の咬合器再装着   | 全部床義歯製作における咬合器再装着を実施するとともに、咬合小面について理解する。 | テンチの歯型を用いて上顎全部床義歯を再装着する。 | Ⅳ-7 | 講義ノートを見直す。実習の中で解説した国家試験問題を改変して出題する。<br><br>コンプリートデンチャーテクニク第6版P151-P172 | 1.0  |
| 74 | 10/20 |                   |                          |                                          | 下顎全部床義歯を再装着する。           | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 75 | 10/20 |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 76 | 10/20 |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
| 77 | 10/20 |                   |                          |                                          |                          |     |                                                                        |      |
|    |       |                   | ユニット17<br>実習試験           | 実習の中で解説した国家試験を理解する。                      | 国家試験対応能力を身に着ける。          | I-7 |                                                                        |      |
| 78 | 10/27 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット10<br>全部床義歯の咬合器再装着   | 全部床義歯製作における咬合器再装着を実施するとともに、咬合小面について理解する。 | 偏心位で選択削合する。              | Ⅳ-7 | コンプリートデンチャーテクニク第6版P151-P172                                            | 0.6  |
| 79 | 10/27 |                   |                          |                                          | 自動削合する。                  | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 80 | 10/27 |                   |                          |                                          | 咬合面の形態修正をし、研磨する。         | Ⅳ-7 |                                                                        |      |
| 81 | 10/28 | 都築、川口、吉田、濱中、前芝、北條 | ユニット7<br>概形印象採得          | 概形印象採得についての医療面接および印象採得を行うことができる。         | 医療面接をする。                 | Ⅱ-1 | パーシャルデンチャーテクニク第6版P24-P27                                               | 0.4  |
| 82 | 10/28 |                   |                          |                                          | マネキンの印象を採得する。            | Ⅳ-3 |                                                                        |      |

後 期

# 課題解決演習Ⅳ（口腔インプラント学）【演習】

科目番号 0D041003A

後期：2コマ

評価責任者：加倉加恵

加倉加恵

担当教員：谷口祐介

柳 束

松本 彩子

（一般目標）

患者の基本情報から、治療プランを立案し、それをフィードバックし、知識と実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅳ-5, Ⅳ-7

（教育方法）

グループディスカッション

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

模擬患者データから治療計画を立案し、治療方法についてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションに対してディスカッションを行う。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：2.0 時間】

（評価）

プレゼンテーションの内容を採点基準に基づいて採点する。  
課題解決演習Ⅳの総合評価に含めてポータルサイトに掲示する。

（教科書）

よくわかる口腔インプラント学第4版（医歯薬出版）

（参考書）

歯科インプラント治療ガイドブック改定新版（クインテッセンス出版株式会社）  
エッセンシャル口腔インプラント学（医歯薬出版）

| 回 | 日     | 担当者                            | ユニット                                 | 学習目標（GIO）                                                             | 行動目標（SBOs）                                                                                                                                                  | DP  | 予習の項目  | 必要時間 |
|---|-------|--------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|------|
| 1 | 10/27 | 加倉加恵、<br>谷口祐介、<br>柳 束、松<br>本彩子 | ユニット3：<br>治療計画（検<br>査・診断を含<br>む）の立案  | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント上部構造の種類とその特徴を説明する。術者可撤式上部構造、患者可撤式上部構造、固定式上部構造、スクリュー固定とセメント固定、クラウンブリッジタイプ、オーバーデンチャー、顎顔面補綴                                                              | Ⅳ-5 | 教科書全範囲 | 1.0  |
| 2 | 10/27 | 加倉加恵、<br>谷口祐介、<br>柳 束、松<br>本彩子 | ユニット4：<br>治療（外科・<br>補綴・メンテ<br>ナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント埋入の外科術式（消毒・滅菌、麻酔、切開、骨切削、縫合・止血、周術期管理）を説明する。チーム医療、手術の準備、口腔内外の清掃と消毒、ガウンテクニック、ドレーピング、局所麻酔、精神鎮静法、モニタリング、切開（メスの種類と切開線）、粘膜剥離、骨切削の侵襲と障害、縫合法、術前術後の注意事項、投薬、生活指導 | Ⅳ-5 | 教科書全範囲 | 1.0  |
|   |       |                                |                                      |                                                                       | CTなどの画像情報を利用してインプラント体の埋入シミュレーションを実施する。CT画像、診断用ソフト、埋入本数と埋入位置の決定、インプラント体の選択、3次元造形モデル、ガイドサージェリー                                                                | Ⅳ-7 |        |      |

# 課題解決演習Ⅳ（成長発達歯学実習（矯正系））【演習】

科目番号 0D041003B

後期：2コマ

評価責任者：玉置幸雄

担当教員：阿部朗子、梶原弘一郎、石井太郎、中嶋宏樹、竹崎公章、河村 純

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

## ◆成長発達歯学実習（矯正系）

成長期の歯列矯正で用いる代表的な矯正装置について、症例分析の結果を基に適切に選択し、予想される治療効果を説明するための技能・態度を習得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅳ-9

（教育方法）

診断実習、ロールプレイ

歯列模型分析とセファロ分析結果から症例の問題点ををリストアップし、治療方針を考え、矯正装置の模型を使って模擬的な医療面接を行う。これにより、診断や装置の知識だけでなく説明に必要な技術と態度を身につける。また、評価者として他の学生のロールプレイを採点し、互いにディスカッションすることで問題解決能力を高める。

（ディスカッション・ディベート）（実習・演習）

（学習方法）

各ユニットの実習開始までに「予習の項目」の教科書および第4学年時授業プリントの症例分析、症例診断、矯正装置から該当箇所を予習し、歯列模型分析やセファロ分析結果から問題点ををリストアップする方法を復習する。また、各種矯正装置の構造と作用機序について復習しておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 5.0 時間】

（評価）

ロールプレイ評価シート（50%）、実習試験（30%）、実習態度（20%）

技能・知識：評価シートによる採点結果のフィードバック

知識：診断と装置に関する実習試験

態度：ロールプレイ終了時の口頭でのフィードバック

（教科書）

新井一仁、友成 博、山口徹太郎、玉置幸雄編著、『歯科矯正学実習 Practical Orthodontics: Clinical and Laboratory Techniques』、医歯薬出版、2025

（全ページカラー：写真や図が豊富で、各矯正装置の製作方法だけでなく、課題解決演習のポイントとなる症例分析方法を具体的に示した本）

（参考書）

後藤滋巳、石川博之、榎宏太郎、山田一尋編、『新 矯正装置ビジュアルガイド』、医歯薬出版、2015

（全ページカラー：写真や図が豊富で、各矯正装置の基本構造と作製手順、実際の使用方法など具体的に症例を呈示しながら解説した前巻の2冊分を1冊にまとめた本）

| 回 | 日     | 担当者                        | ユニット        | 学習目標（G I O）                                                     | 行動目標（S B O s）                             | DP  | 予習の項目                           | 必要時間 |
|---|-------|----------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----|---------------------------------|------|
| 1 | 10/30 | 玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | 矯正診断と装置の説明1 | 二相性の治療における第1期治療と第2期治療について説明し、治療方針を作成する。                         | 歯列模型分析とセファロ分析の結果からプロブレムリストを作成する。          | Ⅳ-9 | 授業プリント 診断学概論・症例分析・症例分析法（p31～41） | 2.0  |
| 2 | 10/30 | 玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | 矯正診断と装置の説明2 | 第1期治療と第2期治療において、適切な治療方針および矯正装置を患者（保護者）に説明するための必要な医療面接の態度を身につける。 | 1期治療と2期治療の治療目標と使用する装置の具体的な説明を模擬的な医療面接で行う。 | Ⅳ-9 | 授業プリント 矯正装置Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（p61～93）      | 3.0  |

# 課題解決演習Ⅳ（画像診断学Ⅱ） 【演習】

科目番号 0D041003C

後期：2コマ

評価責任者：香川豊宏

担当教員：香川豊宏、筑井朋子

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

## ◆画像診断学Ⅱ

放射線を用いた診療を適切に行うために、各種検査法の特性を理解する。

顎口腔顔面領域に発生する疾患の画像診断を適確に行うために、各種画像検査法の選択方法、読影方法を理解する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅳ-8

（教育方法）

グループディスカッション

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

歯科領域で用いられる各種検査法の特性を理解しておくこと。

基本的な疾患の所見と類似疾患との相違点を学習しておくこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 1.0 時間】

（評価）

グループディスカッションの参加程度：20%

作製したワーク：80%

実習終了後、1週間をめどに提出物を確認し、適宜修正を加えた後、グループ代表者にコピーの返却を行う。

（教科書）

岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第7版』 医歯薬出版 2024

（参考書）

なし

| 回 | 日     | 担当者           | ユニット                 | 学習目標（G I O）                            | 行動目標（S B O s）                           | DP  | 予習の項目                                                                 | 必要時間 |
|---|-------|---------------|----------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 10/28 | 香川豊宏、<br>筑井朋子 | ユニット1<br>検査の選択       | 歯科領域で利用される検査<br>法の特徴が理解できる。            | 各種検査法の利点・欠点を説明す<br>る。                   | Ⅳ-8 | 各種検査法の特徴を調べて<br>おくこと。パノラマエック<br>ス線写真の解剖および基本<br>的な疾患の所見を学習して<br>おくこと。 | 0.5  |
|   |       |               | ユニット2<br>検査画像の読<br>影 | パノラマエックス線画像の<br>読影ができる。                | パノラマエックス線写真の特性を<br>理解し、正しく所見を読影でき<br>る。 | Ⅳ-8 |                                                                       |      |
| 2 | 10/28 | 香川豊宏、<br>筑井朋子 | ユニット1<br>検査の選択       | パノラマエックス線画像の<br>所見から追加すべき検査を<br>判断できる。 | 疾患ごとに追加検査の必要性和適<br>切な追加検査の選択ができる。       | Ⅳ-8 | CTなどの特殊検査の特徴を<br>調べておくこと。特殊検査<br>の疾患所見を学習しておく<br>こと。                  | 0.5  |
|   |       |               | ユニット2<br>検査画像の読<br>影 | 追加した画像の読影ができ<br>る。                     | 追加した画像の所見を読影でき、<br>最終的な画像診断を説明できる。      | Ⅳ-8 |                                                                       |      |

# 課題解決演習Ⅳ（麻酔科学Ⅱ）【演習】

科目番号 0D041003D

後期：2コマ

評価責任者：池田水子

担当教員：野上堅太郎  
守永紗織

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-17, Ⅲ-19

（教育方法）

- ・症例提示
- ・グループ討論
- ・発表
- ・レポート提出

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

1. 麻酔管理上、重要な内科疾患（講義で説明のあった疾患を中心に）を理解しておく。
2. 臨床検査成績と疾患との関係を学習しておく。
3. 1、2の疾患の周術期管理について学習しておく。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 2.0 時間】

（評価）

グループワーク、グループディスカッションの態度 30%

プレゼンテーションを含めたレポートの内容 70%

課題解決演習Ⅳの総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

歯科麻酔・生体管理学 第2版

（参考書）

歯科麻酔学 第8版

その他 内科の教科書

| 回 | 日     | 担当者   | ユニット                 | 学習目標（GIO）                             | 行動目標（SBOs）                          | DP   | 予習の項目                    | 必要時間 |
|---|-------|-------|----------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|------|--------------------------|------|
| 1 | 10/19 | 野上、守永 | 提示された症例の麻酔管理上の問題点の抽出 | 提示された症例の既往歴、異常検査値から症例の麻酔管理上の問題点を理解する。 | 既往歴と関連する検査項目、および臨床検査結果から合併疾患を説明できる。 | Ⅲ-17 | 臨床検査項目と疾患との関係について理解しておく。 | 1.0  |
| 2 | 10/19 | 野上、守永 | 提示された症例の周術期管理        | 抽出された問題点からその症例に適した麻酔管理法を理解する。         | 麻酔管理法、必要な薬品、必要な装置を説明できる。            | Ⅲ-19 | 合併疾患に適した麻酔管理法について理解しておく。 | 1.0  |

# 課題解決演習Ⅳ（障害者歯科学）【演習】

科目番号 0D041003E

後期：2コマ  
 評価責任者：森田浩光  
 森田浩光  
 天野郁子  
 田崎園子  
 担当教員：平塚正雄  
 久保田智彦  
 木村敬次リチャード

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-15

（教育方法）

基本的事項の解説

資料の配布

プレゼンテーションに対するフィードバック

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

与えられた課題に対処し、質疑応答する。予習として障害者歯科学の講義内容を確認しておく。 【単位修得に必要な授業外学習

（予習・復習）時間： 1.0 時間】

（評 価）

提出物の内容を評価する。課題解決演習Ⅳの総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教 科 書）

日本障害者歯科学会編集「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版」医歯薬出版2020

日本有病者歯科医療学会編集「有病者歯科学第3版」永末書店2024

（参 考 書）

| 回 | 日     | 担当者                                                     | ユニット | 学習目標（G I O）                   | 行動目標（S B O s）      | DP   | 予習の項目       | 必要時間 |
|---|-------|---------------------------------------------------------|------|-------------------------------|--------------------|------|-------------|------|
| 1 | 10/21 | 森田浩光、<br>天野郁子、<br>田崎園子、<br>平塚正雄、<br>久保田智彦、<br>木村敬次リチャード | 課題解決 | 与えられた課題の要点を抽出し、自ら解決策を考え、発表する。 | 課題の要点を抽出する。        | Ⅲ-15 | 障害者歯科学の授業内容 | 1.0  |
|   |       |                                                         |      |                               | 抽出した要点に対する解決策を見出す。 | Ⅲ-15 |             |      |
| 2 | 10/21 | 森田浩光、<br>天野郁子、<br>田崎園子、<br>平塚正雄、<br>久保田智彦、<br>木村敬次リチャード | 課題解決 | 与えられた課題の要点を抽出し、自ら解決策を考え、発表する。 | 解決策を発表する。          | Ⅲ-15 | 障害者歯科学の授業内容 | 1.0  |

# 課題解決演習Ⅳ（成長発達歯学実習（小児系））【演習】

科目番号 0D041003F

後期：2コマ

評価責任者：岡 暁子

担当教員：岡 暁子、柏村晴子、  
熊谷徹弥、石井華子、田口雅英、三輪佳愛

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

## ◆成長発達歯学実習（小児系）

小児歯科学の目的は、健全な総合咀嚼器官の育成にある。そこで、本実習では混合歯列周長分析の方法を実践し、試問を通じその目的を理解させる。

また、乳歯早期喪失症例を提示し、歯の欠損の診断と適切な保隙装置を選択することで、知識の理解と整理を行う。この際、現在の口腔内の状況と適用する保隙装置の説明、今後の管理について説明することで、実践に必要な態度とコミュニケーション能力を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅳ-7

（教育方法）

診断実習、グループワーク

（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

各ユニットの実習開始までに「予習の項目」の教科書および実習帳の該当箇所を予習する。実習を通じて歯列周長分析の方法および保隙装置の構造・作用機序について知識の整理と理解に努め、実践に必要な態度とコミュニケーション能力を身につける。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 2.0 時間】

（評価）

実習試験（60%）・口頭試験（20%）・態度（20%）

実習試験：歯列周長分析に関する筆記試験

口頭試験：症例に適応される保隙装置の名称・構造・機能・管理・保隙装置を装着する必要性等に対する試問

態度：実習到達度とライターによる試問

課題解決演習Ⅳの総合評価をポータルサイトに掲示する。

（教科書）

前田隆秀 他編集『小児歯科学基礎・臨床実習 第2版』医歯薬出版

白川哲夫 他編集『小児歯科学基礎・臨床実習 第3版』医歯薬出版

（小児歯科における基礎的技術について分かり易く解説している。）

（参考書）

なし

| 回 | 日     | 担当者                                 | ユニット        | 学習目標（GIO）               | 行動目標（SBOs）             | DP  | 予習の項目                               | 必要時間      |
|---|-------|-------------------------------------|-------------|-------------------------|------------------------|-----|-------------------------------------|-----------|
| 1 | 10/29 | （成育小児）岡 暁子、柏村晴子、熊谷徹弥、石井華子、田口雅英、三輪佳愛 | 歯列模型による課題解決 | 小児の歯列不正とその問題点を模型より理解する。 | 混合歯列周長分析を説明できる。        | Ⅳ-7 | [1回]<br>混合歯列周長分析について調べておくこと。        | 1]<br>1.0 |
| 2 | 10/29 |                                     |             |                         | 各種保隙装置の目的と適応について説明できる。 | Ⅳ-7 | [2回]<br>各保隙装置の目的・適応症・管理について調べておくこと。 | 2]<br>1.0 |

# 課題解決演習Ⅳ（基礎・臨床統合演習） 【演習】

科目番号 0D041003G

後期：2コマ

評価責任者：平木昭光

担当教員：平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、勝俣由里、有田英生、秋本琢磨、丸瀬靖之、宮原慧

（一般目標）

1. 自ら考え、実践を積み、それをフィードバックし、知識・実践知を系統立てて整理するために必要な基本的能力を育む
2. 異なった専門的背景を持つ職種間で、共有した目標に向けて協働するために必要な基本的能力を育む

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-10

（教育方法）

課題解決型演習（PBL）

口腔外科疾患の症例を提示し、その症例の診断と治療について皆でディスカッションする。

（ディスカッション・ディベート）（プレゼンテーション）

（学習方法）

予習方法

口腔腫瘍学Ⅰ・Ⅱと口腔外科学Ⅰ・Ⅱの内容全般についてノートと教科書を読んでおく。特に、損傷、炎症、腫瘍、唾液腺、顎変形症、抜歯について。

復習方法

授業で提示された症例の内容のうち、診断法と診断の根拠、治療法の選択理由、治療の際の注意事項をノートにとり、復習する。

【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 4.0 時間】

（評価）

客観試験による評価を行い、課題解決演習Ⅳの総合評価に含めてポータルサイトに掲示する。

（教科書）

サクシント口腔外科学 第4版 学建書院

カラー写真が豊富で、コンパクトである。

（参考書）

口腔外科学 第4版 医歯薬出版

最新口腔外科学 第5版 医歯薬出版

ともに内容が詳細かつ専門的で卒業後も利用できる。

| 回 | 日     | 担当者            | ユニット           | 学習目標（G I O）                          | 行動目標（S B O s）                           | DP   | 予習の項目                       | 必要時間 |
|---|-------|----------------|----------------|--------------------------------------|-----------------------------------------|------|-----------------------------|------|
| 1 | 12/24 | 勝俣由里、<br>橋本憲一郎 | 口腔外科診断<br>演習 1 | 口腔外科の臨床所見、画像所見、病理組織学所見を総合する診断法を理解する。 | 口腔外科疾患の臨床所見、画像所見、病理組織所見を列挙し、診断根拠を説明できる。 | Ⅲ-10 | 顎骨骨折の診断法と治療法、抜歯で注意すべき全身疾患   | 4.0  |
| 2 | 12/24 | 平木昭光           | 口腔外科診断<br>演習 2 | 口腔外科疾患の診断に基づいた治療法を理解する。              | 口腔外科疾患の診断に基づいた治療法を列挙し、治療の際の注意事項を説明できる。  | Ⅲ-10 | 口腔癌、唾液腺疾患の診断法と治療法、口腔粘膜疾患の種類 | 4.0  |

# 歯科医療管理学 【講義】

科目番号 OD041212

後期：20コマ

評価責任者：山田和彦

担当教員：山田和彦、柳 絢子、樋口勝規、木尾哲朗、和田尚久、角 忠輝

（一般目標）

患者中心の臨床実習、歯科医師臨床研修、歯科治療を円滑に進めるために、口腔歯学部基礎・臨床の各講義・実習で学んだ事項を総合的・有機的に再整理して必要な事項を追加し、歯科治療に必要な知識、技能、態度を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

I-1, I-5, I-6, II-2, II-3, II-4, III-19, III-21, IV-1, IV-3, IV-4, IV-6, IV-15, IV-16, IV-17

（教育方法）

教科書、参考書、プリントを中心とした講義  
視覚素材を利用した実践的講義

（学習方法）

教科書該当項目、参考書の該当態度、配布資料をしっかりとめて理解する。あらかじめシラバスに指定した項目の予習と前回までに行った講義の復習を行う。また、プレテスト、ポストテストを実施して理解度を把握する。授業外学習に必要な時間数は1コマ1時間の20時間としている。

【単位習得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：20.0時間】 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：20.0時間】

（評価）

定期客観試験（80%）、授業態度（出席を含む）＋レポート提出（20%）  
試験に関しては、評価後、希望者に採点した答案を開示する。

（教科書）

- ① 日本歯科医療管理学会 編集「新版 歯科医療管理 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために」医歯薬出版 2018  
幅広く教科内容を含む。
- ② 伊藤孝訓 編著「歯科医療面接 アートとサイエンス」第3版 東京 砂書房 2020  
医療人としての態度学習に優れている。

（参考書）

- ① 栗野秀慈 米田雅裕 監修 「必修 歯科臨床研修実践ハンドブック」 医歯薬出版 2024（図や写真で解説しておりWeb動画も付随している。歯学生に臨床実習に必要な要点が分かり易く解説している）

| 回 | 日    | 担当者  | ユニット                         | 学習目標（GIO）                                       | 行動目標（SBOs）                                                 | DP     | 予習の項目                        | 必要時間 |
|---|------|------|------------------------------|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------|------------------------------|------|
| 1 | 8/24 | 山田和彦 | 歯科医師の責任と役割・臨床研修制度            | 歯科医師の社会的役割と義務、臨床研修、生涯学習について理解する。                | 歯科医師の責任と役割を述べる。                                            | I-1    | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。           | 1.0  |
| 2 | 8/26 | 山田和彦 | 医療面接①                        | 良好な歯科医師－患者関係を築くために必要な医療面接の技法について理解する。           | 良好な歯科医師－患者関係を築くために必要な医療面接の技法を述べる。                          | II-3   | 「歯科医療面接 アートとサイエンス」の関連ページを読む。 | 1.0  |
| 3 | 8/28 | 山田和彦 | 医療面接②                        | 良好な歯科医師－患者関係を築くために必要な医療面接の技法について理解する。           | 良好な歯科医師－患者関係を築くために必要な医療面接の技法を応用する。                         | IV-1   | 「歯科医療面接 アートとサイエンス」の関連ページを読む。 | 1.0  |
| 4 | 8/31 | 柳 絢子 | 滅菌と消毒                        | 滅菌消毒法について理解する。                                  | 滅菌消毒法について述べる。                                              | III-21 | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。           | 1.0  |
| 5 | 9/2  | 山田和彦 | 患者の権利・インフォームドコンセント・セカンドオピニオン | インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの概念および内容について理解する。         | インフォームドコンセントの概念および内容について述べる。                               | I-5    | 「歯科医療面接 アートとサイエンス」の関連ページを読む。 | 1.0  |
| 6 | 9/4  | 柳 絢子 | 廃棄物管理                        | 廃棄物管理法を理解する。                                    | 廃棄物管理法について述べる。                                             | IV-15  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。           | 1.0  |
| 7 | 9/7  | 角 忠輝 | プロフェッショナリズム                  | 歯科医師の責務を熟知し、歯科医師としてのプロフェッショナリズムおよび生涯学習について理解する。 | 歯科医師の責務を熟知し、歯科医師としてのプロフェッショナリズムおよび生涯学習について述べる。             | I-6    | 動画の視聴をしておく。                  | 1.0  |
| 8 | 9/9  | 山田和彦 | 病歴聴取と歯科治療計画の立案               | 病歴聴取、問題点の抽出と診断ならびに診療方針の立案について理解する。              | 治療計画立案の重要性を認識し、その準備として必要な病歴聴取、問題点の抽出と診断ならびに診療方針の立案について述べる。 | IV-4   | 「歯科医療面接 アートとサイエンス」を読む。       | 1.0  |

| 回  | 日     | 担当者  | ユニット             | 学習目標（G I O）                                                    | 行動目標（S B O s）                      | DP     | 予習の項目                 | 必要時間 |
|----|-------|------|------------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------|-----------------------|------|
| 9  | 9/11  | 樋口勝規 | 院内感染対策           | 院内感染予防法概念と感染経路別対策について理解する。                                     | 院内感染予防法概念を理解し、感染経路別対策について述べる。      | IV-15  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。    | 1.0  |
| 10 | 9/16  | 木尾哲朗 | コミュニケーション①       | コミュニケーションの重要性を理解する。                                            | コミュニケーションの基本を述べる。                  | II-4   | 事前配布資料と動画の視聴をしておく。    | 1.0  |
| 11 | 9/18  | 山田和彦 | 保存修復治療における診査診断計画 | 保存修復治療における検査法について理解する。                                         | 保存修復治療における必要な検査法を述べる。              | IV-3   | 3学年で学んだ知識を復習しておく。     | 1.0  |
| 12 | 9/25  | 樋口勝規 | 医療安全             | 医療事故は日常的に起こる可能性があることを認識し、事故を防止し、安全で信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。 | 安全な医療を実施するための方策について述べる。            | IV-15  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。    | 1.0  |
| 13 | 9/30  | 山田和彦 | 医療情報管理と診療録記載     | 医療情報管理の定義を熟知し、診療に関する記録記載およびその管理について理解する。                       | 医療情報の管理と適正な利用および適正な診療録の記載について説明する。 | IV-16  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。    | 1.0  |
| 14 | 10/2  | 柳 絢子 | チーム医療・かかりつけ歯科医   | 歯科診療でのチーム医療とかかりつけ歯科医の意義と役割について理解する。                            | 地域包括ケアシステムでのかかりつけ歯科医の機能を述べる。       | IV-17  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。    | 1.0  |
| 15 | 10/7  | 木尾哲朗 | コミュニケーション②       | コミュニケーション能力の向上法を理解する。                                          | コミュニケーションの重要性を述べる。                 | II-2   | 事前配布資料と動画の視聴をしておく。    | 1.0  |
| 16 | 10/9  | 柳 絢子 | 咬合修復治療における診査診断計画 | 咬合修復治療における検査法について理解する。                                         | 咬合修復治療における必要な検査法を述べる。              | IV-4   | これまでに学んだ知識を復習しておく。    | 1.0  |
| 17 | 10/14 | 和田尚久 | 最先端の歯内治療         | 最先端の歯内治療を理解する。                                                 | 最先端の歯内治療を説明する。                     | IV-6   | これまでに学んだ知識を復習しておく。    | 1.0  |
| 18 | 10/16 | 山田和彦 | クリニカルパス          | クリニカルパスについて理解する。                                               | 院内クリニカルパスと地域連携クリニカルパスについて説明する。     | IV-16  | 「歯科医療管理」の関連ページを読む。    | 1.0  |
| 19 | 10/21 | 山田和彦 | EBMと診療ガイドライン     | EBMの概念および診療ガイドラインについて理解する。                                     | EBMの概念および診療ガイドラインについて説明する。         | IV-16  | 「歯科医療面接 アートとサイエンス」を読む | 1.0  |
| 20 | 10/23 | 柳 絢子 | 臨床実習に必要な全身管理     | 臨床実習に必要な全身管理の検査法と対処法について理解する。                                  | 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明する。    | III-19 | これまでに学んだ知識を復習しておく。    | 1.0  |

# 口腔インプラント学 【講義】

科目番号 OD041222

後期：15コマ  
評価責任者：加倉加恵  
加倉加恵  
山本勝己  
担当教員：谷口祐介  
柳 東  
松本彩子

（一般目標）

患者に口腔インプラント治療について適切に説明するため、また将来適切な口腔インプラント治療を実践するために必要な知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

IV-1, IV-2, IV-3, IV-4, IV-5, IV-7, IV-15

（教育方法）

講義、スライド、画像操作

（ディスカッション・ディベート）（実習・演習）

（学習方法）

講義、画像上での手術シミュレーション実習。

授業前後に教科書の該当箇所や配布したプリントをよく読み、分からないことは早い時期に質問すること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

筆記試験（中間試験30%、定期試験70%）

中間試験（客観試験）、定期試験（客観試験）による評価：試験後、模範解答を掲示または解説によりフィードバックを行う

（教科書）

よくわかる口腔インプラント学第4版（医歯薬出版）

（参考書）

歯科インプラント治療ガイドブック改定新版（クインテッセンス出版株式会社）

エッセンシャル口腔インプラント学（医歯薬出版）

| 回 | 日    | 担当者  | ユニット                | 学習目標（G I O）                                                           | 行動目標（S B O s）                                                                                                                                                   | DP               | 予習の項目       | 必要時間 |
|---|------|------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------|------|
| 1 | 8/26 | 加倉加恵 | ユニット1：インプラント治療の基礎科学 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント治療の概要を説明する。インプラント治療の歴史、形態の変遷（骨内、骨膜下、ブレード型、歯根型）、材料の変遷<br><br>オッセオインテグレーションの概念を説明する。インプラント材料の生体親和性、チタン表面と骨組織の反応、表面修飾                                        | IV-4<br><br>IV-4 | 教科書1-30ページ  | 1.0  |
| 2 | 8/27 | 加倉加恵 | ユニット1：インプラント治療の基礎科学 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラントに用いられる材料の種類と特性を説明する。金属系、セラミックス、骨補填材（自家骨、他種骨、人工骨、など）、遮蔽膜<br><br>インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違いを説明する。上顎骨と下顎骨の構造、海綿骨と皮質骨、歯槽骨、歯周組織、インプラント周囲組織構造                        | IV-4<br><br>IV-4 | 教科書37-70ページ | 1.0  |
| 3 | 9/2  | 松本彩子 | ユニット1：インプラント治療の基礎科学 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | チタンと骨および軟組織の界面の反応について説明する。チタンインプラントの表面修飾、バイオミネラリゼーション<br><br>インプラントの生理学的特徴と咬合の関連について説明する。インプラント補綴物の被圧変位特性、自己受容器によるコントロール、感覚閾値と咬合力、インプラントのバイオメカニクス、インプラントの咬合の特殊性 | IV-4<br><br>IV-4 | 教科書31-70ページ | 1.0  |

| 回 | 日    | 担当者  | ユニット              | 学習目標（G I O）                                                           | 行動目標（S B O s）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | DP                           | 予習の項目                | 必要時間 |
|---|------|------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------------------|------|
| 4 | 9/3  | 谷口祐介 | ユニット2：インプラント治療の特徴 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラントの基本構造を説明する。オッセointegレテッドインプラントの構成要素、プラットフォームの構造、アパットメントの役割、1回法インプラントと2回法インプラント、インプラント体とアパットメントの連結機構<br><br>インプラント治療の利点と欠点を説明する。インプラント治療の特徴、従来の補綴治療との比較<br><br>インプラント治療の成功基準および治療成績について説明する。成功の基準（1998年トロント会議）、インプラントの残存率と成功率、上部構造の残存率、上部構造の耐用年数                                                                                             | IV-4<br><br>IV-4<br><br>IV-4 | 教科書1-30ページ           | 1.0  |
| 5 | 9/9  | 山本勝己 | ユニット2：インプラント治療の特徴 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント治療の手順を説明する。口腔衛生指導、術前歯科治療、術前診査、術前検査、埋入手術、骨増量手術、二次手術、暫間上部構造、最終上部構造、メンテナンス治療、治療費、治療期間、EBMとNBM                                                                                                                                                                                                                                                  | IV-5                         | 教科書71-74, 106-108ページ | 1.0  |
| 6 | 9/16 | 加倉加恵 | ユニット2：インプラント治療の特徴 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | 患者の選択基準（適応と禁忌）を列挙する。インプラント治療の適応症・禁忌症、全身状態の評価、局所状態の評価<br><br>インプラント治療のリスクファクターを説明する。リスクファクター（口腔衛生、喫煙、代謝性疾患、骨質・骨量、ブラキシズム）、加齢と歯の喪失による解剖学的構造の変化<br><br>咬合負荷までの治療期間の種類と選択理由を説明する。インプラント初期固定力測定、埋入後の骨治療、即時負荷、早期負荷、遅延負荷                                                                                                                                  | IV-1<br><br>IV-2<br><br>IV-4 | 教科書71-133ページ         | 1.0  |
| 7 | 9/24 | 柳 東  | ユニット2：インプラント治療の特徴 | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | 上部構造を考慮した治療計画立案の意義を説明する。補綴主導型インプラント治療、診断用歯列石膏模型、診断用ワックスアップ、診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレート<br><br>インプラント治療に必要な診察と検査について説明する。術前検査（血液検査、生化学検査、血清学的検査、心電図、胸部エックス線写真）、歯列の検査、歯周組織検査、咬合接触検査、誘導様式の検査、診断用ワックスアップ、診断用ガイドプレート、パノラマエックス線検査、口内法エックス線検査、CTエックス線検査（ヘリカルCT、コーンビームCT）、骨密度<br><br>パノラマエックス線写真上でインプラント治療に関連する解剖学的ランドマークを列挙する。上顎骨、下顎骨、固有鼻腔、上顎洞、頬骨、眼窩、脊椎、側頭骨、舌骨 | IV-3<br><br>IV-3<br><br>IV-3 | 教科書77-105ページ         | 1.0  |
| 8 | 9/30 | 加倉加恵 | 中間試験              | —                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | IV-3                         |                      | 1.0  |

| 回  | 日     | 担当者               | ユニット                     | 学習目標（G I O）                                                           | 行動目標（S B O s）                                                                                                                                                                                                                                          | DP               | 予習の項目                 | 必要時間 |
|----|-------|-------------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------|------|
| 9  | 10/1  | 谷口祐介              | ユニット3：治療計画（検査・診断を含む）の立案  | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント上部構造の種類とその特徴を説明する。術者可撤式上部構造、患者可撤式上部構造、固定式上部構造、スクリュー固定とセメント固定、クラウンブリッジタイプ、オーバーデンチャー、顎顔面補綴<br><br>診断用ワックスアップ、診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートの意義を説明する。補綴主導型インプラント治療、診断用ワックスアップ、埋入本数と埋入位置の決定、インプラント体の選択                                                        | IV-5<br><br>IV-7 | 教科書106-133、190-234ページ | 1.0  |
| 10 | 10/7  | 柳 束               | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント埋入の外科術式（消毒・滅菌、麻酔、切開、骨切削、縫合・止血、周術期管理）を説明する。チーム医療、手術の準備、口腔内外の清掃と消毒、ガウンテクニック、ドレーピング、局所麻酔、精神鎮静法、モニタリング、切開（メスの種類と切開線）、粘膜剥離、骨切削の侵襲と障害、縫合法、術前術後の注意事項、投薬、生活指導<br><br>インプラント関連外科術式（軟組織）の種類とその特徴を説明する。粘膜剥離、骨と軟組織の除去、ヒーリングアバットメントの連結、軟組織のマネージメント、縫合、パンチブレード | IV-5<br><br>IV-5 | 教科書140-170ページ         | 1.0  |
| 11 | 10/8  | 柳 束               | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント関連外科術式（骨増生など）の種類とその特徴を説明する。骨移植、移植骨の採取、骨再生誘導法（GBR）、上顎洞底挙上術、ソケットリフト、スプリットクレスト、仮骨延長法、外科矯正手術、軟組織のマネージメント（粘膜移植、結合組織移植）                                                                                                                                | IV-7             | 教科書235-265ページ         | 1.0  |
| 12 | 10/15 | 加倉加恵、谷口祐介、柳束、松本彩子 | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラント手術シミュレーションの概要を説明する。CT画像、診断用ソフト、埋入本数と埋入位置の決定、インプラント体の選択、3次元造形モデル、ガイドサージェリー                                                                                                                                                                        | IV-3             | 教科書84-105ページ          | 1.0  |
| 13 | 10/15 | 加倉加恵、谷口祐介、柳束、松本彩子 | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | CTなどの画像情報を利用してインプラント体の埋入シミュレーションを実施する。CT画像、診断用ソフト、埋入本数と埋入位置の決定、インプラント体の選択、3次元造形モデル、ガイドサージェリー                                                                                                                                                           | IV-7             | 教科書84-105ページ          | 1.0  |

| 回  | 日     | 担当者  | ユニット                     | 学習目標（G I O）                                                           | 行動目標（S B O s）                                                                                                          | DP    | 予習の項目         | 必要時間 |
|----|-------|------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------|------|
| 14 | 10/21 | 加倉加恵 | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | インプラントの補綴術式（印象採得、咬合採得、暫間補綴、上部構造の種類、等）を説明する。印象採得、咬合採得、ガム付作業模型の製作、アバットメントの選択と調整、暫間上部構造の製作と装着、最終上部構造の製作と装着、スクリュー固定とセメント固定 | IV-7  | 教科書171-234ページ | 1.0  |
|    |       |      |                          |                                                                       | インプラントの印象採得を模型上で実施する。オーブントレー法、クローズドドレー法、インプラント体レベルの印象、アバットメントレベルの印象、印象材の種類、印象用トランスファーコーピング、アバットメントアナログ、インプラントアナログ      | IV-7  |               |      |
|    |       |      |                          |                                                                       | インプラントの作業模型を説明する。ガム付作業模型、アバットメントアナログ、インプラントアナログ、アバットメントの種類と選択                                                          | IV-7  |               |      |
| 15 | 10/22 | 谷口祐介 | ユニット4：治療（外科・補綴・メンテナンス治療） | 将来、患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を修得する。 | メンテナンス治療を説明する。メンテナンス治療の重要性、補綴装置の清掃法、リコール時の検査と評価（機能、審美的、口腔衛生状態、辺縁骨レベル、軟組織の評価、咬合）、患者の満足度                                 | IV-5  | 教科書274-312ページ | 1.0  |
|    |       |      |                          |                                                                       | インプラント治療の合併症を説明する。神経損傷、異常出血、埋入位置、方向の誤り、インプラントや器具の迷入、破損、インプラントの脱落、治癒不全、周囲骨の吸収、インプラント周囲炎、インプラント体の破折、上部構造の破折、対合歯の破折       | IV-15 |               |      |

# 口腔腫瘍学Ⅱ 【講義】

科目番号 0D041224

後期：15コマ  
 評価責任者：平木昭光  
 平木昭光  
 橋本憲一郎  
 担当教員：佐々木三奈  
 有田英生  
 丸瀬靖之  
 原田浩之（非常勤講師）

（一般目標）

後期は口腔領域に発生する腫瘍性、嚢胞性疾患の講義を行う。これらの疾患には他臓器にもみられるものと口腔領域に特殊な菌原性や唾液腺由来が混在するため、それらの発生機序や組織由来に基づいた診断の重要性を認識し、それぞれ疾患の診断法や治療法の知識を深める。また口腔外科の特殊性をよく理解するとともに、口腔外科学の習得に必要な解剖学、病理学、薬理学、微生物学など関連する基礎科目の知識を再履修し、それらを基盤にして各種疾患の成り立ちと症状との関係、さらに診断・治療法を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-2, Ⅲ-5, Ⅲ-10, Ⅲ-18

（教育方法）

教科書およびプリントによる講義、  
 スライドとビデオによる症例と手術の供覧

（学習方法）

予習の項目に示す指定教科書の頁を講義の前に読み、講義内容を予め把握しておく。  
 2、3年で学習した基礎科目の教科書やノート、プリントを見直し、口腔腫瘍学で講義される内容や疾患の基礎知識の復習を行って講義に臨む。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験（後期終了後）：100%（記述及び客観試験）  
 模範解答を掲示し、評価を開示する。

（教科書）

シンプルテキスト 口腔外科の疾患と治療 第6版 永末書店

（参考書）

口腔外科学 第4版 医歯薬出版  
 標準口腔外科学 第5版 医学書院  
 サクシント口腔外科学 第4版 学健書院  
 口腔内科学 第3版 永末書店  
 最新口腔外科学 第5版 医歯薬出版

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                                    | 学習目標（G I O）                                | 行動目標（S B O s）                    | DP   | 予習の項目                                    | 必要時間      |
|---|------|-----|-----------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------|------|------------------------------------------|-----------|
| 1 | 8/26 | 平木  | ユニット11<br>口腔領域の悪性腫瘍の分類と病態               | 口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類を知り、それらの発生由来、増殖形式、病態を理解する。 | 口腔領域に発生する悪性腫瘍の種類と発生頻度を述べる。       | Ⅲ-10 | [1回]<br>教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患 | 1]<br>1.0 |
| 2 | 8/26 |     |                                         |                                            | 口腔癌について説明する。                     | Ⅲ-10 |                                          | 2]<br>1.0 |
|   |      |     |                                         |                                            | 口腔癌の発生頻度を述べる。                    | Ⅲ-10 | [2回]<br>教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患 |           |
|   |      |     |                                         |                                            | 口腔癌の内眼的所見を分類し説明する。               | Ⅲ-10 |                                          |           |
| 3 | 9/2  | 橋本  | ユニット12<br>歯源性悪性腫瘍<br>非歯源性悪性腫瘍（癌腫）の分類と病態 | 歯源性悪性腫瘍と非歯源性癌腫の種類を知り、それらの病態を理解する。          | 歯源性悪性腫瘍を列挙し、代表的な腫瘍の病態を説明する。      | Ⅲ-10 | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患         | 1.0       |
|   |      |     |                                         |                                            | 舌癌および下顎歯肉癌の臨床病態を説明し、鑑別すべき疾患を挙げる。 | Ⅲ-10 |                                          |           |
|   |      |     |                                         |                                            | その他の発生部位別による臨床的な特徴を説明できる。        | Ⅲ-10 |                                          |           |
|   |      |     | ユニット12<br>非歯源性間葉性悪性腫瘍（肉腫と類似疾患）分類と病態     | 非歯源性間葉性悪性腫瘍の種類を知り、それらの病態を理解する。             | 口腔領域の肉腫の特徴を癌腫と比較して説明する。          | Ⅲ-10 |                                          |           |
|   |      |     |                                         |                                            | 非歯源性間葉性悪性腫瘍の種類を列挙する。             | Ⅲ-10 |                                          |           |
|   |      |     |                                         |                                            | 各々の臨床的な特徴を述べる。                   | Ⅲ-10 |                                          |           |

| 回        | 日            | 担当者                        | ユニット                                | 学習目標（G I O）                              | 行動目標（S B O s）                                                                                                                                        | DP                                        | 予習の項目                                                                | 必要時間                       |
|----------|--------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 4        | 9/2          | 佐々木                        | ユニット13<br>口腔潜在的悪性疾患の定義と病態           | 口腔潜在的悪性疾患の定義と種類を知り、その相違を理解する。            | 口腔潜在的悪性疾患の定義を述べ、その相違を説明する。<br>口腔潜在的悪性疾患を列挙する。<br>口腔潜在的悪性疾患の定義、臨床および病理組織所見、悪性化因子、治療法を述べる。                                                             | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10                      | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 5        | 9/9          | 平木                         | ユニット14<br>口腔癌の診断、治療、評価              | 口腔腫瘍学の診断、治療、評価の流れを説明できる                  | 口腔癌の検査について説明する<br>口腔癌の治療法を説明する<br>口腔癌の治療評価を説明する                                                                                                      | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10                      | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 6        | 9/9          | 平木                         | ユニット15<br>口腔悪性腫瘍の集学的治療と手術療法およびその適応  | 口腔悪性腫瘍の治療法を知り、腫瘍の病態に応じた治療法を理解する。         | 悪性腫瘍の一般的治療法について述べる。<br>口腔癌の集学的治療について説明する。<br>舌癌の手術療法を述べる。<br>下顎肉癌の手術療法を述べる。<br>頸部郭清術について説明する。                                                        | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10      | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 7        | 9/16         | 平木                         | ユニット16<br>悪性腫瘍の化学放射線療法・温熱療法・分子標的治療法 | 口腔癌における化学放射線療法・温熱療法・分子標的治療法を理解する。        | 化学放射線療法、温熱療法、分子標的治療法について述べる                                                                                                                          | Ⅲ-10                                      | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 8        | 9/16         | 佐々木                        | ユニット17<br>再建術の目的と意義                 | 口腔悪性腫瘍の手術後の再建術の種類と適応を理解する。               | 軟組織再建の方法を述べ、その適応を説明する。<br>顎骨再建の方法を述べ、その適応を説明する。                                                                                                      | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10                              | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 9        | 9/30         | 原田浩之                       | ユニット18<br>口腔悪性腫瘍の治療法                | 手術を主体とした口腔癌の治療法を理解する。                    | 治療法の全般を理解する                                                                                                                                          | Ⅲ-18                                      | 教科書「シンプルテキスト」VI 顎口腔領域の腫瘍および腫瘍様疾患                                     | 1.0                        |
| 10<br>11 | 9/30<br>10/7 | [10回]<br>平木<br>[11回]<br>丸瀬 | ユニット19<br>唾液腺疾患の分類と病変の成り立ち          | 唾液腺の解剖と組織構造、機能の知識を身につけ、その病変を病因別に整理し理解する。 | 大唾液腺の種類とその発生、構造、機能を述べる。<br>小唾液腺の分類とその解剖学的位置を説明する。<br>唾液腺の形態および機能異常の疾患について述べる。<br>口腔乾燥症の発生原因について説明する。<br>炎症性疾患の病態と対応法を述べる。<br>唾石症の好発部位、臨床症状、治療法を説明する。 | Ⅲ-2<br>Ⅲ-2<br>Ⅲ-5<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10 | [10回]<br>教科書「シンプルテキスト」VIII 唾液腺疾患<br>[11回]<br>教科書「シンプルテキスト」VIII 唾液腺疾患 | [10]<br>1.0<br>[11]<br>1.0 |
| 12       | 10/7         | 丸瀬                         | ユニット20<br>唾液腺腫瘍の分類と病態               | 唾液腺腫瘍の種類を知り、それらを良性と悪性に分類して病態を理解する。       | 唾液腺腫瘍を良性と悪性に分けて列挙する。<br>多形腫瘍とWarthin腫瘍の特徴を説明する。<br>悪性唾液腺腫瘍の特徴を説明する。                                                                                  | Ⅲ-10<br>Ⅲ-10<br>Ⅲ-10                      | 教科書「シンプルテキスト」VIII 唾液腺疾患                                              | 1.0                        |

| 回  | 日     | 担当者          | ユニット                               | 学習目標（G I O）                 | 行動目標（S B O s）                     | DP   | 予習の項目                            | 必要時間        |
|----|-------|--------------|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|------|----------------------------------|-------------|
| 13 | 10/14 | [13回]<br>橋本  | ユニット21<br>嚢胞の定義と分類、病変の成り立ち。        | 嚢胞の定義を知り、嚢胞の成り立ちとその分類を理解する。 | 嚢胞の定義を説明する。                       | Ⅲ-5  | [13回]<br>教科書「シンプルテキスト」Ⅴ 顎口腔領域の嚢胞 | [13]<br>1.0 |
| 14 | 10/14 | [14回]<br>橋本  |                                    |                             | 嚢胞の一般的な臨床症状、X線所見、病理組織学的所見を述べる。    | Ⅲ-10 |                                  |             |
| 15 | 10/26 | [15回]<br>佐々木 |                                    |                             | 嚢胞の一般的な治療法を説明する。                  | Ⅲ-10 | [15回]<br>教科書「シンプルテキスト」Ⅴ 顎口腔領域の嚢胞 | [15]<br>1.0 |
|    |       |              |                                    |                             | 歯原性発育性嚢胞を列挙し、各々の発生原因、症状、治療法を述べる。  | Ⅲ-10 |                                  |             |
|    |       |              |                                    |                             | 歯原性炎症性嚢胞を列挙し、各々の発生原因、症状、治療法を述べる。  | Ⅲ-10 |                                  |             |
|    |       |              |                                    |                             | 顎骨の非歯原性嚢胞を列挙し、各々の発生原因、症状、治療法を述べる。 | Ⅲ-10 |                                  |             |
|    |       |              |                                    |                             | 偽嚢胞について説明し、それに分類される疾患を列挙する。       | Ⅲ-10 |                                  |             |
|    |       |              | 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、各々の発生原因、症状、治療法を述べる。 | Ⅲ-10                        |                                   |      |                                  |             |

# 口腔外科学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD041225

後期：15コマ  
 評価責任者：平木昭光  
 勝俣由里  
 橋本憲一郎  
 担当教員：秋本琢磨  
 池邊哲郎  
 古賀千尋（口腔医療センター）

（一般目標）

基礎医学及び臨床医学・口腔医学に基づいた口腔外科学は、内科、外科、耳鼻咽喉科、形成外科などの隣接医学と共通の知識が要求される極めて範囲の広い学問である。ここでは特に口腔外科の一般的な診察法、口腔、顎、顔面の形態・機能の異常を取り上げ、これらを外科的に回復・改善を図ることによって全身の健康にいかに関与するかを教授する。基礎知識として口腔・顎・顔面の発生、解剖、機能の正常な状態を十分に理解させる。顎関節疾患、スポーツ歯学、抜歯術および口腔外科で行われる手術とその合併症、留意すべき全身疾患を講義する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-10, Ⅲ-19

（教育方法）

スライド、プリントによる講義

（学習方法）

授業前後に下記教科書や参考書の該当箇所を読むこと 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

1）評価方法

記述及び客観試験（100%）：定期試験（100%）

2）学生へのフィードバックの時期と方法

定期試験の直後に、正答表を研究室に掲示する。質問箱または質問欄を掲示して質問を受け付け、その内容を授業で解説する。

（教科書）

栗田賢一他 編集幹事「シンプルテキスト口腔外科の疾患と治療」第5版 永末書店 選定理由：最も新しい内容が含まれるから。

（参考書）

- ① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版
- ② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版  
 上記①②は内容が詳細で深い知識を得るのによい。
- ③ 内山健志他 編 『サクシント口腔外科学』 学建書院  
 上記③はコンパクトで持ち運びに便利でカラー写真が豊富。

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット         | 学習目標（GIO）               | 行動目標（SBOs）                     | DP   | 予習の項目                                         | 必要時間 |
|---|------|-----|--------------|-------------------------|--------------------------------|------|-----------------------------------------------|------|
| 1 | 8/24 | 橋本  | ユニット1 顎関節疾患① | 顎関節の構造と機能を理解する。         | 顎関節の構成要素を説明できる。                | Ⅲ-10 | 教科書 209～213頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 207-212頁 | 1.0  |
|   |      |     |              |                         | 顎関節の構造と解剖を説明できる。               | Ⅲ-10 |                                               |      |
|   |      |     |              |                         | 顎関節運動を説明できる。                   | Ⅲ-10 |                                               |      |
| 2 | 8/31 | 池邊  | ユニット1 顎関節疾患② | 顎関節の外傷と脱臼の症状と治療方針を理解する。 | 顎関節の外傷の症状と治療法を説明できる。           | Ⅲ-10 | 教科書 214～221頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 207-212頁 | 1.0  |
|   |      |     |              |                         | 顎関節脱臼の病態と治療法を説明できる。            | Ⅲ-10 |                                               |      |
| 3 | 9/7  | 池邊  | ユニット1 顎関節疾患③ | 顎関節の炎症性疾患と腫瘍性疾患を理解する。   | 顎関節に発生する炎症性疾患の原因、症状と治療法を説明できる。 | Ⅲ-10 | 教科書 222～227頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 207-212頁 | 1.0  |
|   |      |     |              |                         | 顎関節腫瘍の種類、症状と治療法を説明できる。         | Ⅲ-10 |                                               |      |
| 4 | 9/7  | 池邊  | ユニット1 顎関節疾患④ | 顎関節症と顎関節強直症の診断と治療を理解する。 | 顎関節症の分類とその症状を説明できる。            | Ⅲ-10 | 教科書 227～242頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 207-212頁 | 1.0  |
|   |      |     |              |                         | 顎関節症の治療法を説明できる。                | Ⅲ-10 |                                               |      |
|   |      |     |              |                         | 顎関節強直症の病態を説明できる。               | Ⅲ-10 |                                               |      |
|   |      |     |              |                         | 咀嚼筋・腱膜過形成症の病態を説明できる。           | Ⅲ-10 |                                               |      |

| 回  | 日     | 担当者 | ユニット                               | 学習目標（G I O）                         | 行動目標（S B O s）             | DP   | 予習の項目                                                                      | 必要時間 |
|----|-------|-----|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|------|
| 5  | 9/10  | 秋本  | ユニット2 スポーツ歯学                       | スポーツ外傷の予防法と治療法を理解する。顎関節手術法を理解する。    | スポーツマウスガードの意義を説明できる。      | Ⅲ-10 | 教科書 512～523頁 を読んで理解する。                                                     | 1.0  |
| 6  | 9/14  | 古賀  | ユニット3 睡眠時無呼吸症候群                    | 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）の原因と歯科医師の関与を理解する。 | 睡眠時無呼吸症候群の症状と原因を説明できる。    | Ⅲ-10 | 教科書 361～366頁 を読んで理解する。                                                     | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 睡眠時無呼吸症候群の検査法を説明できる。      | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
|    |       |     |                                    |                                     | 睡眠時無呼吸症候群の治療法を説明できる。      | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 7  | 9/14  | 古賀  | ユニット4 舌痛症と心身症                      | 口腔顎顔面領域の心身症を理解する。                   | 舌痛症の症状と治療方針を理解する。         | Ⅲ-10 | 教科書 298～321頁 を読んで理解する。CBT PASS3版臨床系 517～519頁                               | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | その他の口腔心身症の種類と症状を説明できる。    | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
|    |       |     |                                    |                                     | 口腔ジスキネジアの病態を説明できる。        | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 8  | 9/17  | 橋本  | ユニット5 口腔外科手術の管理と基本的手術法①            | 口腔外科手術の管理と基本手技を理解する。①               | 手術前の消毒法を説明できる。            | Ⅲ-10 | 教科書 380～397頁 を読んで理解する。                                                     | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 清潔不潔の区別と手洗い法を説明できる。       | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 9  | 9/24  | 橋本  | ユニット6 抜歯術①                         | 抜歯術の適応・手技・合併症を理解する。①                | 抜歯術の適応・手技を説明できる。          | Ⅲ-10 | 教科書 380～397頁 を読んで理解する。                                                     | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     |                           |      |                                                                            |      |
| 10 | 9/28  | 勝俣  | ユニット5 口腔外科手術の管理と基本的手術法②            | 口腔外科手術の管理と基本手技を理解する。②               | 手術に必要な基本器具を説明できる。         | Ⅲ-10 | 教科書 403～413頁 を読んで理解する。CBT PASS3版臨床系 76～80頁                                 | 1.0  |
| 11 | 9/28  | 橋本  | ユニット6 抜歯術②                         | 抜歯術の適応・手技・合併症を理解する。②                | 埋伏歯の抜去法と手順を説明できる。         | Ⅲ-10 | 教科書 403～413頁 を読んで理解する。CBT PASS3版臨床系 76～80頁                                 | 1.0  |
| 12 | 10/5  | 勝俣  | ユニット7 口腔外科小手術（歯根尖切除術、歯槽堤形成術）とその合併症 | 歯根尖切除術と歯槽堤形成術の手技を説明できる。             | 歯根尖切除術の手技を説明できる。          | Ⅲ-10 | 教科書 422～429頁、439～441頁 を読んで理解する。                                            | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 歯槽堤形成術と歯槽堤整形術の手技を説明できる。   | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
|    |       |     |                                    |                                     | 合併症の種類を列挙できる。             | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 13 | 10/5  | 池邊  | ユニット8 口腔外科手術と全身疾患①                 | 口腔外科手術で注意すべき心臓血管系・呼吸器系疾患を理解する。      | 循環器疾患の病態と抜歯時のリスクを説明できる。   | Ⅲ-10 | 教科書 277～284頁、参考書②468～475頁、590～595頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 33-46頁、524-547頁 | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 呼吸器疾患の病態と抜歯時のリスクを説明できる。   | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 14 | 10/19 | 池邊  | ユニット8 口腔外科手術と全身疾患②                 | 口腔外科手術で注意すべき腎臓・肝臓・代謝疾患を理解する。        | 腎疾患の病態と抜歯時のリスクを説明できる。     | Ⅲ-10 | 教科書 277～284頁、参考書②468～475頁、590～595頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 33-46頁、524-547頁 | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 肝疾患の病態と抜歯時のリスクを説明できる。     | Ⅲ-10 |                                                                            |      |
| 15 | 10/19 | 池邊  | ユニット8 口腔外科手術と全身疾患③                 | 口腔外科手術で注意すべき薬物を理解する。                | 抗血栓薬投与患者の抜歯時のリスクを説明できる。   | Ⅲ-10 | 教科書 277～284頁、参考書②468～475頁、590～595頁 を読んで理解する。CBT PASS3版 臨床系 33-46頁、524-547頁 | 1.0  |
|    |       |     |                                    |                                     | 骨吸収抑制薬投与患者の抜歯時のリスクを説明できる。 | Ⅲ-19 |                                                                            |      |

# 成長発達歯学実習（小児系）【実習】

科目番号 OD041220

後期：30コマ

評価責任者：岡 暁子

（成育小児歯科学分野）

岡 暁子、柏村晴子、

熊谷徹弥、石井華子、三輪佳愛、田口雅英、馬場篤子

担当教員：

臨床教授：石井 香（いしいかおり小児歯科）、久保山博子（くぼやまひろこ小児歯科）、柳田憲一

非常勤講師：逢坂洋輔（くすのき子供歯科）、松尾 聡（松尾歯科・こども歯科クリニック）、藤池美保子（リキタケ歯科）

（一般目標）

小児歯科学の目的は、健全な総合咀嚼器官の育成にある。そこで、基礎実習ではマネキンと模型を用いて基本的な実習を実施することによって、成長発達過程にある小児の歯科臨床に必要な基本テクニックを修得する。また、混合歯列期における小児の発育上の問題点を理解させ、発育診断に必要な知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

Ⅲ-6, Ⅲ-11, Ⅲ-21, IV-4, IV-9, IV-10

（教育方法）

模型実習、チュートリアル

（グループワーク）（実習・演習）

（学習方法）

各ユニットの実習開始までに「予習の項目」の教科書および実習帳の該当箇所を予習する。実習を通じて保隙装置の構造・作用機序について知識の整理と理解に努め、同時に技工の基本手技と製作法を体得する。また、窩溝填塞は、基本的な術式および患者への配慮を十分に理解し、実践に必要な技能と態度を身につける。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 18.0 時間】

（評価）

実習各ステップの到達度（60%）

試験（20%）

実習試験（20%）

製作物は提出時に口頭でフィードバックする。筆記試験については評価後、希望者に採点した解答用紙を呈示する。

（教科書）

・前田隆秀 他編集『小児歯科学基礎・臨床実習 第2版』医歯薬出版

・白川哲夫 他編集『小児歯科学基礎・臨床実習 第3版』医歯薬出版

（小児歯科における基礎的技術について分かり易く解説している。）

（参考書）

なし

| 回 | 日    | 担当者                                                                    | ユニット             | 学習目標（G I O）  | 行動目標（S B O s）   | DP   | 予習の項目                               | 必要時間      |
|---|------|------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------|-----------------|------|-------------------------------------|-----------|
| 1 | 8/27 | 岡 暁子<br>柏村晴子                                                           | 器具点検 ラ           | ラバーダム防湿法とう蝕予 | ラバーダムの装着と小窩裂溝填塞 | Ⅲ-21 | ラバーダム防湿法と小窩裂溝填塞の術式および目的について調べておくこと。 | 1]<br>0.5 |
| 2 | 8/27 | 熊谷徹弥<br>石井華子                                                           | バーダム防湿<br>と小窩裂溝填 | 防法の一つである小窩裂溝 | ができる。           |      |                                     | 2]<br>0.5 |
| 3 | 8/27 | 田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 | 塞法               | 填塞法を理解する。    |                 |      |                                     | 3]<br>0.5 |

| 回  | 日    | 担当者                                                                                                     | ユニット                     | 学習目標（G I O）                                            | 行動目標（S B O s）             | DP   | 予習の項目                                                     | 必要時間                                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------|------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 4  | 9/3  | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子<br>田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 | 保険装置（クラウンループ）作製 保険装置表の記入 | 乳歯および混合歯列期における各装置を理解し、症例に応じた適切な装置の選択と目的・機能・管理について説明する。 | 静的咬合誘導装置であるクラウンループを作製できる。 | IV-4 | クラウンループの目的および適応症、支台歯形成の手法について調べておくこと。                     | 4]<br>0.5<br>5]<br>0.5<br>6]<br>0.5    |
| 7  | 9/10 | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子<br>田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 | 保険装置（クラウンループ）作製 保険装置表の記入 | 乳歯および混合歯列期における各装置を理解し、症例に応じた適切な装置の選択と目的・機能・管理について説明する。 | 静的咬合誘導装置であるクラウンループを作製できる。 | IV-4 | 各装置の目的・適応症・管理についてレポート作成する。クラウンループのワイヤー屈曲・ろう着法について調べておくこと。 | 7]<br>1.0<br>8]<br>1.0<br>9]<br>1.0    |
| 10 | 9/17 | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子<br>田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 | 保険装置（床型保険装置）作製           | 乳歯および混合歯列期における保険を理解し、症例に応じた適切な保険装置を選択する。               | 静的咬合誘導装置である床型保険装置を作製できる   | IV-9 | スペースリゲーターの目的・適応症・設計について調べておくこと。                           | 10]<br>0.5<br>11]<br>0.5<br>12]<br>0.5 |
| 13 | 9/24 | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子<br>田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 | 保険装置（床型保険装置）作製           | 乳歯および混合歯列期における保険を理解し、症例に応じた適切な保険装置を選択する。               | 静的咬合誘導装置である床型保険装置を作製できる   | IV-9 | スペースリゲーターの目的・適応症・設計について調べておくこと。                           | 13]<br>0.5<br>14]<br>0.5<br>15]<br>0.5 |

| 回  | 日     | 担当者                                                                     | ユニット                          | 学習目標（G I O）                                | 行動目標（S B O s）                | DP    | 予習の項目                                         | 必要時間       |
|----|-------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------|-------|-----------------------------------------------|------------|
| 16 | 10/1  | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子                                            | 咬合誘導装置<br>（床型スペース<br>スリゲナー）作製 | 乳歯および混合歯列期における動的咬合誘導を理解し、症例に応じた適切な装置を選択する。 | 動的咬合誘導装置である床型スペーススリゲナーを作製する。 | IV-4  | 可撤式保隙装置の目的・適応症・設計について調べておくこと。                 | 16]<br>0.5 |
| 17 | 10/1  | 田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 |                               |                                            |                              |       |                                               | 17]<br>0.5 |
| 18 | 10/1  |                                                                         |                               |                                            |                              |       |                                               | 18]<br>0.5 |
| 19 | 10/8  | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子                                            | 咬合誘導装置<br>（床型スペース<br>スリゲナー）作製 | 乳歯および混合歯列期における動的咬合誘導を理解し、症例に応じた適切な装置を選択する。 | 動的咬合誘導装置である床型スペーススリゲナーを作製する。 | IV-4  | 可撤式保隙装置の目的・適応症・設計について調べておくこと。                 | 19]<br>0.5 |
| 20 | 10/8  | 田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 |                               |                                            |                              |       |                                               | 20]<br>0.5 |
| 21 | 10/8  |                                                                         |                               |                                            |                              |       |                                               | 21]<br>0.5 |
| 22 | 10/15 | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子                                            | 乳歯の歯冠修復（前歯部<br>フォーミング冠）       | 乳歯の歯冠修復法の一つであるコンポジットレジン冠（クラウンフォーム）を理解する。   | コンポジットレジン冠（クラウンフォーム）が装着できる。  | IV-10 | クラウンフォームを使った歯冠修復法の利点と適応症、支台歯形成の術式について調べておくこと。 | 22]<br>0.5 |
| 23 | 10/15 | 田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 |                               |                                            |                              |       |                                               | 23]<br>0.5 |
| 24 | 10/15 |                                                                         |                               |                                            |                              |       |                                               | 24]<br>0.5 |
| 25 | 10/22 | 岡 暁子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子                                            | 実習試験（実技試験、記述試験）               | 実習試験                                       | 記述試験、実技試験を行う。                | Ⅲ-6   | 実習で作製した装置の目的、術式、利点、適応症について理解しておくこと。           | 25]<br>1.0 |
| 26 | 10/22 | 田口雅英<br>三輪佳愛<br>馬場 篤子<br>石井 香<br>久保山博子<br>柳田憲一<br>逢坂洋輔<br>松尾 聡<br>藤池美保子 |                               |                                            |                              |       |                                               | 26]<br>1.0 |
| 27 | 10/22 |                                                                         |                               |                                            |                              |       |                                               | 27]<br>1.0 |

| 回  | 日     | 担当者                                                    | ユニット                                                  | 学習目標（G I O）                                                                                           | 行動目標（S B O s）                                                  | DP   | 予習の項目                                      | 必要時間       |
|----|-------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------|------------|
| 28 | 10/29 | (小児歯科)<br>岡 咲子<br>柏村晴子<br>熊谷徹弥<br>石井華子<br>田口雅英<br>三輪佳愛 | 混合歯列期発<br>育分析・医療<br>面接（不正咬<br>合、矯正装<br>置、保隙装置<br>の説明） | 患者の保護者に不正咬合、<br>矯正装置、保隙装置の説明<br>を行うために必要な診査お<br>よび症例分析に基づく基本<br>的診断技能を習得するとと<br>もに、医療面接の態度を身<br>につける。 | 歯列・咬合の発育に関する診査・<br>検査結果を説明できる。適切な咬<br>合誘導装置を選択し、保護者へ説<br>明できる。 | Ⅲ-11 | 小児で行う模型分析法と混<br>合歯列周長分析の方法につ<br>いて調べておくこと。 | 28]<br>0.5 |
| 29 | 10/29 |                                                        |                                                       |                                                                                                       |                                                                |      |                                            | 29]<br>0.5 |
| 30 | 10/29 |                                                        |                                                       |                                                                                                       |                                                                |      |                                            | 30]<br>0.5 |

# 成長発達歯学実習(矯正系) 【実習】

科目番号 0D041221

後期：30コマ

評価責任者：玉置幸雄

(矯正歯科学分野)

担当教員：玉置幸雄、

阿部朗子、梶原弘一郎、石井太郎、中嶋宏樹、竹崎公章、河村 純

(一般目標)

講義で修得した矯正歯科材料の物理的性質ならびに矯正装置の構造・作用機序について理解をさらに深めるため、模型を用いて代表的な矯正装置の製作を行い、同時に矯正技工の基本手技と装置製作法を体得する。

また、混合歯列期における歯列・咬合の発育に関する基本的な分析(混合歯列周長分析・セファロ分析)の技能を修得し、さらに診療参加型臨床実習での医療面接を円滑に行うための技能・態度を身につける。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅱ-3, Ⅲ-21, Ⅳ-4, Ⅳ-5, Ⅳ-8, Ⅳ-9, Ⅳ-10

(教育方法)

模型実習、分析実習、ロールプレイ

(ディスカッション・ディベート) (実習・演習)

(学習方法)

各ユニットの実習開始までに「予習の項目」の教科書および歯科矯正学Ⅰ・Ⅱ授業プリントの該当箇所を予習し、実習を通じて矯正装置の構造・作用機序ならびに症例分析方法について知識の整理と理解に努め、同時に矯正技工の基本手技と矯正装置の製作法、および模型計測・セファロ分析を体得する。また、その後の復習で知識の定着を図るとともに、診療参加型臨床実習に必要な技能と態度を身につける。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：40.0時間】

(評価)

実習製作物(50%)、実習試験(30%)、実習態度(20%)

実習製作物：製作物提出時に口頭でフィードバックする。

実習試験：試験終了時に解説および個別試験でフィードバックする。

実習態度：実習終了時刻に口頭でフィードバックする。

(教科書)

後藤滋巳、石川博之、槇宏太郎、山田一尋編、『新 矯正装置ビジュアルガイド』、医歯薬出版、2015

(全ページカラー：写真や図が豊富で、各矯正装置の基本構造と作製手順、実際の使用方法など具体的に症例を呈示しながら解説した前巻の2冊分を1冊にまとめた本)

(参考書)

新井一仁、友成 博、山口徹太郎、玉置幸雄編著、『歯科矯正学実習

Practical Orthodontics: Clinical and Laboratory Techniques

』、医歯薬出版、2025

(全ページカラー：写真や図が豊富で、各矯正装置の製作方法だけでなく、課題解決演習のポイントとなる症例分析方法を具体的に示した本)

| 回 | 日    | 担当者                                | ユニット               | 学習目標（G I O）                                              | 行動目標（S B O s）                      | DP                 | 予習の項目                                                    | 必要時間                         |            |
|---|------|------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------|------------|
| 1 | 8/28 | [1回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット1<br>線屈曲と自在ろう着 | ブライヤーを用いた線屈曲および自在ろう着の基本手技を体得するとともに、矯正歯科材料の物理的性質について理解する。 | 手指およびブライヤーを用いて線屈曲の基本操作を行う。         | Ⅳ-8                | [1回]<br>教科書（p268～273）Part 8<br>矯正歯科技工のための基本手技と使用器具       | [1]<br>1.0                   |            |
| 2 | 8/28 |                                    |                    |                                                          | 手指およびブライヤーを用いて設計図をもとに線屈曲を行う。       | Ⅳ-8                |                                                          | [2回]<br>授業プリント 矯正装置Ⅱ（p68～74） | [2]<br>2.0 |
| 3 | 8/28 |                                    |                    |                                                          |                                    |                    |                                                          |                              | [3]<br>1.0 |
| 4 | 9/4  | [4回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット1<br>線屈曲と自在ろう着 | ブライヤーを用いた線屈曲および自在ろう着の基本手技を体得するとともに、矯正歯科材料の物理的性質について理解する。 | 自在ろう着の基本操作を行う。                     | Ⅳ-8                | [4回]<br>教科書（p268～273）Part 8<br>矯正歯科技工のための基本手技と使用器具       | [4]<br>1.0                   |            |
| 5 | 9/4  |                                    |                    |                                                          | 設計図をもとに自在ろう着を行う。                   | Ⅳ-8                |                                                          | [5回]<br>授業プリント 矯正装置Ⅲ（p79～80） | [5]<br>2.0 |
| 6 | 9/4  |                                    |                    |                                                          |                                    |                    | ループの付与により矯正力を調節する。                                       |                              | Ⅳ-8        |
| 7 | 9/11 |                                    |                    |                                                          | [7回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット1<br>線屈曲と自在ろう着 | ブライヤーを用いた線屈曲および自在ろう着の基本手技を体得するとともに、矯正歯科材料の物理的性質について理解する。 | ループの付与により矯正力を調節する。           | Ⅳ-8        |
| 8 | 9/11 | [8]<br>1.0                         |                    |                                                          |                                    |                    |                                                          |                              |            |
| 9 | 9/11 | [8回]<br>各種矯正装置の実地確認                | [9]<br>1.0         |                                                          |                                    |                    |                                                          |                              |            |

| 回  | 日     | 担当者                                 | ユニット                             | 学習目標（G I O）                                                                                | 行動目標（S B O s）                        | DP   | 予習の項目                                                                                    | 必要時間        |
|----|-------|-------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 10 | 9/18  | [10回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット2<br>舌側弧線装置                  | 舌側弧線装置の構造、製作法および作用機序について理解し、製作法を体得するとともに、補助弾線の作用機序について理解する。                                | 舌側弧線装置の構造、製作法および作用機序を述べる。            | Ⅲ-21 | [10回]<br>教科書（p52～63）Part5 各種矯正装置の作製方法と適応 1 リンガルアーチ（舌側弧線装置）                               | [10]<br>1.0 |
| 11 | 9/18  |                                     |                                  |                                                                                            | 舌側弧線装置を設計し、製作する。                     | Ⅳ-8  |                                                                                          | [11]<br>1.0 |
| 12 | 9/18  |                                     |                                  |                                                                                            | 製作に用いる器材の名称と使い方を述べる。                 | Ⅲ-21 |                                                                                          | [12]<br>1.0 |
| 13 | 9/25  | [13回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット2<br>舌側弧線装置                  | 舌側弧線装置の構造、製作法および作用機序について理解し、製作法を体得するとともに、補助弾線の作用機序について理解する。                                | 舌側弧線装置を設計し、製作する。                     | Ⅳ-8  | [13回]<br>教科書（p52～63）Part5 各種矯正装置の作製方法と適応 1 リンガルアーチ（舌側弧線装置）                               | [13]<br>1.0 |
| 14 | 9/25  |                                     |                                  |                                                                                            | 製作に用いる器材の名称と使い方を述べる。                 | Ⅲ-21 |                                                                                          | [14]<br>1.0 |
| 15 | 9/25  |                                     |                                  |                                                                                            |                                      |      |                                                                                          | [15]<br>1.0 |
| 16 | 10/2  | [16回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット2<br>舌側弧線装置                  | 舌側弧線装置の構造、製作法および作用機序について理解し、製作法を体得するとともに、補助弾線の作用機序について理解する。                                | 舌側弧線装置の補助弾線のろう着と屈曲を行う。               | Ⅳ-8  | [16回]<br>教科書（p52～63）Part5 各種矯正装置の作製方法と適応 1 リンガルアーチ（舌側弧線装置）                               | [16]<br>1.0 |
| 17 | 10/2  |                                     |                                  |                                                                                            | 舌側弧線装置の補助弾線の弾性を確認し、歯の初期移動の様相を比較する。   | Ⅳ-8  |                                                                                          | [17]<br>1.0 |
| 18 | 10/2  |                                     |                                  |                                                                                            |                                      |      |                                                                                          | [18]<br>1.0 |
| 19 | 10/9  | [19回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット3<br>床装置                     | 保定装置と咬合斜面板についてその構造、製作法および作用機序について理解するとともに、製作法を体得する。                                        | 保定装置の構造、製作法および作用機序を述べる。              | Ⅲ-21 | [19回]<br>教科書（p194～203）Part5 各種矯正装置の作製方法と適応 17 ホーレータイプ・ラップアラウンドリテーナー                      | [19]<br>2.0 |
| 20 | 10/9  |                                     |                                  |                                                                                            | 保定装置を設計し、製作する。                       | Ⅳ-8  |                                                                                          | [20]<br>1.0 |
| 21 | 10/9  |                                     |                                  |                                                                                            | 製作に用いる器材の名称と使い方を述べる。                 | Ⅲ-21 |                                                                                          | [21]<br>1.0 |
| 22 | 10/16 | [22回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット3<br>床装置                     | 保定装置と咬合斜面板についてその構造、製作法および作用機序について理解するとともに、製作法を体得する。                                        | 保定装置を設計し、製作する。                       | Ⅳ-8  | [22回]<br>教科書（p194～203）Part5 各種矯正装置の作製方法と適応 17 ホーレータイプ・ラップアラウンドリテーナー                      | [22]<br>1.0 |
| 23 | 10/16 |                                     |                                  |                                                                                            | 製作に用いる器材の名称と使い方を述べる。                 | Ⅲ-21 |                                                                                          | [23]<br>1.0 |
| 24 | 10/16 |                                     |                                  |                                                                                            |                                      |      |                                                                                          | [24]<br>1.0 |
| 25 | 10/23 | [25回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット3<br>床装置                     | 保定装置と咬合斜面板についてその構造、製作法および作用機序について理解するとともに、製作法を体得する。                                        | 製作に用いる器材の名称と使い方を述べる。                 | Ⅲ-21 | [25回]<br>授業プリント 矯正装置Ⅲ（p79～80）                                                            | [25]<br>3.0 |
| 26 | 10/23 |                                     |                                  |                                                                                            | 咬合斜面板の構造、製作法および作用機序を述べる。             | Ⅲ-21 |                                                                                          | [26]<br>1.0 |
| 27 | 10/23 |                                     |                                  |                                                                                            | 咬合斜面板を設計し、製作する。                      | Ⅳ-8  |                                                                                          | [27]<br>1.0 |
| 28 | 10/30 | [28回]<br>玉置 阿部 梶原<br>石井 中嶋<br>竹崎 河村 | ユニット4<br>混合歯列期発育分析・医療面接（矯正装置の説明） | 混合歯列期における歯列・咬合の発育に関する基本的な分析（混合歯列周長分析・セファロ分析）の技能を修得する。患者の保護者に矯正装置の説明を行うために必要な医療面接の態度を身につける。 | Moyersの方法と小野の方法により未萌出側方歯群の歯冠幅径を予測する。 | Ⅳ-10 | [28回]<br>成長発達歯学実習の混合歯列期発育分析・医療面接実習参照 授業プリント 診断学概論・症例分析・症例分析法（p31～41） 矯正装置Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（p61～93） | [28]<br>3.0 |
| 29 | 10/30 |                                     |                                  |                                                                                            | 口腔模型からアーチレングスディスクレパンシーを計測する。         | Ⅳ-4  |                                                                                          | [29]<br>1.0 |
| 30 | 10/30 |                                     |                                  |                                                                                            | セファログラムのトレースを行い、計測点、基準平面を記入する。       | Ⅳ-9  |                                                                                          | [30]<br>1.0 |
|    |       |                                     |                                  |                                                                                            | トレース上で、角度計測を行い、ポリゴン表に記入する。           | Ⅳ-4  |                                                                                          |             |
|    |       |                                     |                                  |                                                                                            | ポリゴン表から骨格系と歯系の異常を指摘する。               | Ⅳ-5  |                                                                                          |             |
|    |       |                                     |                                  |                                                                                            | 矯正治療の必要性を説明する。                       | Ⅱ-3  |                                                                                          |             |
|    |       |                                     |                                  |                                                                                            | 矯正装置の種類と構造を説明する。                     | Ⅲ-21 |                                                                                          |             |
|    |       |                                     |                                  |                                                                                            | 定期的管理の必要性を説明する。                      | Ⅳ-9  |                                                                                          |             |

# 障害者歯科学 【講義】

科目番号 0D041213

後期：15コマ

評価責任者：森田浩光

担当教員：森田浩光、天野郁子、田崎園子、木村敬次リチャード（本学臨床教授）、佐藤秀夫（鹿児島大学・講師）、野本たかと（日本障害者歯科学会・理事長、日本大学松戸歯学部・教授）

（一般目標）

障害者を取り巻く社会環境の理解ならびに障害者の身体的、精神的および心理的特徴への理解を基盤とした上で、歯科医療を提供していくために必要な基本的知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP]）

I-1, I-3, I-5, I-6, II-2, II-3, II-4, III-15, III-18, III-19, III-22

（教育方法）

プリントを用いた基本的事項の解説。

動画を含む視覚素材を提示。

授業内容の理解度を小テストによりチェックし、フィードバックする。

（学習方法）

授業での解説をノートまたは配布されたプリントに書き込む。

各講義の最後に行う小テストにて復習する。

教科書の指定されたページを読んで予習する。

授業内容に関連したことをあらかじめ調べる。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評価）

定期試験：100%

定期試験による評価のフィードバック：試験終了後に随時質問に答える。

（教科書）

日本障害者歯科学会編集「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版」医歯薬出版 2020

日本有病者歯科医療学会「有病者歯科学第3版」永末書店2024

（参考書）

小児内科2002vol. 34 「小児疾患診療のための病態生理Ⅰ」 東京医学社

小児内科2002vol. 35 「小児疾患診療のための病態生理Ⅱ」 東京医学社

梶井正ほか編 「新先天奇形症候群アトラス」 南江堂

Gorlin R, J. et al. ed. "SYNDROMES OF THE HEAD AND NECK 5th edition" OXFORD University Press 2024

| 回 | 日    | 担当者       | ユニット             | 学習目標（GIO）             | 行動目標（SBOs）                                                                                      | DP                                | 予習の項目                                     | 必要時間 |
|---|------|-----------|------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------|------|
| 1 | 8/24 | 森田浩光      | ユニット1<br>障害者歯科序論 | 障害者が置かれた環境について理解する。   | 障害者の定義を説明する。<br>障害者歯科におけるバスターナリズムとインフォームドコンセントを説明する。<br>ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザインを説明する。      | I-3<br>I-5<br>I-6                 | 障害者の定義、ノーマライゼーションとバリアフリー、バスターナリズムについて調べる。 | 1.0  |
| 2 | 8/27 | 森田浩光      | ユニット1<br>障害者歯科序論 | 障害者が置かれた環境について理解する。   | 障害者のQOLを説明する。<br>国際生活機能分類を説明する。<br>障害者の家族の心理変遷を説明する。<br>障害者の医療、福祉制度を説明する。<br>障害者関連法規と主な内容を説明する。 | I-1<br>II-2<br>II-4<br>I-3<br>I-3 | 障害者に関連した法規や制度について調べる。                     | 1.0  |
| 3 | 8/31 | 森田浩光      | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。 | 視覚・聴覚・構音障害を説明する。<br>内部障害を列挙する。<br>知的能力障害について説明する。                                               | III-15<br>III-19<br>III-19        | 身体障害の分類について調べる。                           | 1.0  |
| 4 | 9/3  | 木村敬次リチャード | ユニット1<br>障害者歯科序論 | 障害者が置かれた環境について理解する。   | 障害者歯科のニーズとディマンズについて説明する。<br>障害者歯科の歴史について説明する。                                                   | I-6<br>I-6                        | 障害者歯科のニーズとディマンズ、歴史について調べる。                | 1.0  |

| 回  | 日     | 担当者   | ユニット             | 学習目標（G I O）              | 行動目標（S B O s）                           | DP   | 予習の項目                         | 必要時間 |
|----|-------|-------|------------------|--------------------------|-----------------------------------------|------|-------------------------------|------|
| 5  | 9/7   | 田崎園子  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | Down症候群の特徴および診療時の対応について説明する。            | Ⅲ-15 | Down症候群の特徴について教科書を読む。         | 1.0  |
| 6  | 9/10  | 森田浩光  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 発達障害（自閉スペクトラム症ほか）の特徴および診療時の対応について説明する。  | Ⅲ-19 | 自閉スペクトラム症の特徴について教科書を読む。       | 1.0  |
| 7  | 9/14  | 田崎園子  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 脳性麻痺の特徴および診療時の対応について説明する。               | Ⅲ-15 | 脳性麻痺の特徴について教科書を読む。            | 1.0  |
| 8  | 9/17  | 田崎園子  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 重症心身障害・医療的ケア児について説明する。                  | Ⅲ-15 | 重症心身障害児、てんかんについて調べる。          | 1.0  |
|    |       |       |                  |                          | 筋ジストロフィー・重症筋無力症・筋萎縮性側索硬化症（ALS）について説明する。 | Ⅲ-15 |                               |      |
|    |       |       |                  |                          | てんかんの特徴および診療時の対応について説明する。               | Ⅲ-19 |                               |      |
| 9  | 9/28  | 森田浩光  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 配偶子病について説明する。                           | Ⅲ-18 | 教科書付表2を見て染色体異常を調べる。           | 1.0  |
|    |       |       |                  |                          | 頭蓋顎顔面の形成異常を示す疾患について説明する。                | Ⅲ-18 |                               |      |
| 10 | 10/1  | 森田浩光  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 口腔領域に症状をあらわす遺伝疾患について説明する。               | Ⅲ-18 | 教科書付表2を見て遺伝疾患を調べる。            | 1.0  |
| 11 | 10/5  | 森田浩光  | ユニット2<br>疾患各論    | 種々の疾患（障害）の特徴について理解する。    | 口腔領域に症状をあらわすその他の疾患について説明する。             | Ⅲ-18 | 教科書付表2を見て染色体異常、遺伝疾患以外の疾患を調べる。 | 1.0  |
| 12 | 10/8  | 天野郁子  | ユニット5<br>障害者への対応 | 障害者の歯科治療における対応法について理解する。 | 診療における説明の工夫および行動変容法を説明する。               | Ⅱ-3  | 行動変容技法の種類について調べる。             | 1.0  |
| 13 | 10/14 | 佐藤秀夫  | ユニット3<br>摂食嚥下    | 障害者のQOLの維持・向上について理解する。   | 障害児の摂食嚥下リハビリテーションについて説明する。              | Ⅲ-15 | 障害者の摂食嚥下リハビリテーションについて調べる。     | 1.0  |
| 14 | 10/22 | 田崎園子  | ユニット5<br>障害者への対応 | 障害者の歯科治療における対応法について理解する。 | 薬物による行動調整法（鎮静法、全身麻酔法）を説明する。             | Ⅲ-19 | 身体拘束の3要件について調べる。              | 1.0  |
|    |       |       |                  |                          | 診療における環境設定や歯科治療中の危険因子を説明する。             | Ⅲ-15 |                               |      |
|    |       |       |                  |                          | 身体拘束について説明する。                           | Ⅲ-15 |                               |      |
|    |       |       |                  |                          | 体動のコントロールや開口保持のための心理的アプローチについて説明する。     | Ⅱ-3  |                               |      |
|    |       |       |                  |                          | 歯科治療中のモニタリングについて説明する。                   | Ⅲ-19 |                               |      |
| 15 | 10/26 | 野本たかと | ユニット4<br>地域医療    | 地域における障害者歯科医療について理解する。   | 障害者歯科保健について説明する。                        | Ⅲ-22 | 教科書25～32頁を読む。                 | 1.0  |
|    |       |       |                  |                          | 地域における障害者歯科医療について説明する。                  | I-6  |                               |      |

# 画像診断学Ⅱ 【講義】

科目番号 0D041228

後期：16コマ

評価責任者：香川豊宏

担当教員：香川豊宏、川波 哲

担当教員：筑井朋子、柿本直也、森本泰宏

（一般目標）

正確な診断を行うために口腔顎顔面領域に発生する疾患の画像診断学的な特徴を理解する。  
放射線治療の適応について理解し、放射線治療前中後の口腔管理について修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-2, Ⅲ-8, Ⅲ-10, Ⅲ-17, Ⅲ-18, Ⅲ-21, Ⅳ-3, Ⅳ-4

（教育方法）

板書、スライドによる講義

必要に応じてプリントを配布する。

（学習方法）

授業前後に下記教科書の該当箇所を読むこと。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 13.0 時間】

（評 価）

記述式問題、多肢選択問題、短答式問題

定期試験 100%

希望者に採点した解答用紙を呈示する。

（教 科 書）

岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第6版』 医歯薬出版 2018

（参 考 書）

なし

| 回 | 日    | 担当者  | ユニット                  | 学習目標（G I O）                      | 行動目標（S B O s）                 | DP   | 予習の項目          | 必要時間 |
|---|------|------|-----------------------|----------------------------------|-------------------------------|------|----------------|------|
| 1 | 8/24 | 香川豊宏 | ユニット1<br>MRI          | MRIの原理、適応を理解する。                  | MRIの撮像原理を説明する。                | Ⅲ-21 | 教科書の該当ページを読むこと | 1.0  |
|   |      |      |                       |                                  | MRIの特徴と適応を説明する。               | Ⅳ-3  |                |      |
|   |      |      |                       |                                  | MRI写真における障害陰影について説明する。        | Ⅲ-21 |                |      |
| 2 | 8/28 | 香川豊宏 | ユニット2<br>超音波検査        | 超音波検査の原理、適応を理解する。                | 超音波検査の撮像原理を説明する。              | Ⅳ-3  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|   |      |      |                       |                                  | 超音波検査の特徴と適応を説明する。             | Ⅲ-21 |                |      |
|   |      |      | ユニット3<br>核医学検査        | 核医学検査の原理、適応を理解する。                | 核医学検査の撮像原理を説明する。              | Ⅳ-3  |                |      |
|   |      |      |                       |                                  | 核医学検査の種類と適応を説明する。             | Ⅳ-3  |                |      |
| 3 | 8/31 | 香川豊宏 | ユニット4<br>各種画像解剖       | 各種検査の画像解剖を理解する。                  | CTの解剖を説明する。                   | Ⅲ-2  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
| 4 | 9/4  | 香川豊宏 | ユニット4<br>各種画像解剖       | 各種検査の画像解剖を理解する。                  | MRIの解剖を説明する。                  | Ⅲ-2  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
| 5 | 9/11 | 香川豊宏 | ユニット5<br>嚢胞・良性腫瘍の画像疾患 | 顎骨に発生する嚢胞、腫瘍（類似疾患を含む）の画像所見を理解する。 | 顎骨に発生する嚢胞の画像所見を説明する。          | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
| 6 | 9/14 | 香川豊宏 | ユニット5<br>嚢胞・良性腫瘍の画像疾患 | 顎骨に発生する嚢胞、腫瘍（類似疾患を含む）の画像所見を理解する。 | 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患の画像所見を説明する。 | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
| 7 | 9/18 | 香川豊宏 | ユニット5<br>嚢胞・良性腫瘍の画像疾患 | 顎骨に発生する嚢胞、腫瘍（類似疾患を含む）の画像所見を理解する。 | 歯科領域に関連する全身疾患の画像所見            | Ⅲ-17 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |

| 回  | 日     | 担当者  | ユニット                    | 学習目標（G I O）                        | 行動目標（S B O s）                            | DP   | 予習の項目          | 必要時間 |
|----|-------|------|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------------|------|----------------|------|
| 8  | 9/25  | 川波 哲 | ユニット6<br>炎症の画像疾患        | 口腔顎顔面領域の炎症の画像所見を理解する。              | 顎骨の炎症の画像所見を説明する。                         | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 顎骨周囲組織へ波及した炎症の画像所見を説明する。                 | Ⅲ-10 |                |      |
| 9  | 9/28  | 筑井朋子 | ユニット7<br>外傷の画像診断        | 顔面外傷を受けた場合の歯、顎骨の画像検査法および画像所見を理解する。 | 顔面外傷の際に行う適切な画像検査を説明する。                   | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 歯折のエックス線所見を説明する。                         | Ⅲ-8  |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 顎骨骨折の画像所見を説明する。                          | Ⅲ-10 |                |      |
| 10 | 10/2  | 筑井朋子 | ユニット8<br>上顎洞の画像診断       | 上顎洞疾患の画像検査法および画像所見を理解する。           | 上顎洞疾患に対して適切な画像検査を説明する。                   | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 上顎洞炎の画像所見を説明する。                          | Ⅲ-10 |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 上顎洞内の腫瘍の画像所見を説明する。                       | Ⅲ-10 |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 上顎洞内の嚢胞の画像所見を説明する。                       | Ⅲ-10 |                |      |
| 11 | 10/5  | 香川豊宏 | ユニット9<br>顎関節の画像診断       | 顎関節疾患の画像検査法および画像所見を理解する。           | 顎関節疾患に対して行われる画像検査の種類および特徴を説明する。          | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 各画像検査の特徴および欠点を説明する。                      | Ⅳ-3  |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 顎関節疾患の画像所見を説明する。                         | Ⅲ-10 |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 顎関節の画像所見を説明する。                           | Ⅲ-10 |                |      |
| 12 | 10/9  | 香川豊宏 | ユニット10<br>頭頸部軟組織疾患の画像診断 | 頭頸部の軟組織に発生する疾患の画像検査法および画像所見を理解する。  | 頭頸部の軟組織に発生する疾患に対して行われる画像検査の種類および特徴を説明する。 | Ⅳ-3  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 頭頸部の軟組織に発生する疾患の画像所見を説明する。                | Ⅲ-10 |                |      |
| 13 | 10/16 | 香川豊宏 | ユニット11<br>胸部の画像診断       | 胸部に発生する疾患の画像検査法および画像所見を理解する。       | 胸部の撮影法を説明する。                             | Ⅳ-3  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 胸部エックス線検査の正常解剖を説明する。                     | Ⅲ-2  |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 胸部に発生する疾患の画像所見を説明する。                     | Ⅲ-17 |                |      |
| 14 | 10/19 | 森本泰宏 | ユニット12<br>系統疾患          | 頭頸部に影響を与える系統疾患を理解する。               | 頭頸部に画像所見を呈する系統疾患の種類を説明する。                | Ⅲ-18 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 系統疾患の画像所見を説明する。                          | Ⅲ-17 |                |      |
| 15 | 10/23 | 川波 哲 | ユニット13<br>悪性腫瘍の診断       | 頭頸部に発生する悪性腫瘍の画像検査法および画像所見を理解する。    | 悪性腫瘍の画像所見を説明する。                          | Ⅲ-10 | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 頸部リンパ節転移の画像所見を説明する。                      | Ⅲ-10 |                |      |
| 16 | 10/26 | 柿本直也 | ユニット14<br>放射線治療         | 口腔癌に対する放射線治療の種類および照射法を理解する。        | 照射法の種類を説明する。                             | Ⅳ-4  | 教科書の該当ページを読むこと | 0.8  |
|    |       |      |                         |                                    | 時間的配分について説明する。                           | Ⅳ-4  |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 空間的線量分布について説明する。                         | Ⅳ-4  |                |      |
|    |       |      |                         |                                    | 組織内照射法の適応を説明する。                          | Ⅳ-4  |                |      |

# 麻酔科学Ⅱ 【講義】

科目番号 OD041229

後期：15コマ

評価責任者：池田水子

担当教員：野上堅太郎  
守永紗織

（一般目標）

小児、高齢者、障害者あるいは有病者の全身管理、歯科治療時の緊急時の救急処置法や心肺蘇生法について理解する。生理学、生化学、薬理学、解剖学などの基礎的知識や内科、外科、歯科の臨床的知識に基づいて周術期の全身管理について学習する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅲ-12、Ⅲ-13、Ⅲ-19、Ⅳ-13

（教育方法）

スライド、プリント、板書による講義、教科書による講義、演習、ビデオ供覧

（学習方法）

予習

1) 教科書、参考書で授業範囲の予習を行う。

復習

2) プリントや教科書、参考書による復習、確認を行う。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 15.0 時間】

（評 価）

定期試験：100%

学生へのフィードバックの時期

- 1) 試験の後に行われる授業（30分）
- 2) 試験の後のオフィスアワー（15分）

フィードバックの方法

- 1) 試験の後に行われる授業の際に問題の正答と解答のポイントを教える。
- 2) オフィスアワーで個人の解答成績と問題点を口答でフィードバックする。

（教 科 書）

『歯科麻酔・生体管理学第2版』学建書院、2016

選定理由

歯科麻酔学を理解するのに必要最小限の内容が記載されている。参考書に選定した歯科麻酔学は詳しく調べるのに適しているが、内容が多すぎる。

（参 考 書）

『歯科麻酔学』医歯薬出版、第8版、2019

歯科麻酔学に関して基礎から臨床まで十分な内容が網羅されており、理解を深めるのに適している。

| 回 | 日    | 担当者 | ユニット                                                 | 学習目標（G I O）                   | 行動目標（S B O s）                  | DP   | 予習の項目                       | 必要時間 |
|---|------|-----|------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------|-----------------------------|------|
| 1 | 8/26 | 守永  | ユニット111<br>管理上問題となる患者の管理（外来全身麻酔、障害者歯科の麻酔）            | 障害者の麻酔管理上の注意点について理解する。        | 障害者の麻酔管理上の注意点について説明できる。        | Ⅲ-19 | 教科書p62-65, 179-181, 195-203 | 1.0  |
|   |      |     |                                                      | 歯科治療時に全身麻酔が必要となる心身障害について理解する。 | 歯科治療時に全身麻酔が必要となる心身障害について説明できる。 | Ⅲ-19 |                             |      |
|   |      |     |                                                      | 歯科外来における全身麻酔について理解する。         | 歯科外来における全身麻酔について説明できる。         | Ⅲ-19 |                             |      |
|   |      |     |                                                      | 術後の合併症について理解する。               | 術後の合併症について説明できる。               | Ⅲ-19 |                             |      |
| 2 | 8/31 | 野上  | 前期定期試験解説                                             | 前期定期試験の内容を理解する                | 前期定期試験の内容を説明できる。               | Ⅲ-19 | 前期定期試験                      | 1.0  |
| 3 | 9/2  | 守永  | ユニット112<br>管理上問題となる患者の管理（小児・高齢者・妊婦の歯科治療時の管理および周術期管理） | 小児の麻酔法および全身管理について理解する。        | 小児の麻酔法および全身管理について説明できる。        | Ⅲ-12 | 教科書p61, 62, 182-194, 235    | 1.0  |
|   |      |     |                                                      | 高齢者の麻酔法および全身管理について理解する。       | 高齢者の麻酔法および全身管理について説明できる。       | Ⅲ-13 |                             |      |
|   |      |     |                                                      | 妊婦の麻酔法および全身管理について理解する。        | 妊婦の麻酔法および全身管理について説明できる。        | Ⅲ-19 |                             |      |

| 回  | 日    | 担当者 | ユニット                                           | 学習目標（G I O）                                  | 行動目標（S B O s）                                 | DP    | 予習の項目                                           | 必要時間 |
|----|------|-----|------------------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------|------|
| 4  | 9/7  | 野上  | ユニット121<br>初期救急（一次救命処置、気道異物）                   | BLSの手順や手技について理解する。                           | BLSの手順や手技について説明できる。                           | IV-13 | 教科書p199-214                                     | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 胸骨圧迫・人工呼吸の手技について理解する。                        | 胸骨圧迫の手技について説明できる。                             | IV-13 |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | AEDの使用方法について理解する。                            | AEDの使用方法について説明できる。                            | IV-13 |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 気道異物への対応を理解する。                               | 気道異物への対応を説明できる。                               | IV-13 |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 小児・乳児の心肺蘇生法について理解する。                         | 小児・乳児の心肺蘇生法について説明できる。                         | IV-13 |                                                 |      |
| 5  | 9/9  | 池田  | ユニット132<br>周術期に必要な循環器の知識（心房細動、弁膜症、DVT、PE、抗凝固薬） | 心房細動、心房細動、弁膜症を有する患者の周術期管理について理解する。           | 心房細動、心房細動、弁膜症を有する患者の周術期管理について説明できる。           | Ⅲ-19  | p21, 25, 27, 31, 56-57, 64, 167-168, 228        | 1.0  |
|    |      |     |                                                | DVT、PEの症状、病態、対処法について理解する。                    | DVT、PEの症状、病態、対処法について説明できる。                    | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 抗凝固薬内服患者の周術期管理について理解する。                      | 抗凝固薬内服患者の周術期管理について説明できる。                      | Ⅲ-19  |                                                 |      |
| 6  | 9/14 | 池田  | ユニット133<br>周術期に必要な循環器の知識（虚血性心疾患、脳梗塞、抗血小板薬）     | 虚血性心疾患、脳梗塞を有する患者の周術期管理について理解する。              | 虚血性心疾患、高血圧、脳梗塞を有する患者の周術期管理について説明できる。          | Ⅲ-19  | p23-25, 173-174, 228-229, p43-46, 101, 171, 231 | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 抗血小板薬内服患者の周術期管理について理解する。                     | 抗血小板薬内服患者の周術期管理について説明できる。                     | Ⅲ-19  |                                                 |      |
| 7  | 9/16 | 池田  | ユニット134<br>周術期に必要な循環器の知識（高血圧、循環作動薬）            | 高血圧患者の周術期管理について理解する。                         | 高血圧患者の周術期管理について説明できる。                         | Ⅲ-19  | p22-23, 64, 95-99, 170, 229                     | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 周術期に用いられる循環作動薬について理解する。                      | 周術期に用いられる循環作動薬について説明できる。                      | Ⅲ-19  |                                                 |      |
| 8  | 9/28 | 野上  | ユニット122<br>初期救急（二次救命処置、点滴路確保、輸液・輸血、気道確保）       | 二次救命処置について理解する。                              | 二次救命処置について説明できる。                              | Ⅲ-19  | 教科書p211, 215-218, p222                          | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 静脈路確保、薬剤投与方法について理解する。                        | 静脈路確保、薬剤投与方法について説明できる。                        | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 細胞外液補充液について理解する。                             | 細胞外液補充液等、輸液製剤の種類、使用目的について説明できる。               | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 輸血の適応、種類、合併症について理解する。                        | 輸血の適応、種類、合併症について説明できる。                        | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 緊急時の気道確保方法について理解する（気道確保、マスク換気、気管挿管、輪状甲状膜穿刺）。 | 緊急時の気道確保方法について説明できる（気道確保、マスク換気、気管挿管、輪状甲状膜穿刺）。 | Ⅲ-19  |                                                 |      |
| 9  | 9/30 | 池田  | ユニット131<br>周術期に必要な循環器の知識（麻酔中の血行動態、ショック）        | 前負荷、後負荷、心収縮力について理解する。                        | 前負荷、後負荷、心収縮力について説明できる。                        | Ⅲ-19  | p100-103, 162-163, 221-222                      | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 心不全患者の周術期管理について理解する。                         | 心不全患者の周術期管理について説明できる。                         | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 麻酔中の血行動態の変化について理解する。                         | 麻酔中の血行動態の変化について説明できる。                         | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | ショックの病態、症状、対処法について理解する。                      | ショックの病態、症状、対処法について説明できる。                      | Ⅲ-19  |                                                 |      |
| 10 | 10/5 | 池田  | ユニット135<br>周術期に必要な循環器の知識（チアノーゼ、先天性心疾患、感染性心内膜炎） | チアノーゼについて理解する。                               | チアノーゼについて説明できる。                               | Ⅲ-19  | p29-32, 107-109, 230                            | 1.0  |
|    |      |     |                                                | 感染性心内膜炎のリスクがある患者の周術期管理について理解する。              | 感染性心内膜炎のリスクがある患者の周術期管理について説明できる。              | Ⅲ-19  |                                                 |      |
|    |      |     |                                                | 先天性心疾患について理解する。                              | 先天性心疾患について説明できる。                              | Ⅲ-19  |                                                 |      |

| 回  | 日     | 担当者 | ユニット                                         | 学習目標（G I O）                                   | 行動目標（S B O s）                                 | DP   | 予習の項目                        | 必要時間 |
|----|-------|-----|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|------|------------------------------|------|
| 11 | 10/7  | 池田  | ユニット141<br>周術期に必要な呼吸器の知識（気管支喘息、COPD）         | 気管支喘息、COPDを有する患者の周術期管理について理解する。               | 気管支喘息、COPDを有する患者の周術期管理について説明できる。              | Ⅲ-19 | p17-19, 230                  | 1.0  |
| 12 | 10/14 | 池田  | ユニット151<br>周術期に必要な内分泌疾患の知識（甲状腺、副腎疾患、ステロイド内服） | 内分泌疾患（甲状腺、副腎疾患、ステロイド内服中）を有する患者の周術期管理について理解する。 | 内分泌疾患（甲状腺、副腎疾患、ステロイド内服中）を有する患者の全身管理について説明できる。 | Ⅲ-19 | p51-52, 58, 63, 114-115, 232 | 1.0  |
| 13 | 10/21 | 池田  | ユニット152<br>周術期に必要な内分泌疾患の知識（糖尿病）              | 内分泌疾患（糖尿病）を有する患者の周術期管理について理解する。               | 内分泌疾患（糖尿病）を有する患者の周術期管理について説明できる。              | Ⅲ-19 | p48-52, 232                  | 1.0  |
| 14 | 10/26 | 池田  | ユニット161<br>周術期に必要な肝腎疾患の知識（透析患者の管理）           | 腎疾患を有する患者の周術期管理について理解する。                      | 腎疾患を有する患者の周術期管理について説明できる。                     | Ⅲ-19 | p37-39, 111-113, 233         | 1.0  |
|    |       |     |                                              |                                               | pH、アシドーシス、アルカローシスについて説明できる。                   | Ⅲ-19 |                              |      |
| 15 | 10/28 | 池田  | ユニット171<br>周術期に必要な全身疾患患者の知識                  | 全身疾患を有する患者の周術期管理について理解する。                     | 全身疾患を有する患者の周術期管理について説明できる。                    | Ⅲ-19 | p36-37, 233                  | 1.0  |

## <総合歯科学>

|              |                                                       |
|--------------|-------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 山田和彦、柳絢子                                              |
| 教育方法         | 問題回答、解説、配布資料による講義を行う。                                 |
| 事前事後<br>学習方法 | 過去問に取り組み、弱点を明らかにしておく。歯科医療管理学の配布資料を復習する。               |
| 参考書          | 歯科医療管理（日本歯科医療管理学会編）、歯科医療面接アートとサイエンス第3版（砂書房）           |
| 関連DP         | I-1 歯科医療の目的と歯科医師の役割を説明できる。                            |
|              | I-4 規範を遵守した倫理的な診療行為を行うための態度を醸成する。                     |
|              | I-6 医療人として社会での果たすべき役割を自覚し、利他主義的働きにより公益増進に貢献する態度を醸成する。 |
| その他<br>伝達事項  | 必修問題を復習する。                                            |

| 授業計画 |        |      |                     |
|------|--------|------|---------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                |
| 1    | 11月16日 | 柳    | 滅菌・消毒・廃棄物など         |
| 2    | 11月26日 | 山田   | 医療面接とインフォームドコンセントなど |
| 3    | 11月30日 | 柳    | 医療安全・感染対策など         |
| 4    | 12月7日  | 山田   | 医療情報管理と診療録記載など      |
| 5    | 12月21日 | 山田   | 全体のまとめ              |

## <高齢者歯科学>

|             |                                                            |
|-------------|------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 内藤 徹、梅崎陽二郎                                                 |
| 教育方法        | スライドプレゼンテーションを用いた講義とする。講義時には、配布資料に重要事項を穴埋めするスタイルで知識の確認を行う。 |
| 事前事後学習方法    | 事前に教科書の該当するページを予習する。事後には配付資料に基づいて振り返りを行う。                  |
| 参考書         | 佐藤ら：よくわかる高齢者歯科学 第2版、永末出版、2023年                             |
| 関連DP        | V-1 高齢化の現状、問題点および医療との関わりについて説明できる。                         |
|             | Ⅲ-13 高齢者の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。           |
|             | Ⅲ-14 高齢者の栄養管理と摂食・嚥下障害について説明できる。                            |
| その他<br>伝達事項 |                                                            |

| 授業計画 |        |      |                             |
|------|--------|------|-----------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                        |
| 1    | 11月11日 | 梅崎   | 超高齢社会の特徴、加齢変化、高齢者に多い疾患      |
| 2    | 11月30日 | 梅崎   | 高齢者の福祉と地域包括ケア、介護保険          |
| 3    | 12月7日  | 梅崎   | 嚥下障害、嚥下機能の評価、嚥下機能のリハビリテーション |

## <訪問歯科学>

|          |                                                                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員     | 今井裕子、堤 貴司                                                                                                                      |
| 教育方法     | パワーポイントを用い、当該分野の重要な部分を説明する。国家試験やCBT PASSから傾向を探り、対策問題を解説する。                                                                     |
| 事前事後学習方法 | 3年生時の「地域医療・災害口腔医学」の資料や教科書を用いて予習。関連過去問等を確認し、疑問点を残さないようにする。                                                                      |
| 参考書      | 有病者歯科学、有病高齢者歯科治療のガイドライン（上）（下）                                                                                                  |
| 関連DP     | Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。                                                                                          |
|          | Ⅳ-17 多職種連携による診療について理解し参加できる。                                                                                                   |
|          | Ⅴ-3 地域包括ケアにおける歯科医療の関わりについて説明できる。                                                                                               |
| その他伝達事項  | 過去問やCBT PASS（moodleに設問・解説を掲載）を解き、十分に理解する。<br>→「実践」も含めて正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等チェックする。<br>→誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。 |

| 授業計画 |        |      |                                      |
|------|--------|------|--------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                                 |
| 1    | 11月12日 | 今井   | 全身疾患を有する者への対応①（循環器疾患）                |
| 2    | 12月3日  | 堤    | 訪問診療①（訪問診療の社会的役割、患者状態に応じた訪問診療、多職種連携） |
| 3    | 12月10日 | 今井   | 全身疾患を有する者への対応②（呼吸器・アレルギー・自己免疫・ステロイド） |
| 4    | 12月17日 | 堤    | 訪問診療②（急性期・回復期・維持期・終末期における訪問診療）       |

## <歯内療法学>

|              |                                                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 松崎英津子、松本典祥、水上正彦                                                                 |
| 教育方法         | 教科書と基礎実習時の配布資料、CBT PASS、見開き問題集を主として使用する。適宜Googleフォームを活用した小テストを実施し、理解度に応じた講義を行う。 |
| 事前事後<br>学習方法 | 事前：教科書の該当範囲を熟読し、疑問点（どこが理解できていないか）をまとめておく。<br>事後：該当箇所のCBT PASSを解き、理解度を確認する。      |
| 参考書          | エンドドンティクス第6版（永末書店）                                                              |
| 関連DP         | Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。                                                      |
|              | Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。                                                      |
|              | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                                                 |
| その他<br>伝達事項  | 歯内療法学の知識のみにとどまらず、基礎科目、臨床科目との関連において知識の整理を行うよう努める。                                |

| 授業計画 |        |       |                            |
|------|--------|-------|----------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容                       |
| 1    | 11月10日 | 松本    | 診査、診断、臨床症状、歯と歯周組織の解剖       |
| 2    | 11月24日 | 松崎・松本 | 歯髄疾患および根尖性歯周疾患の分類と適応症      |
| 3    | 12月1日  | 松本    | 歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療の流れと器具・器材 |
| 4    | 12月8日  | 水上    | 外科的歯内療法、緊急処置、歯の吸収、歯の漂白、偶発症 |

## <保存修復学>

|              |                                                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 松崎英津子、松本典祥、水上正彦                                                                 |
| 教育方法         | 教科書と基礎実習時の配布資料、CBT PASS、見開き問題集を主として使用する。適宜Googleフォームを活用した小テストを実施し、理解度に応じた講義を行う。 |
| 事前事後<br>学習方法 | 事前：教科書の該当範囲を熟読し、疑問点（どこが理解できていないか）をまとめておく。<br>事後：該当箇所のCBT PASSを解き、理解度を確認する。      |
| 参考書          | 第六版 保存修復学21（永末書店）                                                               |
| 関連DP         | Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。                                                      |
|              | Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。                                                      |
|              | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                                                 |
| その他<br>伝達事項  | 齲蝕学の知識のみにとどまらず、基礎科目、臨床科目との関連において知識の整理を行うよう努める。                                  |

| 授業計画 |        |      |                                  |
|------|--------|------|----------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                             |
| 1    | 11月16日 | 松本   | 窩洞形態、メタルインレー                     |
| 2    | 11月25日 | 松本   | CRインレー、セラミックインレー、ラミネートベニア修復      |
| 3    | 11月30日 | 水上   | 漂白、Tooth Wear（う蝕以外の歯の硬組織疾患）、切削器具 |
| 4    | 12月7日  | 松本   | 齲蝕の診査、齲蝕、グラスアイオノマー修復             |
| 5    | 12月21日 | 松崎   | コンポジットレジン修復                      |

## <歯周病学>

|          |                                                      |
|----------|------------------------------------------------------|
| 担当教員     | 吉永泰周、大城希美子、丸尾直樹                                      |
| 教育方法     | 各分野について簡単に講義を行い、その後関連した過去のCBT模試などの問題を使って問題の解き方を解説する。 |
| 事前事後学習方法 | 3年・4年の講義資料を復習する。                                     |
| 参考書      | CBTPASS                                              |
| 関連DP     | Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。                           |
|          | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                      |
|          | Ⅳ-6 歯と歯周組織の疾患の診断と基本的治療および保健指導と予防処置を実践できる。            |
| その他伝達事項  | 講義を受けたあとはしっかりと復習して、暗記すべき事はきちんと暗記することが大切です。           |

| 授業計画 |        |      |                         |
|------|--------|------|-------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                    |
| 1    | 11月6日  | 吉永泰周 | 切除療法、組織付着療法、再生療法        |
| 2    | 11月13日 | 吉永泰周 | 根分岐部病変の治療、外科の選択、歯周形成外科  |
| 3    | 11月20日 | 丸尾直樹 | 歯周検査                    |
| 4    | 11月27日 | 丸尾直樹 | 歯周病のリスクファクター・特殊な歯周病     |
| 5    | 12月18日 | 丸尾直樹 | 治療の流れ、歯周基本治療、メンテナンス・SPT |

## <冠橋義歯学>

|             |                                                                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 松浦尚志、山口雄一郎、加我公行                                                                                          |
| 教育方法        | パワーポイントによるプレゼンテーションと板書による講義スタイルとする。予め講義ノート用の資料を配布し、学生が自分で資料に書き込みしながらノートを作成していき、理解を深めるようにする。              |
| 事前事後学習方法    | これまでの講義ノートあるいは配布プリントからポイントを整理し授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。各授業で扱う内容について配付された復習プリントまたは講義ノートに関連した問題を解き自分で答えを調べる。 |
| 参考書         | ・クラウンブリッジテクニック 医歯薬出版<br>・冠橋義歯学補綴学テキスト 永末書店                                                               |
| 関連DP        | Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。                                                                    |
|             | Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。                                                                               |
|             | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                                                                          |
| その他<br>伝達事項 |                                                                                                          |

| 授業計画 |        |            |                                         |
|------|--------|------------|-----------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員       | 授業内容                                    |
| 1    | 11月10日 | 松浦, 山口, 加我 | 検査, 診断・治療計画の立案, 補綴前処置                   |
| 2    | 11月17日 | 松浦, 山口, 加我 | 支台築造, 支台歯形成                             |
| 3    | 11月24日 | 松浦, 山口, 加我 | プロビジョナルレストレーション, 印象採得                   |
| 4    | 12月1日  | 松浦, 山口, 加我 | 顎間関係の記録, 補綴装置の製作(ロストワックス法)              |
| 5    | 12月8日  | 松浦, 山口, 加我 | 補綴装置の製作(CAD/CAMによる), メタルフレームの補綴装置の試適・装着 |
| 6    | 12月15日 | 松浦, 山口, 加我 | ノンメタルフレームの補綴装置の試適・装着, 術後管理              |

## <有床義歯学>

|             |                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 都築 尊、吉田兼義                                                                                                                                                      |
| 教育方法        | 講義ノート末尾の厳選問題集の解説を行い、写真問題に対する確実な対応能力を身に着ける。2年間かけて自分の手で作り上げてきた「3年顎口腔機能学・有床義歯学Ⅰ」「4年有床義歯学Ⅱ」の2冊の講義ノートを用いて、CBT Answerの問題解説を合わせて行う。<br>連問対策はオリジナル問題集を使用して連問対応能力を修得する。 |
| 事前事後学習方法    | CBTPassの問題解説動画はMoodleにすべてアップしているので自学のために用いる。講義と実習で取り扱った問題もすべてMoodleにアップするので、講義の後に確認のために用いる。わからないことはノートの両端の書き込みスペースに記入し、可視化する。                                  |
| 参考書         | 講義で使ってきた指定教科書以外に、歯科国試パーフェクトマスターシリーズのパーシャルデンチャー補綴学、全部床義歯補綴学の2冊は、知識の確認に大変有用である。                                                                                  |
| 関連DP        | Ⅳ-7 歯質欠損・歯の欠損の診断と基本的治療を実践できる。                                                                                                                                  |
|             | Ⅲ-7 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の発生、発育および加齢変化を説明できる。                                                                                                                     |
|             | Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。                                                                                                                                     |
| その他<br>伝達事項 | CBT Answerは購入をお勧めします。<br>3、4年時の中間・定期試験をファイルしていると思うので、持ってきてください。紛失した人は友人からコピーさせてもらっておいてください。                                                                    |

| 授業計画 |        |      |                                 |
|------|--------|------|---------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                            |
| 1    | 11月12日 | 都築 尊 | 可撤性義歯の製作過程、印象採得、咬合採得。           |
| 2    | 11月19日 | 都築 尊 | 可撤性義歯の設計原則、義歯の構成要素と支持、把持、維持の機構。 |
| 3    | 11月26日 | 吉田兼義 | 顎顔面補綴装置の製作法と効果。                 |
| 4    | 12月3日  | 都築 尊 | 可撤性義歯の装着、調整、メンテナンス、リライン、修理。     |
| 5    | 12月10日 | 都築 尊 | 連問対策                            |
| 6    | 12月17日 | 都築 尊 | 連問対策                            |

## <口腔インプラント学>

|              |                                             |
|--------------|---------------------------------------------|
| 担当教員         | 加倉 加恵、谷口 祐介                                 |
| 教育方法         | 授業内容に関連する課題解決のため、代表的な問題を解くことで関連する知識を整理・統合する |
| 事前事後<br>学習方法 | 参考書の重要項目と試験問題の解き方について解説し理解を深める              |
| 参考書          | よくわかる口腔インプラント学 第4版 医歯薬出版株式会社                |
| 関連DP         | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。             |
|              | Ⅳ-4 根拠に基づいた治療計画を立案し適用できる。                   |
|              | Ⅳ-7 歯質欠損・歯の欠損の診断と基本的治療を実践できる。               |
| その他<br>伝達事項  | 講義には教科書を持参すること                              |

| 授業計画 |        |       |                                       |
|------|--------|-------|---------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容                                  |
| 1    | 11月13日 | 加倉 加恵 | 小テストと解説 診査診断、治療計画、インプラントに必要な解剖、適応症と禁忌 |
| 2    | 11月17日 | 加倉 加恵 | 小テストと解説 インプラント埋入手術と関連術式               |
| 3    | 12月8日  | 谷口 祐介 | 小テストと解説 上部構造の種類とメンテナンス、支持療法、トラブル      |

## <成育小児歯科学>

|              |                                                    |
|--------------|----------------------------------------------------|
| 担当教員         | 柏村晴子，熊谷徹弥                                          |
| 教育方法         | テーマごとに代表的な問題を集め、解答しながら関連する知識を整理・統合する。              |
| 事前事後<br>学習方法 | サブノートおよび中間試験や定期試験をもう一度復習する。                        |
| 参考書          | 講義資料を配布します                                         |
| 関連DP         | Ⅲ-7 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の発生、発育および加齢変化を説明できる。         |
|              | Ⅲ-12 小児の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。    |
|              | Ⅳ-10 成長発育期の歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面疾患の診断と基本的治療・予防処置を実践できる。 |
| その他<br>伝達事項  | レジメ配布もしますが、サブノートは持参すること。                           |

| 授業計画 |        |      |            |
|------|--------|------|------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容       |
| 1    | 11月20日 | 柏村   | 成長発達総論 1   |
| 2    | 11月27日 | 柏村   | 成長発達総論 2   |
| 3    | 12月 4日 | 熊谷   | 歯の形態異常と対応法 |
| 4    | 12月11日 | 熊谷   | 齲蝕総論       |
| 5    | 12月18日 | 熊谷   | 外傷総論       |

## <障害者歯科学>

|              |                                                                                                |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 天野郁子、田崎園子                                                                                      |
| 教育方法         | GBTに出題が予想される領域をまとめた内容のプリントを配布して解説するので、それを理解し覚える。                                               |
| 事前事後<br>学習方法 | これまでの授業で配布したプリント・moodle教材を読み返し、復習しておく。                                                         |
| 参考書          | スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（知識の確認）<br>Gorlin's Syndromes of the Head and Neck 5th edition（詳しく知りたい場合） |
| 関連DP         | Ⅲ-15 障害者の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。                                               |
|              | Ⅲ-18 口腔・顎顔面症状を呈する全身疾患について説明できる。                                                                |
|              | Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。                                                          |
| その他<br>伝達事項  | 障害者歯科の授業資料を持参すること                                                                              |

| 授業計画 |        |      |             |
|------|--------|------|-------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容        |
| 1    | 11月6日  | 天野郁子 | 行動調整        |
| 2    | 11月27日 | 田崎園子 | 各種疾患・症候群の解説 |

## <矯正歯科学>

|             |                                                                                                       |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 玉置幸雄、阿部朗子、梶原弘一郎、石井太郎                                                                                  |
| 教育方法        | 教科書に加え、矯正歯科学Ⅰ、Ⅱの講義プリント、実習帳およびサブノートを中心に、講義ごとの重要点を説明し演習を行う。                                             |
| 事前事後学習方法    | （事前学習）授業内容について教科書、講義プリント、実習帳およびサブノートを用いて予習し、疑問に思う点を事前に把握する。（事後学習）配布プリントと講義プリントⅠ、Ⅱの確認テスト上下で知識の定着化をはかる。 |
| 参考書         | （教科書）後藤滋己、齋藤功、西井康、榎宏太郎、森山啓司、山城隆 他編、『歯科矯正学 第7版』、医歯薬出版 2024                                             |
| 関連DP        | Ⅲ-11 不正咬合の特徴と病因を説明できる。                                                                                |
|             | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                                                                       |
|             | Ⅳ-9 不正咬合を有する患者の診察、基本的な診断および治療計画の立案ができる。                                                               |
| その他<br>伝達事項 | 教科書および歯科矯正学Ⅰ、Ⅱの講義プリント、実習帳および歯科矯正学サブノートを毎回持参する。<br>各講義終了後にMoodleを必ず受講すること。                             |

| 授業計画 |        |       |                                                           |
|------|--------|-------|-----------------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容                                                      |
| 1    | 11月18日 | 玉置幸雄  | 口腔・顎顔面の成長発育<br>口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常と不正咬合                    |
| 2    | 11月25日 | 梶原弘一郎 | 不正咬合の病因・病態（局所的後天的原因）<br>矯正力による歯周組織の生体反応                   |
| 3    | 12月2日  | 梶原弘一郎 | 矯正歯科治療に用いる、各種矯正装置の名称および構造や作用機序<br>セファロ分析（側面頭部エックス線規格写真分析） |
| 4    | 12月9日  | 石井太郎  | 矯正歯科治療に用いる矯正器具や矯正装置                                       |
| 5    | 12月16日 | 阿部朗子  | 不正咬合の検査・診査診断、総まとめ                                         |

## <口腔外科学・口腔腫瘍学>

|          |                                                          |
|----------|----------------------------------------------------------|
| 担当教員     | 平木昭光、橋本憲一郎、池邊哲郎                                          |
| 教育方法     | 口腔外科の各疾患について、4年講義プリントを使用し、重要な部分を説明する。その後は、国家試験の過去問を解説する。 |
| 事前事後学習方法 | 教科書の該当疾患の頁を読み、4年講義プリントに目を通してください。CBT-PASSの該当疾患を解いてください。  |
| 参考書      | CBT-PASS、「シンプルテキスト 口腔外科の疾患と治療」（第5版）、『サクシント口腔外科学』 学建書院    |
| 関連DP     | Ⅲ-10 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因を説明できる。                         |
|          | Ⅲ-18 口腔・顎顔面症状を呈する全身疾患について説明できる。                          |
|          | Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。                    |
| その他伝達事項  | 全国正答率70%以上の問題を克服することを目標とする。                              |

| 授業計画 |        |         |           |
|------|--------|---------|-----------|
| コマ   | 日時     | 担当教員    | 授業内容      |
| 1    | 11月11日 | 5 限目 平木 | 口腔癌・歯源性腫瘍 |
| 2    | 11月16日 | 1 限目 池邊 | 顎変形症・症候群  |
| 3    | 11月30日 | 1 限目 平木 | 唾液腺疾患     |
| 4    | 12月7日  | 1 限目 池邊 | 外傷・顎関節疾患  |
| 5    | 12月21日 | 1 限目 橋本 | 炎症・嚢胞     |

## <口腔画像診断学>

|              |                                          |
|--------------|------------------------------------------|
| 担当教員         | 香川豊宏                                     |
| 教育方法         | 問題演習および解説                                |
| 事前事後<br>学習方法 | 演習範囲のCBT PassおよびAnswerの必修の巻の問題を解しておくこと   |
| 参考書          | CBT Pass（第6版）, Answer2027（必修）, 歯科放射線学第7版 |
| 関連DP         | IV-3 診断・治療に必要な検査を選択し実施できる。               |
|              | IV-8 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の診断と基本的治療を実践できる。      |
|              |                                          |
| その他<br>伝達事項  | なし                                       |

| 授業計画 |        |      |                        |
|------|--------|------|------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                   |
| 1    | 11月12日 | 香川豊宏 | 放射線物理、放射線の発生、人体への影響    |
| 2    | 11月19日 | 香川豊宏 | 歯科領域で使用される一般撮影         |
| 3    | 11月26日 | 香川豊宏 | 特殊撮影1（MDCT, CBCT, MRI） |
| 4    | 12月3日  | 香川豊宏 | 特殊撮影2（超音波, 核医学検査）      |
| 5    | 12月10日 | 香川豊宏 | 頻出される疾患の画像診断           |

## <麻酔管理学>

|             |                                                                                 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 池田 水子、野上 堅太郎、守永 紗織                                                              |
| 教育方法        | 麻酔科学Ⅰ（前期）、麻酔科学Ⅱ（後期）定期試験の正答率が低かった分野を重点的に復習する。CBT問題、国家試験過去問を解くことで、関連する知識を整理・統合する。 |
| 事前事後学習方法    | 麻酔科学Ⅰ（前期）、麻酔科学Ⅱ（後期）の講義配布プリント、講義ノート、定期試験から理解が足りない点を整理し授業に臨む。                     |
| 参考書         | 麻酔科学Ⅰ（前期）、麻酔科学Ⅱ（後期）の講義配布プリント、歯科麻酔・生体管理学 第2版                                     |
| 関連DP        | Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。                                           |
|             | Ⅳ-13 一次救命処置について理解し実践できる。                                                        |
|             |                                                                                 |
| その他<br>伝達事項 |                                                                                 |

| 授業計画 |        |      |                 |
|------|--------|------|-----------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容            |
| 1    | 11月13日 | 池田   | 合併症患者の麻酔        |
| 2    | 11月20日 | 池田   | 全身麻酔・術前評価       |
| 3    | 11月27日 | 野上   | 救命処置・気道管理       |
| 4    | 12月4日  | 野上   | 顎顔面領域の疼痛性・麻痺性疾患 |
| 5    | 12月15日 | 守永   | 鎮静法・5大合併症       |

## ＜コラボ（口外、病理、画像、解剖）＞

|          |                                                                                                                                                      |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員     | （口腔外科）平木昭光、橋本憲一郎、池邊哲郎（画像診断学）香川豊宏、（病理学）和田裕子、吉本尚平、（解剖）児玉淳                                                                                              |
| 教育方法     | （口外・画像・病理）口腔外科、画像診断、病理組織学の3教員が、例題について配布資料とスライドを基に各専門の立場から説明し、回答するためのポイントを解説する。その際に配布資料への書き込み、教科書の該当箇所を読む。<br>（画像・解剖）頭蓋標本を用いた頭頸部の解剖学的、エックス線学的実習・観察・確認 |
| 事前事後学習方法 | （口外・画像・病理）事前事後）CBT PASSの該当箇所の問題を解いて解説を読む、事後）配布資料の復習と教科書での確認<br>（画像・解剖）頭頸部の骨学・筋学・脈管学・神経学・内臓学の解剖学的構造把握とX線学的読影                                          |
| 参考書      | CBT PASS、『サクシント口腔外科学』第4版 学建書院                                                                                                                        |
| 関連DP     | Ⅲ-5 疾病の発生機序、病的変化および転帰について説明できる。                                                                                                                      |
|          | Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                                |
|          | Ⅲ-10 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因を説明できる。                                                                                                                     |
|          | Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                                                |
|          | Ⅳ-3 診断・治療に必要な検査を選択し実施できる。                                                                                                                            |
| その他伝達事項  |                                                                                                                                                      |

| 授業計画 |        |          |                                                                                                                                                 |
|------|--------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員     | 授業内容                                                                                                                                            |
| 1    | 12月4日  | 画像、口外、病理 | 4限 顎骨透過性疾患 1 香川（画像）、池邊（口外）、和田（病理）                                                                                                               |
| 2    | 12月4日  | 画像、口外、病理 | 5限 顎骨透過性疾患 2 香川（画像）、池邊（口外）、和田（病理）                                                                                                               |
| 3    | 12月11日 | 画像、口外、病理 | 3限 顎骨不透過性疾患 1 香川（画像）、池邊（口外）、和田（病理）                                                                                                              |
| 4    | 12月11日 | 画像、口外、病理 | 4限 顎骨不透過性疾患 2 香川（画像）、池邊（口外）、和田（病理）                                                                                                              |
| 5    | 12月17日 | 香川、児玉    | 頭蓋を用いた解剖学的、エックス線学的構造の理解<br>口内法エックス線画像、パノラマエックス線画像、CT、MRI各種撮影法からの読影<br>骨学：X線学的に読影すべき項目<br>筋学：起始・停止部位<br>脈管学：主要脈管の位置<br>神経学：通過・導通路<br>内臓学：主要臓器の位置 |
| 6    | 12月17日 | 香川、児玉    |                                                                                                                                                 |
| 7    | 12月18日 | 画像、口外、病理 | 3限 軟組織腫瘍性疾患 1 香川（画像）、平木（口外）、吉本（病理）                                                                                                              |
| 8    | 12月18日 | 画像、口外、病理 | 4限 軟組織腫瘍性疾患 2 香川（画像）、平木（口外）、吉本（病理）                                                                                                              |
| 9    | 12月24日 | 画像、口外、病理 | 1限 口腔粘膜疾患 1 池邊（口外）、吉本（病理）                                                                                                                       |
| 10   | 12月24日 | 画像、口外、病理 | 2限 口腔粘膜疾患 2 池邊（口外）、吉本（病理）                                                                                                                       |

## <総合医学>

|              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 担当教員         | 古村南夫、鳥巢浩幸、山野貴史、得能智武、園田英人  |
| 教育方法         | 講義                        |
| 事前事後<br>学習方法 | CBTパス、参考書を予習し、配布資料で復習する。  |
| 参考書          | 各科参考書                     |
| 関連DP         | Ⅲ-17 主要な医科疾患の症候について説明できる。 |
|              |                           |
|              |                           |
| その他<br>伝達事項  |                           |

| 授業計画 |        |       |           |
|------|--------|-------|-----------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容      |
| 1    | 12月1日  | 園田・古村 | 外科・皮膚科    |
| 2    | 12月11日 | 得能    | 内科        |
| 3    | 12月16日 | 鳥巢・山野 | 小児科・耳鼻咽喉科 |
| 4    | 12月23日 | 得能    | 内科        |

## <口腔保健・社会歯科学>

|              |                                                                          |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 谷口奈央、島津 篤、藤本暁江、内藤麻利江、矢田部尚子                                               |
| 教育方法         | これまでの授業内容に関する課題解決のため、代表的な問題を解くことで関連する知識を整理・統合する。                         |
| 事前事後<br>学習方法 | これまでの講義ノートあるいは配布プリントから要点を整理し授業に臨む。<br>疑問点を事前に確認しておく。CBT PASSの該当箇所の問題を解く。 |
| 参考書          | 新編 衛生学・公衆衛生学（医歯薬出版）、口腔保健・予防歯科学（医歯薬出版）                                    |
| 関連DP         | 歯科医療の目的と歯科医師の役割を説明できる。                                                   |
|              | 歯科医療関連法規について説明できる。                                                       |
|              | 口腔疾患の疫学と保健医療統計・情報について説明できる。                                              |
| その他<br>伝達事項  |                                                                          |

| 授業計画 |        |      |                                                |
|------|--------|------|------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                                           |
| 1    | 11月10日 | 谷口   | ライフステージ別にみた保健・福祉（母子保健、学校保健）                    |
| 2    | 11月12日 | 矢田部  | 健康・疾病・障害の概念（疾病の自然史、ICF）、健康の保持・増進と予防（スクリーニング含む） |
| 3    | 11月17日 | 谷口   | ライフステージ別にみた保健・福祉（成人保健、産業保健）                    |
| 4    | 11月19日 | 内藤   | 人口統計と保健医療統計、国民栄養と食品保健                          |
| 5    | 11月24日 | 藤本   | 環境保健、感染症対策                                     |
| 6    | 11月26日 | 島津   | 地域保健、社会保障と医療経済、国際保健                            |
| 7    | 12月1日  | 谷口   | 歯科疾患の予防と健康管理（ブラークコントロール）、保健指導                  |
| 8    | 12月8日  | 島津   | 保健・医療・福祉・介護の法規と仕組み                             |
| 9    | 12月15日 | 島津   | 歯科疾患の予防と健康管理（う蝕・フッ化物応用）                        |
| 10   | 12月22日 | 藤本   | 歯科疾患の疫学と疫学指標、EBM                               |

## <生化学>

|          |                                                                                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員     | 梅津 桂子、林 道夫                                                                                                                                          |
| 教育方法     | 梅津：講義中に重要語句について書き込みながら確認する形で講義を進めます。Moodle上の問題集等は基本的に自己学習課題としますが、質問等は随時受け付けます。<br>林：講義中に配布する資料を用いて要点を説明します。併せて関連問題を示して解法上の注意点や派生する重要項目についても説明します。   |
| 事前事後学習方法 | 講義では日々の自己学習では分かりにくい点を中心に解説しますので、復習により自己学習での理解を修正したり、体系的にまとめ直すことが重要です。<br>梅津：講義後に十分に復習して知識を体系的にまとめ直してください。<br>林：紹介した問題がなぜその答えになるのか、その理由について復習してください。 |
| 参考書      | Essential 細胞生物学（南江堂）、シンプル生化学（南江堂）、口腔生化学（医歯薬出版）                                                                                                      |
| 関連DP     | Ⅲ-1 生命の分子基盤および細胞の構造と機能を説明できる。                                                                                                                       |
|          | Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                                               |
|          | Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                               |
| その他伝達事項  | 4月にMoodle上にCBTレベルの問題集等の資料をアップしています。これらを自己学習に有効に活用し、重要語句については各自でしっかりと身に付けてください。質問等は随時受け付けます。                                                         |

| 授業計画 |        |       |                                                                  |
|------|--------|-------|------------------------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容                                                             |
| 1    | 11月10日 | 梅津 桂子 | オリエンテーション：CBTへ向けての学習の進め方、Moodle上の学習資料等について                       |
|      |        | 梅津 桂子 | 結合組織：特定の性質を持つ分子群の名称（グループ名）と個々の分子名を区別しながら理解すると共に、重要な分子の基本的性質をまとめる |
| 2    | 11月17日 | 梅津 桂子 | 硬組織：4つの硬組織それぞれの組成と主な成分を理解すると共に、その基本的性質や構造の特徴をまとめる                |
| 3    | 11月24日 | 林 道夫  | 主な生体成分について構造的・化学的な特徴や性質について説明する                                  |
| 4    | 12月 8日 | 梅津 桂子 | 血清カルシウム代謝と調節：血清カルシウムの調節に関わる3つのホルモンについて比較しながらまとめる                 |
| 5    | 12月22日 | 梅津 桂子 | 唾液の成分：唾液の組成を理解すると共に、主な唾液の無機質とタンパク質について作用や特徴を比較しながらまとめる           |

## ＜感染生物学：微生物学・免疫学＞

|              |                                                                                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 田中芳彦、永尾潤一                                                                              |
| 教育方法         | 教科書・CBT PASS・PDF資料を使用し、全体を幅広い領域の重要な部分を説明する。<br>また、国家試験の過去問などからCBTの傾向を探り、対策問題を中心に解説する。  |
| 事前事後<br>学習方法 | CBT PASSに記載の問題を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。                                            |
| 参考書          | 教科書：口腔微生物学－感染と免疫－（学建書院）、CBT PASS、2・3年生時の講義資料                                           |
| 関連DP         | Ⅲ-4 微生物の病原性と感染による病態および免疫機構について説明できる。                                                   |
|              |                                                                                        |
|              |                                                                                        |
| その他<br>伝達事項  | CBT PASSをひたすら解くのではなく、「出題のねらい」を意識して学習する。自学として『見開き問題集』を有効に活用して、改変問題を出題されても対応できる実力を身につける。 |

| 授業計画 |        |      |                                       |
|------|--------|------|---------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                                  |
| 1    | 11月10日 | 田中芳彦 | 免疫学1：免疫・正常構造と機能                       |
| 2    | 11月24日 | 永尾潤一 | 微生物学1：微生物学総論（種類と分類、構造と機能、滅菌と消毒、薬剤耐性菌） |
| 3    | 12月1日  | 永尾潤一 | 微生物学2：口腔感染症（う蝕・歯周病）                   |
| 4    | 12月15日 | 永尾潤一 | 微生物学3：全身における感染症                       |
| 5    | 12月22日 | 田中芳彦 | 免疫学2：免疫・病因と病態                         |

## < 歯科理工学 >

|              |                                                                               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 都留寛治                                                                          |
| 教育方法         | 見開きテーマ問題集を使用し、テーマ毎の必須知識と学習方法を説明する。                                            |
| 事前事後<br>学習方法 | 見開きテーマ問題集基礎編の歯科理工学の該当箇所を予習し、分からない箇所を明らかにしておく。講義後は必須事項を繰り返し学習し、頭の中に定着させる努力をする。 |
| 参考書          | 見開きテーマ問題集基礎編（vol.5）および見開き問題集Web版                                              |
| 関連DP         | Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。                                               |
|              | I-7 学修の基盤となるラーニングスキルを修得する。                                                    |
|              |                                                                               |
| その他<br>伝達事項  | 必要最低限の必須事項（分類、組成、役割、性質、硬化反応など）については必ず暗記すること。<br>この努力なくして歯科理工学の成績向上はあり得ません。    |

| 授業計画 |        |      |                                                     |
|------|--------|------|-----------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                                                |
| 1    | 11月11日 | 都留寛治 | 見開き 基礎編 vol.5 材料の性質(機械的性質:p.59-60, その他の性質.p.73-74)  |
| 2    | 11月18日 | 都留寛治 | 見開き 基礎編 vol.5 歯科用合金の基礎 p.75-76, 矯正用ワイヤー p.77-78     |
| 3    | 11月25日 | 都留寛治 | 見開き 基礎編 vol.5 歯質との接着 p.61-62, コンポジットレジン p.67-68     |
| 4    | 12月2日  | 都留寛治 | 見開き 基礎編 vol.5 レジンセメントの被着面処理 p.63-64, 歯科セメント p.65-66 |
| 5    | 12月9日  | 都留寛治 | 見開き 基礎編 vol.5 歯科の光技術 p.69-70, 義歯床用材料の特性 p.71-72     |
| 6    | 12月16日 | 都留寛治 | 見開き問題集Web版 骨補填材, 組織再生誘導法, 根管充填材 他                   |

## <解剖・組織学>

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 稲井哲一朗、児玉淳                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 教育方法        | これまで学習してきた、組織学、口腔組織学、発生学、解剖学、肉眼解剖について、基礎知識を整理し、組織・発生・解剖系の問題を解くための統合した理解力を深める。                                                                                                                                                                                          |
| 事前事後学習方法    | これまで学習した内容を振り返り、理解度の低い項目について取りまとめ、講義に臨む。また、CBT PASSでC3、E2、E3は完了しておくこと。                                                                                                                                                                                                 |
| 参考書         | 組織・発生・解剖系の指定教科書と配付資料、Moodleの確認問題                                                                                                                                                                                                                                       |
| 関連DP        | Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                                                                                                                                                                  |
|             | Ⅲ-3 人体の発生、発育および加齢変化を説明できる。                                                                                                                                                                                                                                             |
|             | Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。                                                                                                                                                                                                                                  |
| その他<br>伝達事項 | 組織・発生・解剖系の指定教科書の目次とCBT PASSのC3、E2、E3の項目で、理解が不十分な用語・項目について一覧を作成しておく。見開きテーマ問題集（組織、解剖の該当ページ）を学習する。<br>Moodle( <a href="https://moodle.student.fdcnet.ac.jp/">https://moodle.student.fdcnet.ac.jp/</a> )にアクセスし、①発生学・組織学演習I、②発生学・組織学演習II、③口腔組織学、④歯の解剖学の確認問題（特に画像がついた問題）を解く。 |

| 授業計画 |        |      |                                 |
|------|--------|------|---------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                            |
| 1    | 11月11日 | 稲井   | 組織学総論・各論                        |
| 2    | 11月18日 | 児玉   | 肉眼解剖系：骨学→筋学；全身の骨格系、筋系           |
| 3    | 11月25日 | 稲井   | 口腔組織学 1                         |
| 4    | 12月 2日 | 児玉   | 肉眼解剖系：脈管学→神経学；全身の脈管系、神経系        |
| 5    | 12月 9日 | 稲井   | 口腔組織学 2                         |
| 6    | 12月16日 | 児玉   | 肉眼解剖系 1：頭頸部の骨、筋、脈管、神経、内臓学       |
| 7    | 12月23日 | 稲井   | 発生学（歯と歯周組織の発生を含む）               |
| 8    | 12月23日 | 児玉   | 肉眼解剖学 2：頭頸部の骨、筋、脈管、神経、内臓学、歯の解剖学 |

## <病態構造学>

|              |                                                                                                                        |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 和田裕子、吉本尚平                                                                                                              |
| 教育方法         | 歯学教育モデルコアカリの内容別に関連するCBT PASSの問題を起点に講義を行う。                                                                              |
| 事前事後<br>学習方法 | CBT PASSの各回担当範囲を参考書を併用しながら事前予習と事後の復習を行う。                                                                               |
| 参考書          | 草間薫 編集『要説 病理学総論』第1版 医学情報社 2020<br>下野正基、高田隆、田沼順一、豊澤悟 編集『新口腔病理学』第3版 医歯薬出版 2021<br>高木寛 監修 高田隆・豊澤悟 編『口腔病理アトラス』第3版 文光堂 2018 |
| 関連DP         | Ⅲ-5 疾病の発生機序、病的変化および転帰について説明できる。                                                                                        |
|              |                                                                                                                        |
|              |                                                                                                                        |
| その他<br>伝達事項  |                                                                                                                        |

| 授業計画 |        |       |                                   |
|------|--------|-------|-----------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員  | 授業内容                              |
| 1    | 11月11日 | 吉本尚平  | C-5-1) 病因論と先天異常                   |
| 2    | 11月18日 | 吉本尚平  | C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮、C-5-3) 修復と再生 |
| 3    | 11月25日 | 和田裕子  | C-5-4) 循環障害、C-5-5) 炎症             |
| 4    | 12月2日  | 和田裕子  | C-5-6) 腫瘍                         |
| 5    | 12月9日  | 吉本・和田 | C-5 病因と病態の総括およびE 臨床医学の関係項目とのひもづけ  |

## <細胞生理学>

|             |                                                                                                      |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員        | 藤田亜美、進 正史                                                                                            |
| 教育方法        | CBT試験への対応力を養うことを目的に、これまでに学んだ生理学I～IIIおよび口腔生理学の要点を授業を通じて整理・統合する。                                       |
| 事前事後学習方法    | 授業に関連するCBT PASSの問題を解くとともに1～3年生で使用した講義資料に目を通しておく。<br>授業内容について復習するとともにCBT PASSの関連問題について解説を含めてきちんと理解する。 |
| 参考書         | 基礎歯科生理学 第7版（第6版） 医歯薬出版                                                                               |
| 関連DP        | Ⅲ-1 生命の分子基盤および細胞の構造と機能を説明できる。                                                                        |
|             | Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。                                                                                |
|             |                                                                                                      |
| その他<br>伝達事項 | Moodle 教材「生理学・口腔生理学の要点」を活用する。                                                                        |

| 授業計画 |        |      |                           |
|------|--------|------|---------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容                      |
| 1    | 11月6日  | 藤田   | 呼吸器の機能、呼吸調節、換気障害          |
| 2    | 11月13日 | 藤田   | 末梢神経と中枢神経の機能              |
| 3    | 11月20日 | 進    | 体液・血液の機能                  |
| 4    | 11月27日 | 進    | ホルモンの種類と作用                |
| 5    | 12月4日  | 進    | 顎運動、嚥下のメカニズムおよび唾液の機能と分泌調節 |

## <分子機能制御学（生物）>

|              |                                                                            |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員         | 日高真純、藤兼亮輔                                                                  |
| 教育方法         | 授業内容に関連する演習問題に取り組み、知識の確認とその統合を行う。                                          |
| 事前事後<br>学習方法 | 授業内容に関連する講義ノート並びに配布資料のキーワードを事前に確認する。<br>授業後は演習問題の選択肢の言葉をキーワードにして関連事項を復習する。 |
| 参考書          | Essential細胞生物学                                                             |
| 関連DP         | Ⅲ-1 生命の分子基盤および細胞の構造と機能を説明できる。                                              |
|              | Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。                                                      |
|              |                                                                            |
| その他<br>伝達事項  | 演習問題では80%以上の正答率を目標にしてください。<br>演習問題の選択肢のワードがすべてわかるように復習してください。              |

| 授業計画 |        |      |               |
|------|--------|------|---------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員 | 授業内容          |
| 1    | 11月16日 | 日高   | 細胞、化学成分       |
| 2    | 11月30日 | 藤兼   | エネルギー、糖代謝     |
| 3    | 12月7日  | 日高   | 遺伝子発現、生殖      |
| 4    | 12月21日 | 藤兼   | 細胞骨格、細胞周期、細胞死 |

## <分子機能制御学（薬理）>

|          |                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員     | 八田 光世、長岡 良礼                                                                                                                                                                                                                              |
| 学習方法     | <p>理解度チェックおよびCBTプレ分析テスト</p> <p>客観問題により薬理学（生体と薬物）の知識とその理解度を測る。</p> <p>基礎力強化（歯学教育モデルコアカリキュラムの項目ごと）</p> <p>①サブノートを使用し、各項目の重要ポイントを再確認する。</p> <p>②理解度チェックの解説を聞き、正解を選ぶために必要な知識や考え方を確認する。</p> <p>③サブノートやフォローアップ教材を用いて、理解度チェックで見出した弱点の補強を行う。</p> |
| 事前事後学習方法 | <p>事前学習：サブノートを読み、項目ごとの重要ポイントを確認する。</p> <p>事後学習：サブノート、フォローアップ教材、理解度チェックの見直しを行い、弱点を補強する。</p>                                                                                                                                               |
| 参考書      | サブノートを中心に授業をするが、薬理学の教科書などを手元に置いておくのが望ましい。                                                                                                                                                                                                |
| 関連DP     | <p>Ⅲ-20 薬物の体内動態と薬理作用について説明できる。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| その他伝達事項  | <p>①サブノートに出てくる薬物名や用語はすべて覚えること。</p> <p>②サブノートの内容と試験問題（理解度チェック、予備校模試など）を結び付けて復習すること。</p> <p>③試験問題の復習では、「なぜその解答になるのか」を他者に説明できる状態にまでもっていくこと。</p>                                                                                             |

| 授業計画 |        |          |                                                                                                       |
|------|--------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コマ   | 日時     | 担当教員     | 授業内容                                                                                                  |
| 1    | 11月19日 | 八田       | 授業の進め方、CBT対策について                                                                                      |
| 2    | 11月26日 | 八田       | 理解度チェック（生体と薬物：薬理学の全範囲）<br>⇒クラス分け：☆一般クラス、★上位クラス（得点率80～85%以上）                                           |
| 3    | 12月3日  | 八田<br>長岡 | ☆基礎力強化①（薬物と医薬品）<br>☆基礎力強化②（薬理作用の基本）<br>★力試しテストA（国試必修レベル問題・5学年用）+基礎力強化①②の自習                            |
| 4    | 12月10日 | 八田<br>長岡 | ☆基礎力強化③（薬物の投与方法と体内動態）<br>☆基礎力強化④（薬物の副作用と有害事象を考慮した薬物治療の基本原則）<br>★力試しテストS（国試必修・一般レベル問題・6学年用）+基礎力強化③④の自習 |
| 5    | 12月17日 | 八田       | CBTプレ分析テスト（生体と薬物：薬理学の全範囲）                                                                             |

# 登院前実習（総合歯科学）【講義・実習】

科目番号 OD041402A

後期：4コマ

評価責任者：山田和彦

担当教員：山田和彦、柳 絢子、山本 繁、吉田瑞姫

（一般目標）

診療参加型実習を円滑に行うために、急性期、慢性期症状を訴える初診患者の医療面接と病歴事項の確認を行う上で必要な態度、技能、知識を身に着ける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

Ⅱ-1, Ⅱ-3, Ⅱ-4, Ⅳ-1

（教育方法）

資料（プリント）示説、見学、ロールプレイ、グループ討議  
（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

4年生歯科医療管理学の講義資料の確認と「歯科医療面接アートとサイエンス」の関係個所の確認。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 1.0 時間】

（評価）

ペーパーによる客観試験、模擬オスキーによる評価試験  
総合評価をポータルサイトで掲示する

（教科書）

「歯科医療面接アートとサイエンス」  
医療面接にかかわる総論各論の内容が充実している。

（参考書）

指定なし。

| 回 | 日 | 担当者      | ユニット   | 学習目標（G I O）                                                        | 行動目標（S B O s）                     | DP  | 予習の項目                  | 必要時間 |
|---|---|----------|--------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-----|------------------------|------|
| 1 |   | 総合歯科教員全員 | 総合歯科実習 | 診療参加型臨床実習を円滑に行うために急性期、慢性期の初診患者の医療面接と病歴事項の確認を行う上で必要な態度、技能、知識を身につける。 | 面接の導入にあたり、環境を整える。                 | Ⅱ-1 | 「歯科医療面接アートとサイエンス」、配布資料 | 2.0  |
| 2 |   | 総合歯科教員全員 | 総合歯科実習 | 診療参加型臨床実習を円滑に行うために急性期、慢性期の初診患者の医療面接と病歴事項の確認を行う上で必要な態度、技能、知識を身につける。 | 患者の心理と行動に配慮して行動する。                | Ⅱ-4 | 「歯科医療面接アートとサイエンス」、配布資料 | 2.0  |
| 3 |   | 総合歯科教員全員 | 総合歯科実習 | 診療参加型臨床実習を円滑に行うために急性期、慢性期の初診患者の医療面接と病歴事項の確認を行う上で必要な態度、技能、知識を身につける。 | 患者の確認と自己紹介を行い、今からの予定の説明と面接の同意を得る。 | Ⅱ-1 | 「歯科医療面接アートとサイエンス」、配布資料 | 2.0  |

# 登院前実習（予防管理学）【実習】

科目番号 0D041402B

後期：2コマ

評価責任者：谷口奈央

担当教員：谷口奈央、島津 篤、藤本暁江、内藤麻利江、岡田彩子、矢田部尚子

（一般目標）

清潔・不潔や安全面、患者の痛みや不快感に配慮しながら、患者の口腔内状態を正しく記録する知識・技能・態度を身につける。患者の口腔清掃状況から判断し、適切な口腔清掃指導と生活習慣指導を行う知識・技能・態度を身につける。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

IV-2, IV-6

（教育方法）

実習

（ディスカッション・ディベート）（グループワーク）（プレゼンテーション）（実習・演習）

（学習方法）

予習方法：口腔保健学実習において実施した口腔内記録について事前に復習しておく。あわせて、教科書のブランクコントロールおよびフッ化物応用に関する章を精読し、各種ブラッシング方法について自身で実践・確認しておくこと。

復習方法：実習時に配布する実習帳の該当ページを読み返し、実習内容の理解を深めること。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 2.0 時間】

（評 価）

実習態度 (40%)

記述試験 (60%)：実習の終わりに実施し、フィードバックを行う。

（教 科 書）

1. 安井利一、山下喜久、廣瀬公治、小松崎明、山本龍生、弘中祥司 編、「口腔保健・予防歯科学」第2版、医歯薬出版、2023
2. 実習帳

（参 考 書）

指定なし

| 回 | 日 | 担当者                | ユニット  | 学習目標（G I O）                   | 行動目標（S B O s）           | DP   | 予習の項目                              | 必要時間      |
|---|---|--------------------|-------|-------------------------------|-------------------------|------|------------------------------------|-----------|
| 1 |   | 谷口、島津、藤本、内藤、岡田、矢田部 | 予防管理学 | 口腔内状態の記録、ブラッシング指導の基本的技能を修得する。 | 口腔内状態を診療録に記載できる。        | IV-2 | [1回]<br>教科書のp137-141, p152-163を読む。 | 1]<br>0.5 |
| 2 |   |                    |       |                               | 患者や患児の保護者にブラッシング指導ができる。 | IV-6 | [2回]<br>実習帳を読む。                    | 2]<br>0.5 |

# 登院前実習(口腔・顎顔面外科学) 【実習】

科目番号 0D041402C

後期：4コマ

評価責任者：平木昭光

担当教員：橋本憲一郎、佐々木三奈、勝俣由里、有田英生、秋本琢磨、丸瀬靖之、宮原慧

(一般目標)

口腔顎顔面領域の診察と基本技能を、患者の痛みや不快感、および清潔・不潔に配慮しながら施すことができる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

II-3, IV-2

(教育方法)

実習

(実習・演習)

(学習方法)

- ・口腔外科学の教科書の該当箇所を読む。
- ・口腔外科学および口腔腫瘍学の講義ノートと配布資料を見直す。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 16.0 時間】

(評価)

- ・各授業においてロールプレイを行い、評価基準に沿って評価する。ロールプレイ毎に学生個々にフィードバックを行う。

(教科書)

内山健志他 編「サクシント口腔外科学」第4版 学建書院

宮崎 正 編「口腔外科学」第4版 医歯薬出版

(参考書)

カラー写真も豊富で疾患や手順のイメージがしやすいため。最新の情報が詳細に掲載されているため。

| 回      | 日 | 担当者                   | ユニット              | 学習目標 (G I O)                                              | 行動目標 (S B O s)                                                                               | DP                           | 予習の項目                                                                           | 必要時間                   |
|--------|---|-----------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 1<br>2 |   | 橋本、佐々木、勝俣、有田、秋本、丸瀬、宮原 | 浸潤麻酔と手洗い・滅菌グローブ装着 | 手洗い、滅菌グローブの装着法、清潔域・不潔域を理解した上で、浸潤麻酔ができる。                   | 清潔に配慮しながら滅菌グローブを装着できる。<br>浸潤麻酔の注射器を準備できる。<br>模型の適切な部位に浸潤麻酔ができる。<br>安全性と患者の痛みを配慮した浸潤麻酔操作ができる。 | IV-2<br>IV-2<br>IV-2<br>II-3 | 消毒法と滅菌法、消毒薬の種類、手指消毒法、浸潤麻酔薬の種類、薬理、注射器の種類と構造、口腔粘膜への浸潤麻酔の手法、浸潤麻酔の合併症<br>[2回]<br>同上 | 1]<br>2.0<br>2]<br>2.0 |
| 3<br>4 |   | 橋本、佐々木、勝俣、有田、秋本、丸瀬、宮原 | 普通抜歯と手洗い・滅菌グローブ装着 | 手洗い、滅菌グローブの装着上、普通抜歯に必要な器具の選択と抜歯基本手技をシミュレーションモデルを使って実践できる。 | 抜歯前に滅菌グローブを装着できる。<br>抜歯器具を正しく準備できる。<br>模型上の指定された歯を抜去できる。<br>安全性や患者の痛みを配慮した抜歯操作ができる。          | IV-2<br>IV-2<br>IV-2<br>II-3 | 消毒薬の種類、適応、手指消毒法、抜歯器具の種類と用途、抜歯の適応、抜歯法、抜歯に伴う合併症、説明と同意                             | 3]<br>2.0<br>4]<br>2.0 |

# 登院前実習(保存・補綴 基本技術) 【実習】

科目番号 0D041402D

後期：2コマ

評価責任者：松崎 英津子、松浦 尚志、都築 尊

(保存)

松崎 英津子 松本 典祥 水上 正彦 松本 和磨 廣瀬 陽菜

(冠橋)

担当教員：松浦 尚志 山口 雄一郎 加我 公行 高江洲 雄

(有床)

川口 智弘 都築 尊 吉田 兼義 濱中 一平 前芝 宗尚 北條 朋子

(一般目標)

齲蝕治療、歯内治療、補綴治療に必要な基本的技能、知識、態度を習得する。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

IV-6, IV-7

(教育方法)

資料（プリント）による示説、ビデオカメラによるデモ

(実習・演習)

(学習方法)

(保存)

4年次前期に使用した保存修復・歯内治療学実習資料の当該箇所に目を通しておく。配布資料を参考に、器材の使用法を練習する。

(冠橋)

4年次前期に使用した冠橋義歯学実習帳で、当該箇所に目を通しておく。配布資料を参考に、器材の使用法を練習する。

(有床)

4年次に使用した有床義歯学実習帳で、当該箇所に目を通しておく。配布資料を参考に、器材の使用法を練習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 2.0 時間】

(評価)

(保存)

・感染象牙質の除去、隔壁法、ラバーダム防湿、コンポジットレジン充填、根管洗浄・ポイント試適の術式を正確に、5分以内でできるか評価する。フィードバックはその場で直ちに実施する。

(冠橋)

・支台歯形成の術式を正確に、5分以内でできるかを試験する。

(有床)

・レストシート形成および概形印象採得の術式を正確に、5分以内でできるかを試験する。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

| 回 | 日 | 担当者 | ユニット        | 学習目標 (G I O)                          | 行動目標 (S B O s)             | DP   | 予習の項目                              | 必要時間   |
|---|---|-----|-------------|---------------------------------------|----------------------------|------|------------------------------------|--------|
| 1 |   | 全員  | 保存・補綴基本技術実習 | 保存修復処置、歯内治療、補綴治療に必要な基本的技能、態度、知識を習得する。 | コンポジットレジン充填の術式を理解、習得する。    | IV-6 | 3. 4年次の冠橋義歯学・有床義歯学実習の実習帳を熟読しておくこと。 | 1] 1.0 |
| 2 |   |     |             |                                       | 根管治療の術式を理解、習得する。           | IV-6 | 4年次の保存修復・歯内治療学実習の実習帳を熟読しておくこと。     | 2] 2.0 |
|   |   |     |             |                                       | 象牙質う蝕処置の術式を理解、習得する。        | IV-6 |                                    |        |
|   |   |     |             |                                       | 支台歯形成の術式を理解、習得する。          | IV-7 |                                    |        |
|   |   |     |             |                                       | 患者に対して望ましい基本的な態度をとることができる。 | IV-7 |                                    |        |
|   |   |     |             |                                       | レストシート形成の術式を理解、習得する。       | IV-7 |                                    |        |
|   |   |     |             |                                       | アルジネート概形印象採得の術式を理解、習得する。   | IV-7 |                                    |        |

# 登院前実習(麻酔科学) 【実習】

科目番号 0D041402E

後期：2コマ

評価責任者：池田水子

野上堅太郎

担当教員：守永紗織

白川由紀恵

(一般目標)

患者さんの状態評価に必要なバイタルサイン測定できるようになる。また、マネキンを使用して一次救命処置を手順通りに正確に十種できるようになる。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP])

Ⅲ-21, IV-13

(教育方法)

バイタルサインは相互実習により、また一次救命処置はマネキンを用いて行う。

(実習・演習)

(学習方法)

予習方法

教科書で測定法を予習する。

実習

- 1) お互いに脈拍を触知し、1分間の脈拍数を測定する。
- 2) お互いに血圧計で実際に測定する。
- 3) マネキンを使用して一次救命処置を実習する。

復習

- 1) 2人1組となり、お互いに1分間の脈拍数、血圧を測定する。
- 2) 2人1組となり、マネキンを使用して一次救命処置を実習する。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 2.0 時間】

(評価)

- 1) バイタルサインの測定は実際に脈拍数、血圧の測定を練習した後に、実際に測定を行い、評価する。血圧測定はまず触診法で行い、次に聴診法を行う。マンシェットの巻く位置、巻く強さ、聴診器の位置、向きなどを評価し、結果をその場で20分ほど(10分は個人的に、10分は全体で)フィードバックする。
- 2) マネキンを使用して一次救命処置を手順通りに正確に実施できるかを評価する。結果はその場で20分ほど(10分は個人的に、10分は全体で)フィードバックする。

(教科書)

歯科麻酔・生体管理学第2版

(参考書)

歯科麻酔学第7版

| 回 | 日 | 担当者              | ユニット              | 学習目標（G I O）                       | 行動目標（S B O s）          | DP   | 予習の項目             | 必要時間 |
|---|---|------------------|-------------------|-----------------------------------|------------------------|------|-------------------|------|
| 1 |   | 野上堅太郎、守永紗織、白川由紀恵 | 麻酔科学実習（バイタルサイン測定） | 歯科診療において必須である患者さんのバイタルサイン測定を習得する。 | バイタルサインについて説明できる。      | Ⅲ-21 | バイタルサインの測定、一次救命処置 | 2.0  |
| 2 |   |                  |                   |                                   | 脈拍を正しく触知できる。           | Ⅲ-21 |                   |      |
|   |   |                  |                   |                                   | 血圧を正しく測定できる。           | Ⅲ-21 |                   |      |
|   |   |                  | 麻酔科学実習（一次救命処置）    | 一次救命処置ができる。                       | 心肺蘇生法の手順を正しく述べることができる。 | Ⅳ-13 |                   |      |
|   |   |                  |                   |                                   | 意識と呼吸を確認できる。           | Ⅳ-13 |                   |      |
|   |   |                  |                   |                                   | 胸骨圧迫を正しく行うことができる。      | Ⅳ-13 |                   |      |
|   |   |                  |                   |                                   | 人工呼吸を正しく行うことができる。      | Ⅳ-13 |                   |      |
|   |   |                  |                   |                                   | AEDを正しく使用できる。          | Ⅳ-13 |                   |      |

# 登院前実習(放射線学) 【実習】

科目番号 0D041402F

後期：4コマ  
評価責任者：香川豊宏  
担当教員：香川豊宏、筑井朋子、三輪邦弘、瀬々良介、吉浦一紀

(一般目標)  
診療参加型実習におけるエックス線撮影を行ううえで必要な態度、技能、知識を身に着ける。

(獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] )  
Ⅲ-6, Ⅲ-19, IV-8, IV-15

(教育方法)  
資料（プリント）示説、見学、相互実習  
(グループワーク) (実習・演習)

(学習方法)  
エックス線撮影にあたっての説明演習、撮影模擬実習。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 1.0 時間】

(評 価)  
実習への取り組み態度を20%とし、実習の最後に確認試験を行い、その点数を80%として評価を行う。

(教 科 書)  
岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第7版』 医歯薬出版 2024

(参 考 書)  
なし

| 回 | 日 | 担当者            | ユニット   | 学習目標（G I O）             | 行動目標（S B O s）            | DP    | 予習の項目                     | 必要時間      |
|---|---|----------------|--------|-------------------------|--------------------------|-------|---------------------------|-----------|
| 1 |   | 香川、筑井、三輪、瀬々、吉浦 | 放射線学実習 | 歯科領域で利用される検査法の特徴が理解できる。 | エックス線撮影の必要性について患者に説明できる。 | Ⅲ-19  | パノラマ・口内法のエックス線解剖、撮影方法の確認。 | 1]<br>1.0 |
| 2 |   |                |        | エックス線の必要性和リスクを説明できる。    | エックス線撮影のリスクについて患者に説明できる。 | IV-15 |                           |           |
| 3 |   |                |        | 各種撮影法の手技が理解できる。         | 口内法エックス線撮影の手技が説明できる。     | Ⅲ-6   |                           |           |
| 4 |   |                |        |                         | 口内法エックス線撮影の不快感について説明できる。 | IV-8  |                           |           |
|   |   |                |        | 口内法、パノラマの画像解剖について理解できる。 | 口内法、パノラマの画像解剖を図示できる。     | Ⅲ-6   |                           |           |

## 成績評価方法、GPA（Grade Point Average）の活用について

### GPA（Grade Point Average）

各授業科目の評点を5段階評価し（A・B・C・C-・D）、それを4から0の点数（GP: Grade Point）に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和（GPT: Grade Point Total）を履修単位数の合計で割った平均点

| 評点       | 評語 | Grade Point (GP) |
|----------|----|------------------|
| 100点～80点 | A  | 4                |
| 79点～70点  | B  | 3                |
| 69点～60点  | C  | 2                |
| 再試60点    | C- | 1                |
| 59点～0点   | D  | 0                |

### GPAの算出方法

$$\text{GPA} = \text{GPT} \div \text{履修単位数の合計}$$

(GPT = [GP × 単位数] の総和)

### 実際の計算例

| 科目名   | 単位数 (a)         | 評点   | 評語 | GP(b) | (a × b)          |
|-------|-----------------|------|----|-------|------------------|
| 〇〇学講義 | 1               | 86   | A  | 4     | 4                |
| 〇〇学講義 | 2               | 再試60 | C- | 1     | 2                |
| 〇〇学演習 | 2               | 60   | C  | 2     | 4                |
| 〇〇学実習 | 3               | 72   | B  | 3     | 9                |
| 計     | 8 <sup>*1</sup> |      |    |       | 19 <sup>*2</sup> |

$$\text{GPA} = 19(\text{GPT}^{*2}) \div 8 (\text{単位数の合計}^{*1}) = 2.38 \quad (\text{小数第3位四捨五入})$$

### 対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

### GPAの活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

# 授 業 要 綱

編集  
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号  
電話 092 (801) 0447番  
Fax 092 (801) 0427番